

# 琉球大学学術リポジトリ

## URGCC 学生調査2013の概況

メタデータ	言語: 出版者: 琉球大学大学教育センター 公開日: 2018-07-17 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 永田, 祐矢, 西本, 裕輝 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/20.500.12000/41206">http://hdl.handle.net/20.500.12000/41206</a>

# URGCC 学生調査 2013 の概況

永田祐矢(URGCC 推進支援室研究員)

西本裕輝(大学教育センター)

## 1. 調査の目的

「琉球大学の教育改善のための学生調査(2013)」(以下、URGCC 学生調査 2013)は、平成 24 年度の URGCC 導入時の本学新生を対象に行われた質問紙調査(URGCC 学生調査 2012)から続く経年調査である。本調査は、その 2 年目の調査として、調査対象者の学年の進行に合わせ、平成 25 年度の本学 2 年次の学生を対象に行った。本調査では、昨年度と同様、学生の属性から学生生活全般にわたる項目、及び各学士教育プログラムの学習教育目標の到達度を把握することを試みた(全 29 プログラム中 25 プログラムにおいて質問項目を設定)。なお、URGCC 学生調査は、今後も数年間にわたり、継続的な調査として行われる予定である。

※具体的な質問項目及び質問文については、付録資料 1 の調査票を参照の事

## 2. 調査の対象・方法・回答率・回答者の属性

### (1) 調査の対象・方法

URGCC 学生調査 2013 の調査対象者は、本学の学士課程に属する 2 年次の学生全員である。調査期間は 2013 年 6 月から 7 月にかけて、基本的には自記式の集合調査の形態で実施した。なお、調査は各指導教員に調査票を渡し、実施していただくよう文書等で依頼した。

### (2) 回答率

全調査対象者に対する本調査の回答率は Table1 の通り、全体で 59.6%であった。また、学部別の回答率を見ると、工学部で最も高い 84.1%、最も低い学部で 36.9%であった。

Table 1 URGCC 学生調査 2013 の回答数及び回答率

	全体	法文学部	観光産業科学部	教育学部	理学部	医学部	工学部	農学部
回答者数	1034	166	127	122	107	153	302	57
在籍者数	1727	450	154	201	217	205	359	141
回答率	59.6%	36.9%	82.5%	60.7%	49.3%	74.6%	84.1%	40.4%

※在籍者数は平成25年5月1日現在の数値。また、外国人及び休学者を含む。

昨年度行った URGCC 学生調査 2012 との回答率の比較は Table2 の通り、全体で 2012 年度は 81.4%、2013 年度は 59.6%であり、2013 年度は 2012 年度と比べて 21.8 ポイント回答率が減少した。2012 年度と比べて増加した学部は医学部(2012 年度が 72.6%、2013 年度が 74.6%、2 ポイント増加)と工学部(2012 年度が 73.2%、2013 年度が 84.1%、10.9 ポイント増加)であった。

Table 2 URGCC 学生調査回答率の年度比較

	全体	法文学部	観光産業科学部	教育学部	理学部	医学部	工学部	農学部
2012年度	81.4%	80.0%	86.8%	90.3%	84.2%	72.6%	73.2%	87.9%
2013年度	59.6%	36.9%	82.5%	60.7%	49.3%	74.6%	84.1%	40.4%
2013年度-2012年度	-21.8%	-43.1%	-4.3%	-29.6%	-34.9%	2.0%	10.9%	-47.5%

※在籍者数は平成25年5月1日現在の数値。また、外国人及び休学者を含む。

### (3) 回答者の属性

次に、本調査の回答者の属性を記述したい。本稿では、回答者の性別構成比と学部構成比について確認する。なお、その他の分布に関しては、付録資料 2 として単純集計表を伏しているため、そちらを適宜ご参照頂きたい。

#### (3)-1 性別構成比

Figure1 に 2013 年 5 月 1 日時点での本学全在籍者(2 年次)の性別構成比を、Figure2 に本調査回答者の性別構成比を示した。これらを見ると、2 年次全体の男性は 59%、女性は 41%であり、回答者(無回答者を除く)の男性は 60%、女性は 40%であった。これらから、本調査回答者の男女構成比は、本学 2 年次全体の男女構成比とほぼ一致していると考えられる。

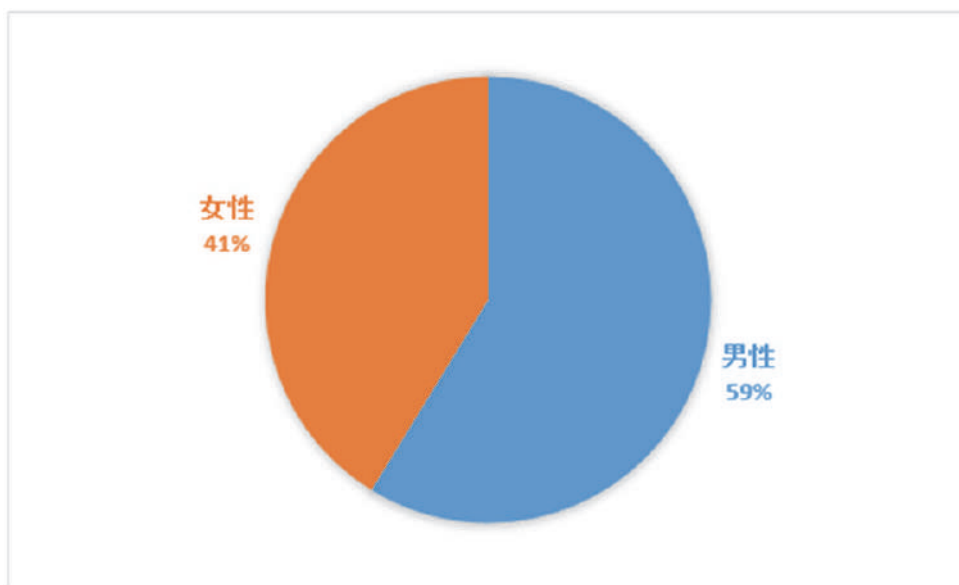
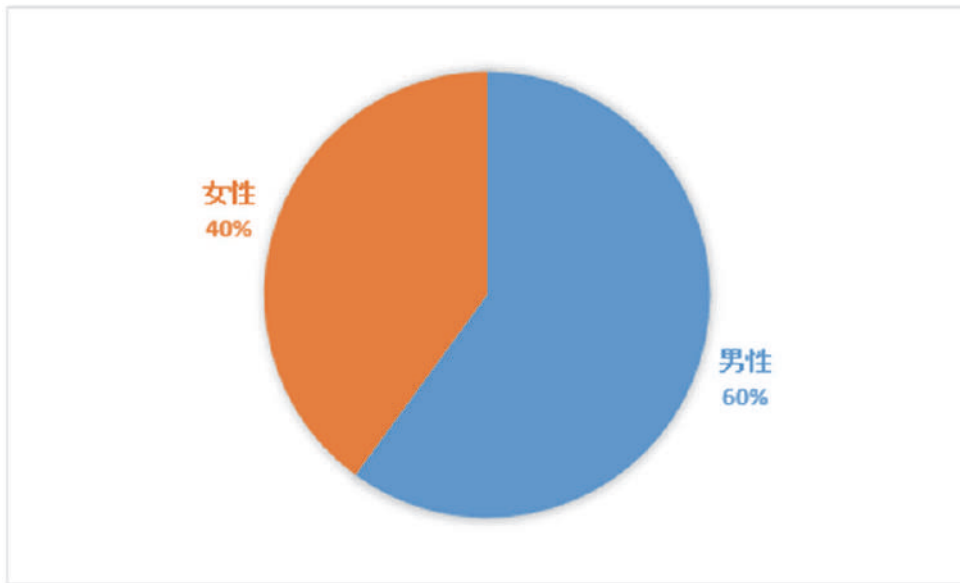


Figure 1 全在籍者(2 年次)の性別構成比(N=1727)(2013 年度学生部教務課 在籍調より)



**Figure 2** 回答学生の性別構成比(N=1029)

### (3)-2 学部構成比

次に、調査票に回答した学生の所属する学部構成について記述したい。Figure3 に 2013 年 5 月 1 日時点での本学全在籍者(2 年次)の学部構成比を、Figure4 に本調査回答者の学部構成比を示した。これらを見ると、2 年次全体の学部構成比と比べ、回答学生の学部構成比は、それぞれ概ね 3 ポイント以内程度の差であるが、一方で法文学部の比率が 10 ポイント低く(全体 26%，回答者 16%)，また工学部の比率が 8 ポイント高かった(全体 21%，回答者 29)。これらの差は、Table1 に前述した回答率と合わせて鑑みると、最も母数の大きい法文学部の回答率が 36.9%と他学部と比べて低く、一方で 2 番目に母数の大きい工学部の回答率が 84.1%と他学部と比べて高かったため、両学部における 2 年次全体の学部構成比との差が生じたと予想される。

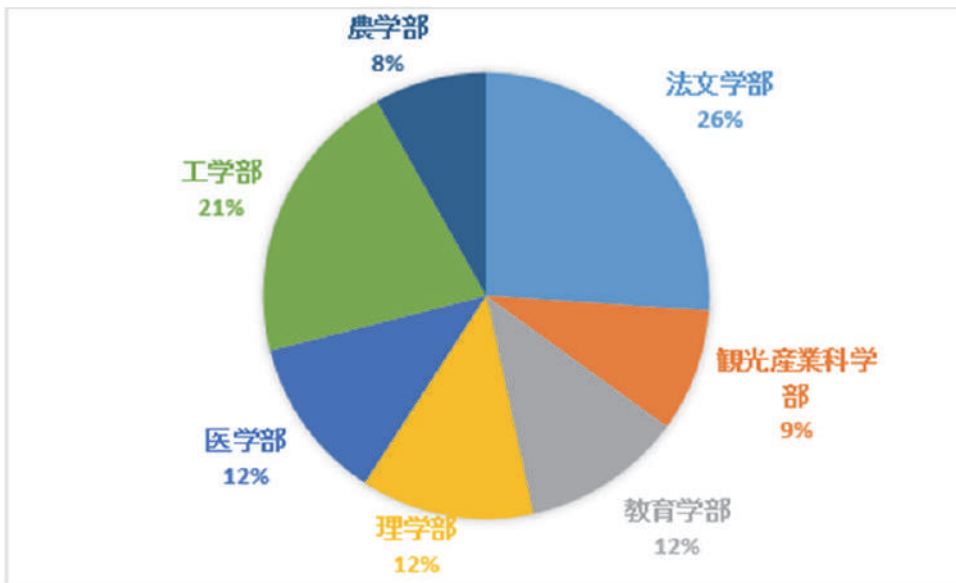


Figure 3 全在籍者(2年次)の学部構成比(2013年度学生部教務課 在籍調より)

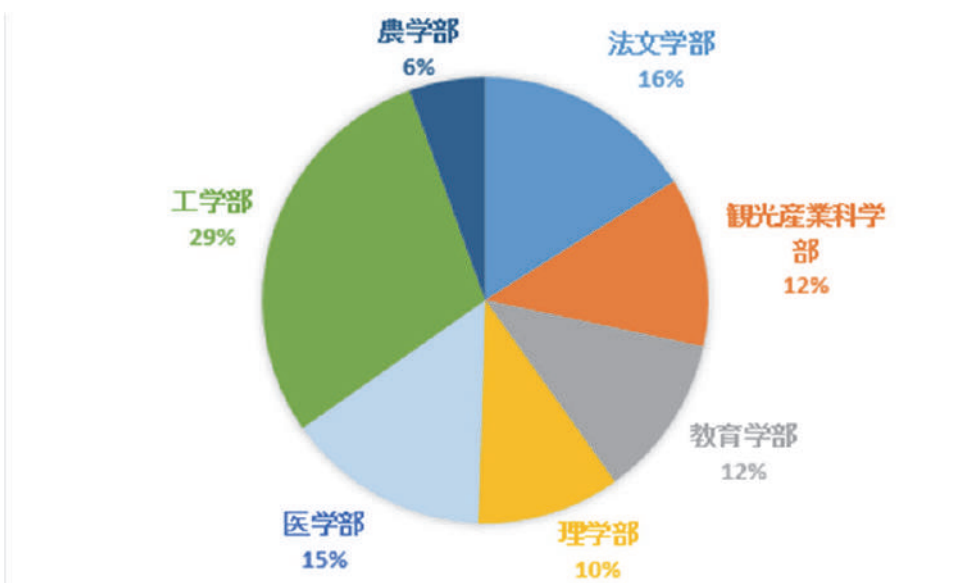


Figure 4 回答学生の学部構成比(N=1034)

#### (4) 本調査分析の前提

以上より、本調査において、回答率は学部間の差も大きく、また回答率全体を見ても、2012年度調査よりも低くなっていた。回答率が過度に低ければ、それだけ個の影響を受けやすく、より正確な全体の傾向の把握は困難になるだろう。また、学部毎に回答率にばらつきが生じれば、回答率の高い学部の影響を強く受け、これもまた正確な全体の理解が困難になるだろう。2012年度調査では、全学の1年次が必修となる科目の授業内で調査を実

施した事で、いずれの学部も7割以上の回答率が得られたと予想される。本調査では、2011年度と同様の手段が採択出来なかったため、前述の方法で調査を実施したが、学部毎に回答率が偏ることなく、かつ高くなるための調査方法の改善が、今後の調査実施の上での課題の一つであろう。いずれにせよ本調査はその前年度調査に比べ、上述の通り分析対象者が減少していることを前提として報告を進めていきたい。

### 3. 分析

#### (1) URGCC 学習教育目標の比較

##### (1)-1 URGCC 学習教育目標得点率の算出方法

7つの URGCC 学習教育目標の到達度について、前回(センター報第16号)報告と同様に得点率を算出することでその達成状況を確認することとした。各学習教育目標を構成する下位項目に対する回答を、「0:まったくあてはまらない~3:とてもあてはまる」として得点化し、各学習教育目標の得点率を計算した。各学習目標の下位項目内容及び得点率算出方法は Table 3 の通りであった。なお、「専門性」下位項目のみ、2012年度と2013年度とで項目数が異なる(2012年度は項目数1, 2013年度は項目数3であった)。その理由は、2012年度の質問項目内で尋ねられていた3つの内容(思考法, スキル, 知識)を、2013年度では1項目につき1つの質問内容となるように修正したためであった。

Table 3 URGCC 学習教育目標の下位項目と得点率の算出について

変数名	算出法	項目内容
自律性得点率	4項目を加算した合計12点中の得点率	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学で学ぶ意義を理解することができる</li> <li>・目標達成のために、自律的に努力することができる</li> <li>・生涯を通して学び続けようという姿勢を持つことができる</li> <li>・心身の健康を自律的に維持するように努めることができる</li> </ul>
社会性得点率	5項目を加算した合計15点中の得点率	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会の規範やルールの意味を理解し、自己の良心に従って行動できる</li> <li>・他者の意見を傾聴することができる</li> <li>・他者と協調・協働して行動することができる</li> <li>・リーダーシップを有し、目標の実現のために行動することができる</li> <li>・社会の一員としての自覚を持つことができる</li> </ul>
地域・国際性得点率	5項目を加算した合計15点中の得点率	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分が生活している地域社会の問題を理解することができる</li> <li>・沖縄の自然・歴史・社会等と世界の状況を結びつけて理解することができる</li> <li>・異文化を理解し、寛容な姿勢を持つことができる</li> <li>・自然環境を理解し、自然と共生するための知識を身につけることができる</li> <li>・地域・国際社会の発展に積極的に関与することができる</li> </ul>
コミュニケーション・スキル得点率	5項目を加算した合計15点中の得点率	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高度な日本語力を持ち、活用することができる</li> <li>・特定の外国語を用いて、読み、書き、聞き、話すことができる</li> <li>・語彙、論理ともに適切な文章で論文を作成することができる</li> <li>・自然や社会的事象について、シンボルを活用して分析・理解し、表現することができる</li> <li>・様々な立場を理解し、論理的に意見を交わすことができる</li> </ul>
情報リテラシー得点率	4項目を加算した合計12点中の得点率	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報通信技術を活用することができる</li> <li>・それぞれの分野において、信頼できる情報源を判断することができる</li> <li>・多様な情報を収集・分析して適正に判断することができる</li> <li>・収集した情報をモラルに則って活用することができる</li> </ul>
問題解決力得点率	5項目を加算した合計15点中の得点率	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な視座から物事を批判的に考察することができる</li> <li>・問題を見だし、創造的に解決策を考えることができる</li> <li>・情報や知識を論理的に分析することができる</li> <li>・獲得した知識や経験等を活用し、課題について総合的に判断することができる</li> <li>・幅広い学問分野について関心を持ち、その分野から得られる知見を活用することができる</li> </ul>
専門性得点率	<2012年度> 1項目合計3点中の得点率 <2013年度> 3項目を加算した合計9点中の得点率	<2012年度> <ul style="list-style-type: none"> <li>・専攻する学問分野における思考法, スキル, 知識等を体系的に身につけ、活用することができる</li> </ul> <2013年度> <ul style="list-style-type: none"> <li>・専攻する学問分野における思考法を体系的に身につけており、それらを活用することができる</li> <li>・専攻する学問分野におけるスキルを体系的に身につけており、それらを活用することができる</li> <li>・専攻する学問分野における知識を体系的に身につけており、それらを活用することができる</li> </ul>

## (1)-2 年度比較(全体)：調査対象者全体の URGCC 学習教育目標の平均得点率

まず、各学習教育目標の平均得点率を概観したい。2012 年度調査において、「自律性」、「社会性」は 70%弱の得点率を示し、最も高かった。これに次いで「地域・国際性」、「情報リテラシー」、「問題解決力」は 60%弱でほぼ同水準に位置していた。これらに次いで「専門性」が 55%程度を示し、そして「コミュニケーション・スキル」が最も低く 50%程度を示していた。本調査においては、最も高かった「社会性」が 65%強を示し、「自律性」が 65%弱を示した。これらに次いで「地域・国際性」、「情報リテラシー」、「問題解決力」は 60%弱でほぼ同水準に位置していた。これらに次いで「専門性」が 52%程度、「コミュニケーション・スキル」が最も低く 50%程度を示していた。結果を概観すると、『2012 年度と 2013 年度は同様の得点率の傾向を示しつつ、2013 年度において若干の減少や停滞をしている』と思われた。

では、各学習教育目標において、年度間の差は見られるのだろうか。続いて、調査対象者全体の URGCC7つの学習教育目標得点率の年度別(2012 年度及び 2013 年度)平均値の比較(t 検定)を行った。本分析の記述統計量と結果の一覧は table4, figure5 の通りであった。結果を要約すると以下の通りであった。「自律性」「社会性」「地域・国際性」「専門性」の 4つの平均得点率が 2012 年度よりも 2013 年度の方が有意に低く(「自律性」：2012 年度が 67.94%, 2013 年度が 64.13%, 1%水準で 2013 年度の方が 3.81 ポイント低い。「社会性」：2012 年度が 69.59%, 2013 年度が 66.67%, 1%水準で 2013 年度の方が 2.92 ポイント低い。「地域・国際性」：2012 年度が 59.80%, 2013 年度が 58.26%, 5%水準で 2013 年度の方が 1.54 ポイント低い。「専門性」：平均得点率は 2012 年度が 55.11%, 2013 年度が 52.65%, 1%水準で 2013 年度の方が 2.46 ポイント低い)、他方、「コミュニケーション・スキル」「情報リテラシー」「問題解決力」の 3つの平均得点率については有意な年度間の差は見られなかった。

以上より、2013 年度は 2012 年度と同様の得点率の傾向を示しつつも、「自律性」、「社会性」、「地域・国際性」、及び「専門性」において数ポイントとはいえ年度の進行により得点率は有意に減少しており、「コミュニケーション・スキル」、「情報リテラシー」、及び「問題解決力」については変化が見られなかった。

Table 4 URGCC 学習教育目標年度別得点率平均値の比較(全体)

全体	調査年度	度数	平均値(%)	標準偏差	t値	自由度	p
自律性	2012年度	1383	67.94	17.45	5.34	2388.00	0.00
	2013年度	1007	64.13	16.92			
社会性	2012年度	1375	69.59	16.02	4.46	2154.47	0.00
	2013年度	977	66.67	15.35			
地域・国際性	2012年度	1371	59.80	16.93	2.18	2351.00	0.03
	2013年度	982	58.26	16.68			
コミュニケーション・スキル	2012年度	1374	50.59	17.08	-0.51	2361.00	0.61
	2013年度	989	50.96	17.40			
情報リテラシー	2012年度	1369	58.33	17.48	-0.69	2370.00	0.49
	2013年度	1003	58.82	16.70			
問題解決力	2012年度	1369	58.90	16.84	-0.56	2353.00	0.58
	2013年度	986	59.29	16.56			
専門性	2012年度	1387	55.11	24.03	2.72	2346.34	0.01
	2013年度	1007	52.65	20.05			

\* : 5%水準で有意, \*\* : 1%水準で有意(以下同様)

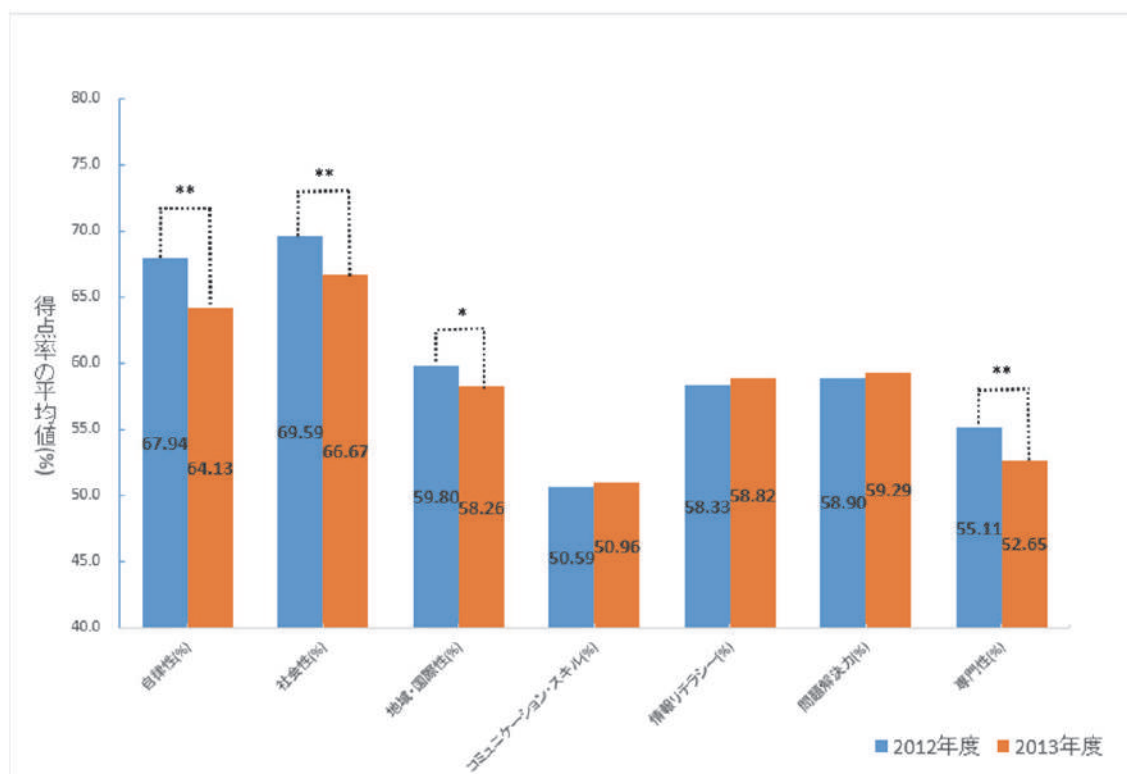


Figure 5 URGCC 学習教育目標年度別得点率平均値の比較(全体)

### (1)-3 年度比較(学部別) : URGCC 学習教育目標の平均得点率

続いて、学部毎に URGCC7 つの学習教育目標得点率の年度別(2012 年度及び 2013 年度)平均値の比較(t 検定)を行った。以下、学部毎の全ての報告については、順不同でアルファ



ベットを割り当てている。また、学士教育プログラム間の分析については、分析毎に降順で表示している。これらの詳細は、今後の個別フィードバックの際に報告する予定である。

学部 A については、「コミュニケーション・スキル」平均得点率(2012 年度 : 50.00%, 2013 年度 : 54.09%)が 2012 年度よりも 2013 年度が 5%水準で 4.09 ポイント高かった。その他の URGCC 学習教育目標の平均得点率に有意差は見られなかった(Table5, Figure6)。

Table 5 URGCC 学習教育目標年度別得点率平均値の比較(学部 A)

学部A	調査年度	度数	平均値(%)	標準偏差	t値	自由度	p
自律性	2012年度	125	69.40	16.69	0.62	248.00	0.54
	2013年度	125	68.13	15.59			
社会性	2012年度	121	73.88	14.00	0.87	242.00	0.39
	2013年度	123	72.30	14.36			
地域・国際性	2012年度	124	62.85	16.53	-0.45	244.00	0.66
	2013年度	122	63.77	15.92			
コミュニケーション・スキル	2012年度	124	50.00	15.00	-2.08	245.12	0.04 *
	2013年度	124	54.09	15.93			
情報リテラシー	2012年度	122	60.18	16.05	0.89	245.00	0.38
	2013年度	125	58.33	16.63			
問題解決力	2012年度	123	58.37	15.58	-0.89	242.00	0.38
	2013年度	121	60.17	16.04			
専門性	2012年度	125	54.40	22.21	-0.36	248.00	0.72
	2013年度	125	55.38	20.40			

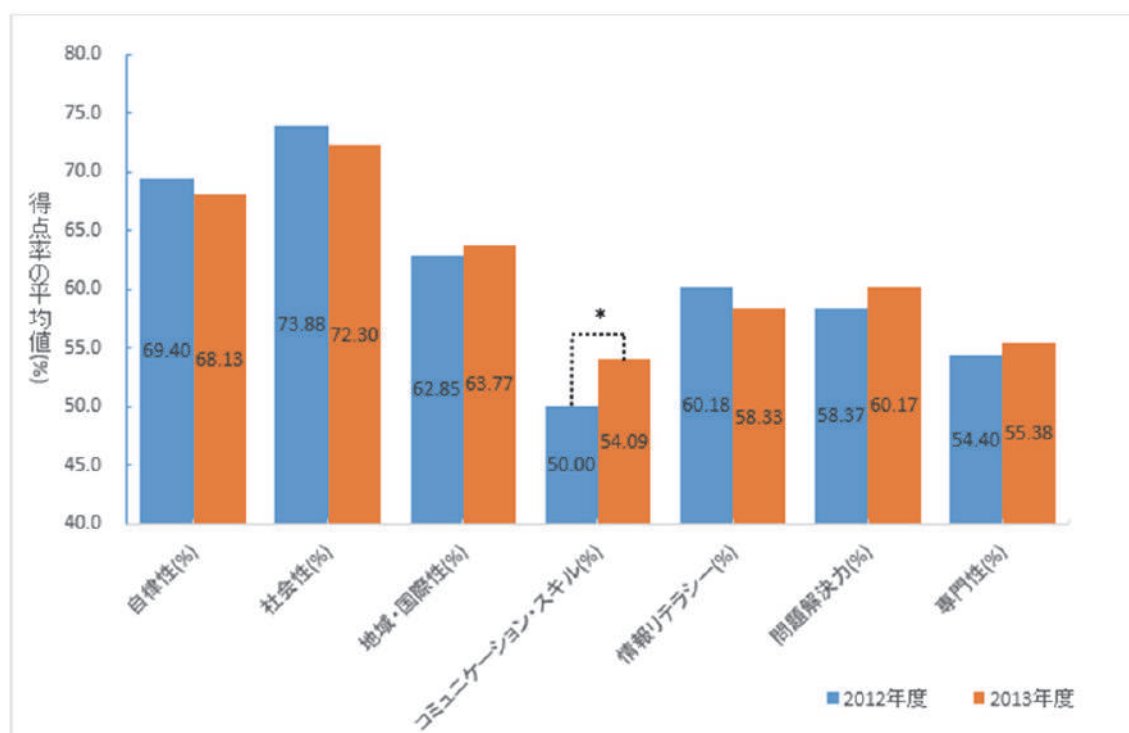


Figure 6 URGCC 学習教育目標年度別得点率平均値の比較(学部 A)

学部 B については、URGCC 学習教育目標いずれも、2012 年度と 2013 年度の間に有意差は見られなかった(Table6, Figure7)。

Table 6 URGCC 学習教育目標年度別得点率平均値の比較(学部 B)

学部B	調査年度	度数	平均値(%)	標準偏差	t値	自由度	p
自律性	2012年度	123	66.73	18.06	0.32	178.00	0.75
	2013年度	57	65.79	18.75			
社会性	2012年度	123	67.15	15.72	1.41	177.00	0.16
	2013年度	56	63.33	19.03			
地域・国際性	2012年度	123	60.05	15.66	-0.49	177.00	0.62
	2013年度	56	61.31	16.20			
コミュニケーション・スキル	2012年度	123	48.78	15.37	0.33	178.00	0.74
	2013年度	57	47.95	16.64			
情報リテラシー	2012年度	120	55.97	17.79	-0.04	174.00	0.97
	2013年度	56	56.10	18.43			
問題解決力	2012年度	120	58.06	15.76	-0.42	174.00	0.67
	2013年度	56	59.17	17.29			
専門性	2012年度	123	51.49	24.24	0.49	128.20	0.62
	2013年度	56	49.80	19.88			

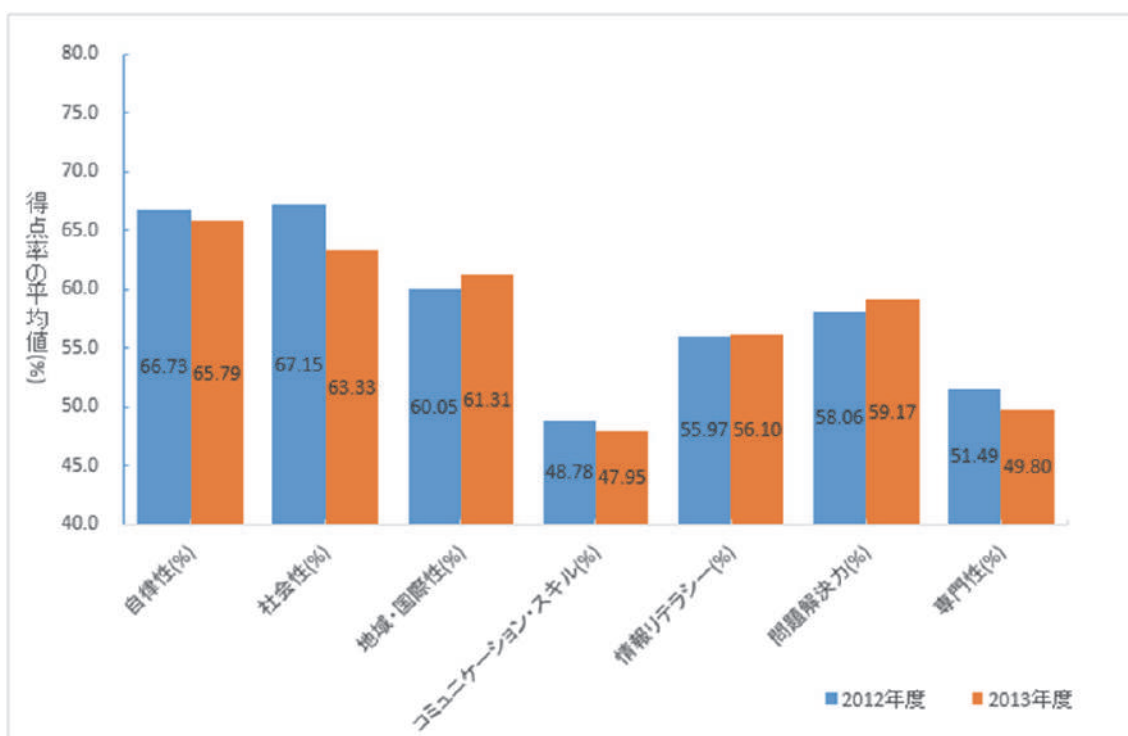


Figure 7 URGCC 学習教育目標年度別得点率平均値の比較(学部 B)

学部 C については、「自律性」平均得点率(2012 年度：66.98%，2013 年度：61.30%)が 2012 年度よりも 2013 年度が 1%水準で 5.68 ポイント低かった。更に「専門性」平均得点率(2012 年度：57.07%，2013 年度：49.25%)が 2012 年度よりも 2013 年度が 1%水準で 7.82 ポイント低かった。その他の URGCC 学習教育目標の平均得点率に有意差は見られなかった(Table7, Figure8)。

Table 7 URGCC 学習教育目標年度別得点率平均値の比較(学部 C)

学部C	調査年度	度数	平均値(%)	標準偏差	t値	自由度	p
自律性	2012年度	184	66.98	16.19	2.80	286.00	0.01 **
	2013年度	104	61.30	17.18			
社会性	2012年度	184	66.49	15.81	1.33	283.00	0.18
	2013年度	101	63.89	15.50			
地域・国際性	2012年度	183	58.94	18.05	1.35	283.00	0.18
	2013年度	102	56.08	15.48			
コミュニケーション・スキル	2012年度	184	49.31	17.42	-0.40	285.00	0.69
	2013年度	103	50.16	16.49			
情報リテラシー	2012年度	186	57.84	17.57	0.04	287.00	0.97
	2013年度	103	57.77	16.10			
問題解決力	2012年度	183	60.51	16.37	0.33	284.00	0.74
	2013年度	103	59.87	15.05			
専門性	2012年度	184	57.07	23.34	3.06	248.56	0.00 **
	2013年度	104	49.25	19.26			

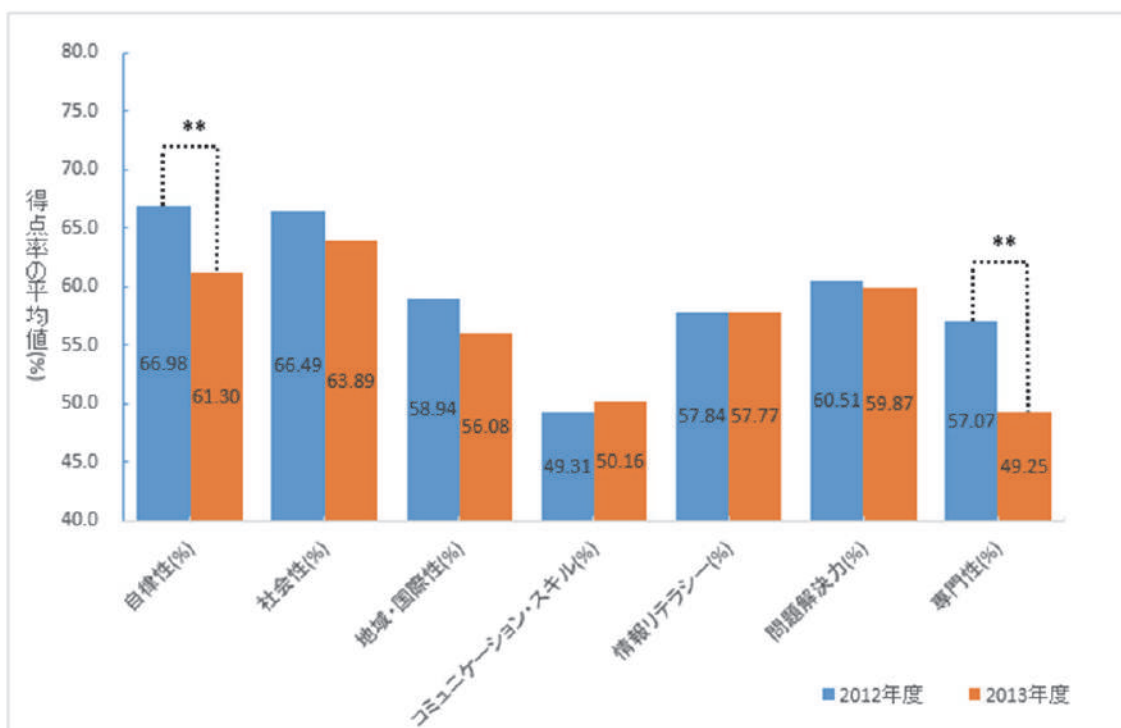


Figure 8 URGCC 学習教育目標年度別得点率平均値の比較(学部 C)

学部 D については、「自律性」平均得点率(2012 年度：66.83%，2013 年度：62.47%)が 2012 年度よりも 2013 年度が 1%水準で 4.36 ポイント低かった。その他の URGCC 学習教育目標の平均得点率に有意差は見られなかった(Table8, Figure9)。

Table 8 URGCC 学習教育目標年度別得点率平均値の比較(学部 D)

学部D	調査年度	度数	平均値(%)	標準偏差	t値	自由度	p
自律性	2012年度	349	66.83	18.06	2.64	510.00	0.01 **
	2013年度	163	62.47	15.99			
社会性	2012年度	350	69.16	15.93	1.55	354.26	0.12
	2013年度	156	67.05	13.23			
地域・国際性	2012年度	343	60.17	16.84	1.38	500.00	0.17
	2013年度	159	57.99	15.91			
コミュニケーション・スキル	2012年度	345	51.01	17.25	0.25	502.00	0.80
	2013年度	159	50.61	16.06			
情報リテラシー	2012年度	346	57.20	17.72	0.17	378.76	0.87
	2013年度	163	56.95	14.62			
問題解決力	2012年度	345	57.06	16.67	-0.29	307.91	0.77
	2013年度	159	57.53	16.63			
専門性	2012年度	351	54.42	25.79	1.06	423.32	0.29
	2013年度	163	52.28	18.64			

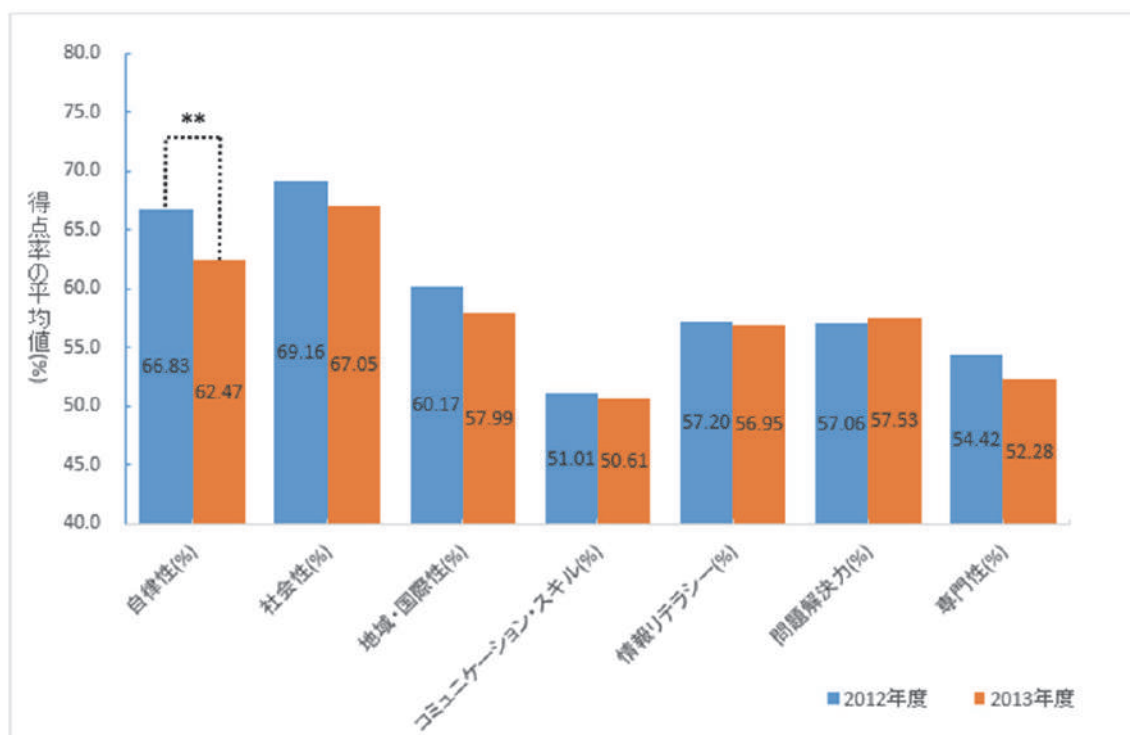


Figure 9 URGCC 学習教育目標年度別得点率平均値の比較(学部 D)

学部 E については、「情報リテラシー」平均得点率(2012 年度:57.07%, 2013 年度:61.39%)が 2012 年度よりも 2013 年度が 5%水準で 4.32 ポイント高かった。その他の URGCC 学習教育目標の平均得点率に有意差は見られなかった(Table9, Figure10)。

Table 9 URGCC 学習教育目標年度別得点率平均値の比較(学部 E)

学部E	調査年度	度数	平均値(%)	標準偏差	t値	自由度	p
自律性	2012年度	175	74.00	16.46	0.60	294.00	0.55
	2013年度	121	72.87	15.57			
社会性	2012年度	174	76.71	15.05	1.06	288.00	0.29
	2013年度	116	74.83	14.37			
地域・国際性	2012年度	171	64.05	16.78	-0.28	283.00	0.78
	2013年度	114	64.62	17.22			
コミュニケーション・スキル	2012年度	173	52.56	17.64	-0.73	288.00	0.47
	2013年度	117	54.19	19.84			
情報リテラシー	2012年度	172	57.07	17.64	-2.00	290.00	0.05 *
	2013年度	120	61.39	18.80			
問題解決力	2012年度	173	60.50	18.84	-1.57	287.00	0.12
	2013年度	116	63.97	17.63			
専門性	2012年度	175	57.33	24.67	-0.35	293.00	0.73
	2013年度	120	58.33	22.79			

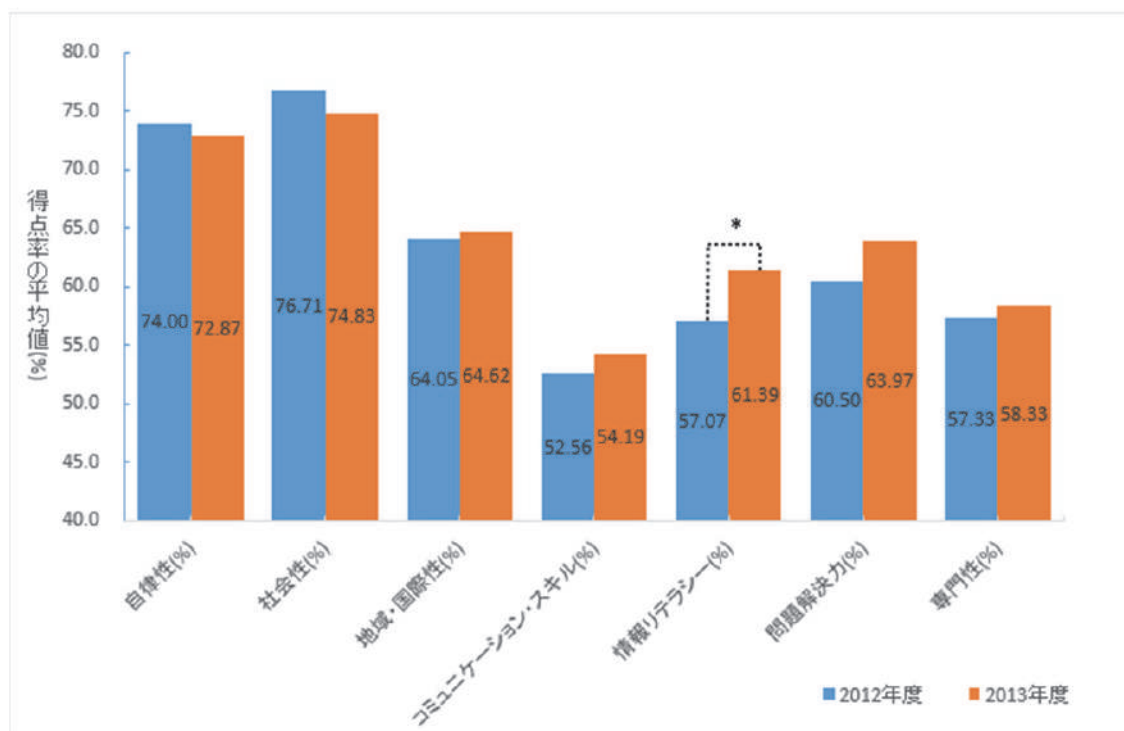


Figure 10 URGCC 学習教育目標年度別得点率平均値の比較(学部 E)

学部 F については、「自律性」平均得点率(2012 年度：63.05%，2013 年度：58.93%)が 2012 年度よりも 2013 年度が 1%水準で 4.12 ポイント低く、「社会性」平均得点率(2012 年度：65.56%，2013 年度：62.15%)が 2012 年度よりも 2013 年度が 1%水準で 3.41 ポイント低く、そして「専門性」平均得点率(2012 年度：54.32%，2013 年度：50.13%)が 2012 年度よりも 2013 年度が 5%水準で 4.19 ポイント低かった。その他の URGCC 学習教育目標の平均得点率に有意差は見られなかった(Table10, Figure11)。

Table 10 URGCC 学習教育目標年度別得点率平均値の比較(学部 F)

学部F	調査年度	度数	平均値(%)	標準偏差	t値	自由度	p
自律性	2012年度	267	63.05	18.13	2.74	560.00	0.01 **
	2013年度	295	58.93	17.52			
社会性	2012年度	265	65.56	16.82	2.49	552.00	0.01 **
	2013年度	289	62.15	15.46			
地域・国際性	2012年度	268	54.63	16.54	0.97	559.00	0.33
	2013年度	293	53.24	17.09			
コミュニケーション・スキル	2012年度	267	48.06	18.13	0.52	557.00	0.60
	2013年度	292	47.26	18.19			
情報リテラシー	2012年度	265	59.81	18.65	0.77	558.00	0.44
	2013年度	295	58.62	18.03			
問題解決力	2012年度	267	57.83	18.29	0.53	559.00	0.60
	2013年度	294	57.03	17.67			
専門性	2012年度	270	54.32	22.90	2.32	533.80	0.02 *
	2013年度	297	50.13	19.74			

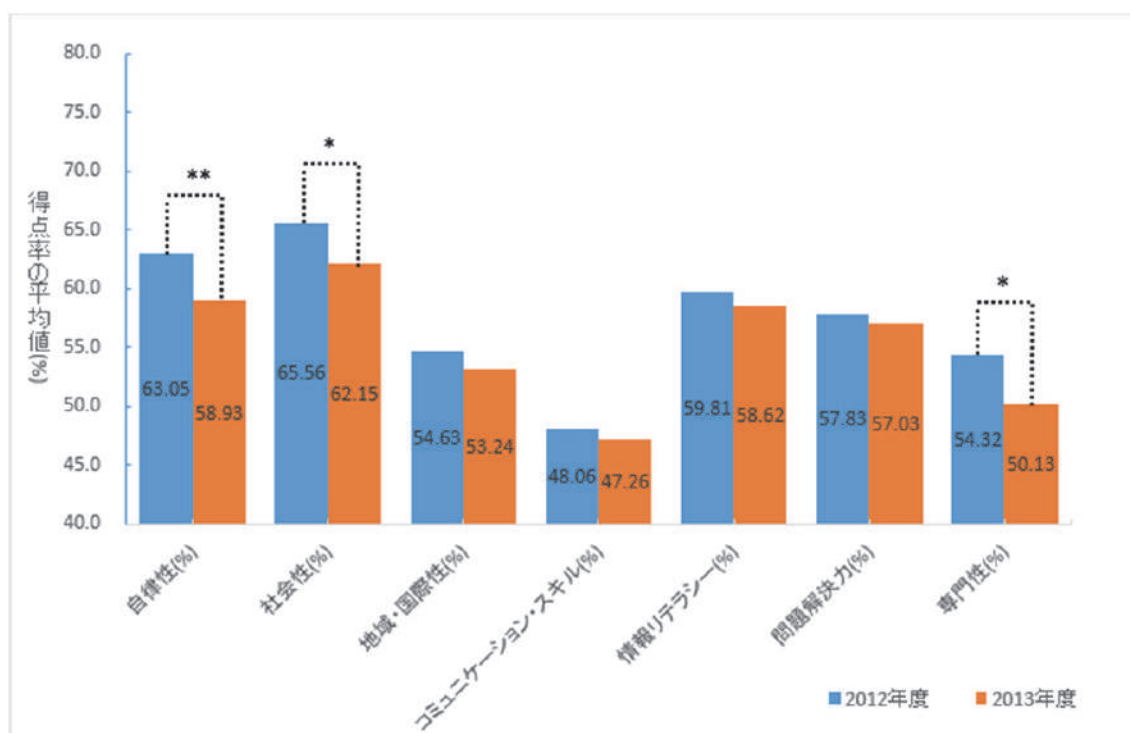


Figure 11 URGCC 学習教育目標年度別得点率平均値の比較(学部 F)

学部 G については、「自律性」平均得点率(2012 年度：72.72%，2013 年度：67.32%)が 2012 年度よりも 2013 年度が 1%水準で 5.4 ポイント低く、「社会性」平均得点率(2012 年度：71.57%，2013 年度：67.21%)が 2012 年度よりも 2013 年度が 1%水準で 4.36 ポイント低かった。その他の URGCC 学習教育目標の平均得点率に有意差は見られなかった (Table11, Figure12)。

Table 11 URGCC 学習教育目標年度別得点率平均値の比較(学部 G)

学部G	調査年度	度数	平均値(%)	標準偏差	t値	自由度	p
自律性	2012年度	146	72.72	14.40	3.30	284.42	0.00 **
	2013年度	141	67.32	13.29			
社会性	2012年度	144	71.57	14.34	2.68	276.49	0.01 **
	2013年度	135	67.21	12.88			
地域・国際性	2012年度	146	61.19	15.71	0.96	279.00	0.34
	2013年度	135	59.46	14.46			
コミュニケーション・スキル	2012年度	145	55.22	16.06	-0.12	279.00	0.91
	2013年度	136	55.44	15.41			
情報リテラシー	2012年度	145	60.17	14.68	-0.83	283.00	0.41
	2013年度	140	61.55	13.36			
問題解決力	2012年度	145	61.75	13.79	0.35	279.00	0.72
	2013年度	136	61.18	13.21			
専門性	2012年度	145	56.55	21.99	0.80	279.64	0.42
	2013年度	141	54.61	18.85			

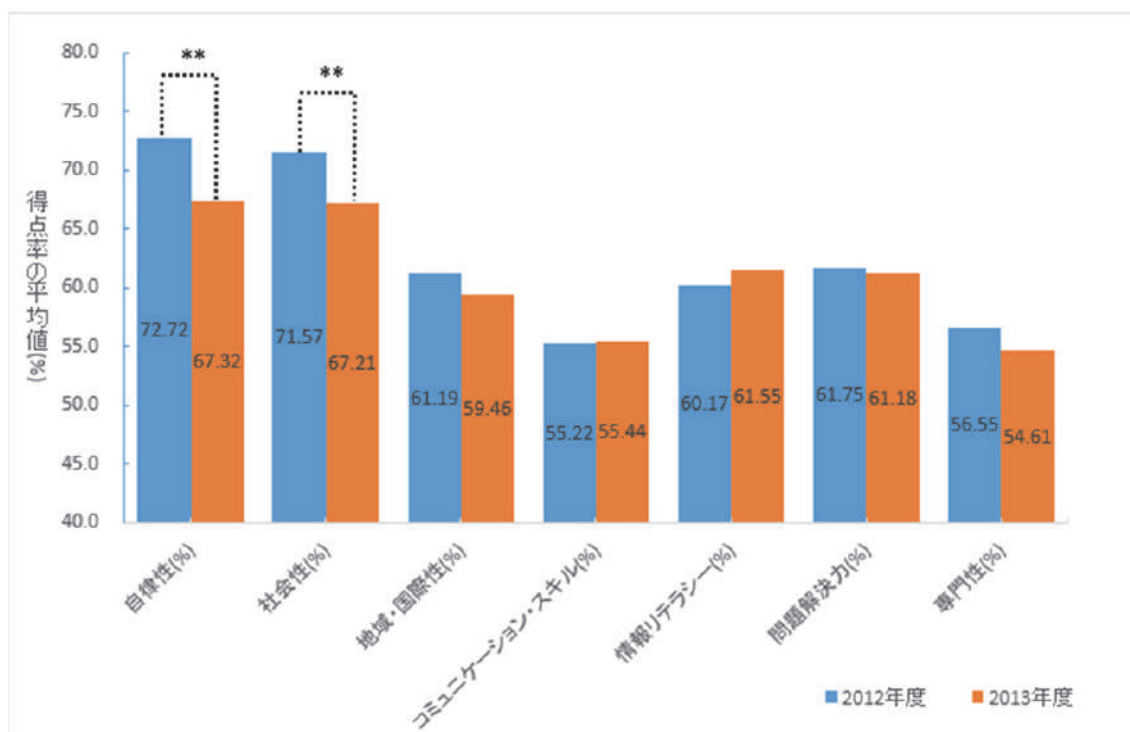


Figure 12 URGCC 学習教育目標年度別得点率平均値の比較(学部 G)

#### (1)-4 2013 年度調査の各学士教育プログラム間比較：URGCC 学習教育目標の平均得点率

URGCC7つの学習教育目標得点率(2013 年度)それぞれについて、各学士教育プログラム間の平均値の比較(分散分析)を行った(table12, figure13~figure19)。なお、各目標について、度数が 5 未満となった学士教育プログラムは分析から除外した。

分散分析の結果は Table12 の通りだが、要約すると以下の通りであった。「情報リテラシー」平均得点率についてプログラム間に有意な差は見られず、その他全ての URGCC 学習教育目標(「自律性」「社会性」「地域・国際性」「コミュニケーション・スキル」「問題解決力」「専門性」)の平均得点率について、プログラム間に 1%水準で有意差が見られた。具体的にどの学士教育プログラム間に有意差が見られたか(多重比較検定)については、今回報告では省略したが、「情報リテラシー」を除くほぼすべての URGCC 学習教育目標得点率において、学士教育プログラム間に差が見られることが分かった。

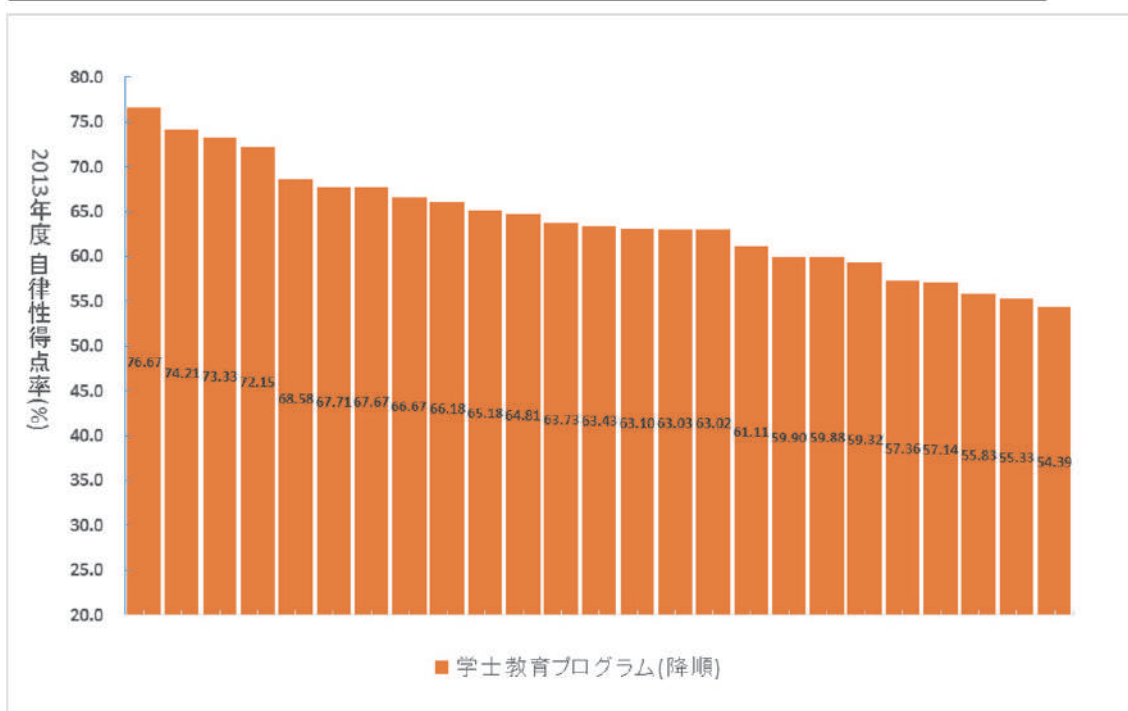
ここまでの URGCC 学習教育目標得点率に関する分析結果を通して見てみたい。例えば、URGCC 導入前調査以降、他の学習教育目標と比べて得点率が低いと報告されてきた「コミュニケーション・スキル」についてはどうだろうか。「コミュニケーション・スキル」は、(1)-2 にて述べた通り、2012 年度、2013 年度共に調査対象者全体の得点率が 5 割程度で他の URGCC 学習教育目標と比べて最も低かった。同様に(1)-3 にて学部毎に比較した結果について、1 学部のみ有意に得点率の上昇が見られたが、その上昇した値を含めても、同程度(5 割程度)の値を示すに留まった。しかし、本項(2013 年度調査の学士教育プログラム間の平均得点率比較)において、学士教育プログラム間に有意な差が見られ、最も得点率の高かったプログラムは 60%を超え、最も低かったプログラムは 40%程度であった。

上記の例を初めとして、多くの URGCC 学習教育目標において、学士教育プログラム間に差が見られたが、ここで、その是非について簡単に言及したい。各学士教育プログラムは各々の達成目標に基づいてカリキュラムを組んでいる。また、学士教育プログラム毎に、重きを置く URGCC 学習教育目標に差異があるのも当然だろう。つまり、URGCC 学習教育目標得点率における学士教育プログラム間の差とは、その差に良し悪しがあるのではなく、言い換えれば学士教育プログラム毎の特徴が表れているともいえよう。



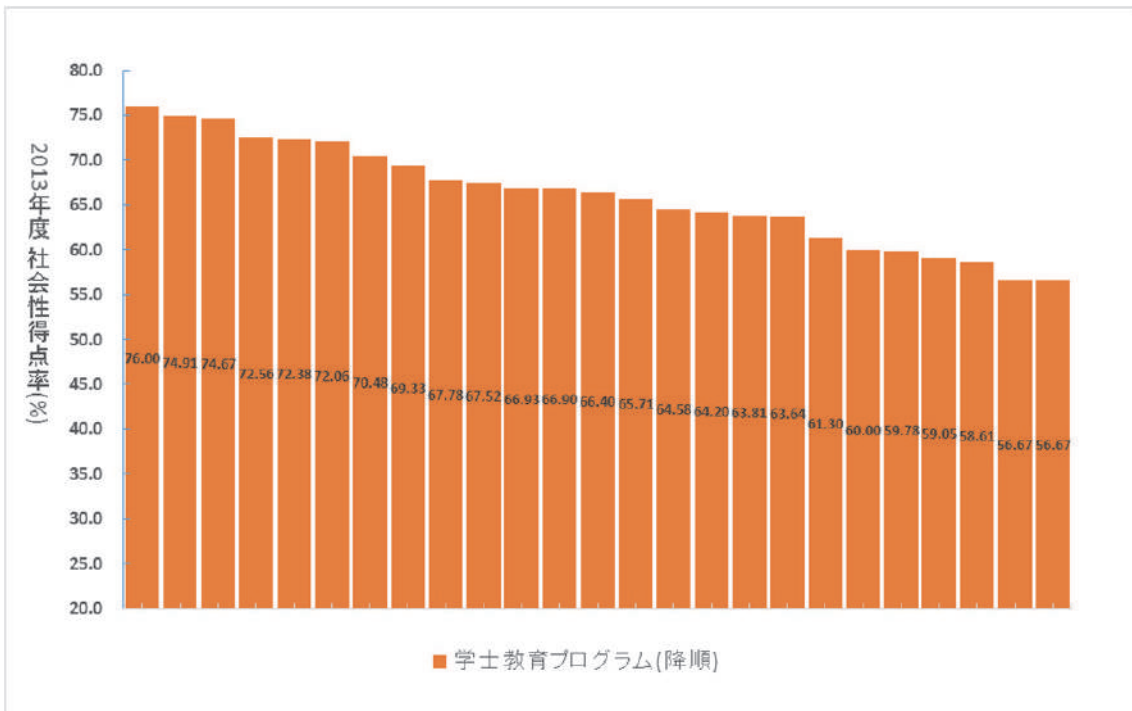
Table 12 URGCC 学習教育目標得点率平均値の各学士教育プログラム間比較(2013 年度)

URGCC7つの学習教育目標得点率(%)	度数	平均値(%)	標準偏差		自由度	F値	p
自律性得点率	990	64.16	16.91	グループ間	24	4.94	0.00 **
				グループ内	965		
社会性得点率	962	66.69	15.31	グループ間	24	5.10	0.00 **
				グループ内	937		
地域・国際性得点率	962	58.29	16.61	グループ間	23	4.80	0.00 **
				グループ内	938		
コミュニケーション・スキル得点率	972	50.97	17.42	グループ間	24	3.77	0.00 **
				グループ内	947		
情報リテラシー得点率	987	58.81	16.69	グループ間	24	1.36	0.11
				グループ内	962		
問題解決力得点率	969	59.22	16.51	グループ間	24	2.40	0.00 **
				グループ内	944		
専門性得点率	990	52.63	20.09	グループ間	24	3.66	0.00 **
				グループ内	965		



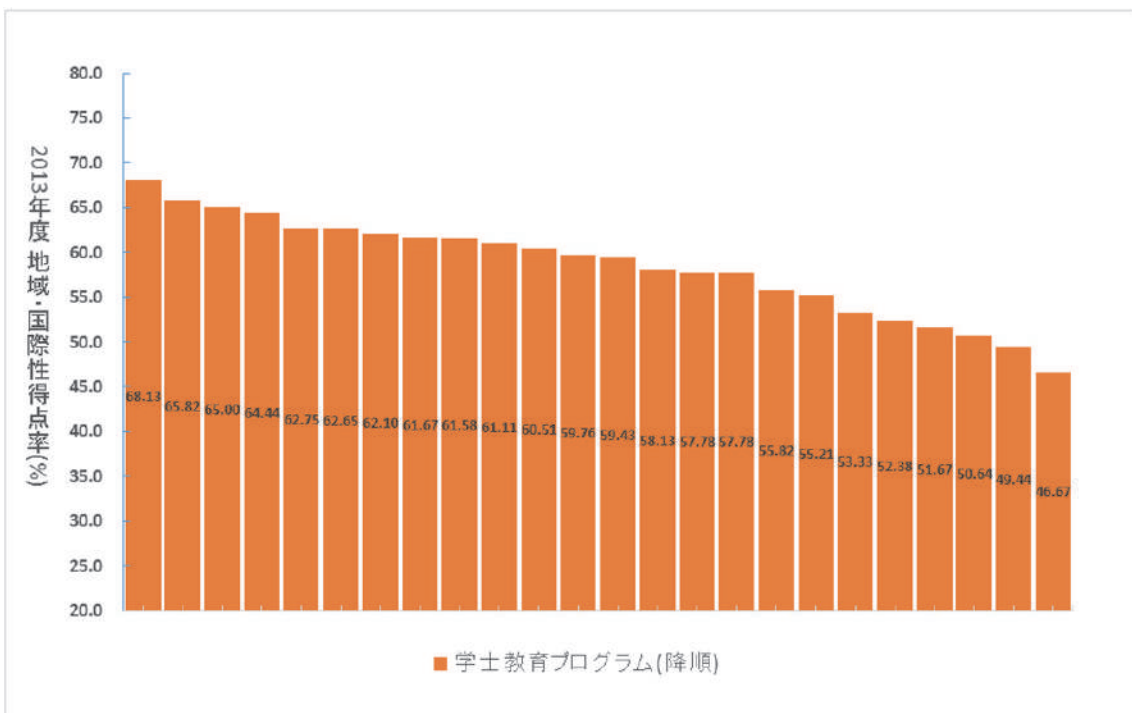
1%水準で有意

Figure 13 「自律性」得点率平均値の各学士教育プログラム間比較(2013 年度)



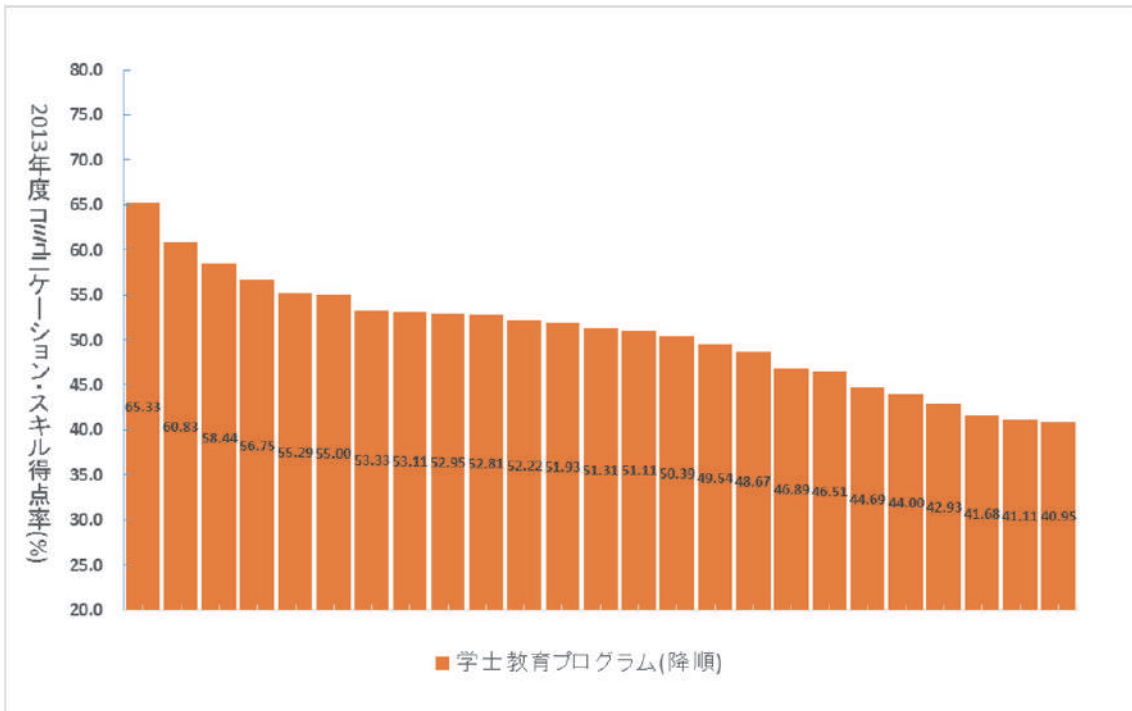
1%水準で有意

Figure 14 「社会性」得点率平均値の各学士教育プログラム間比較(2013年度)



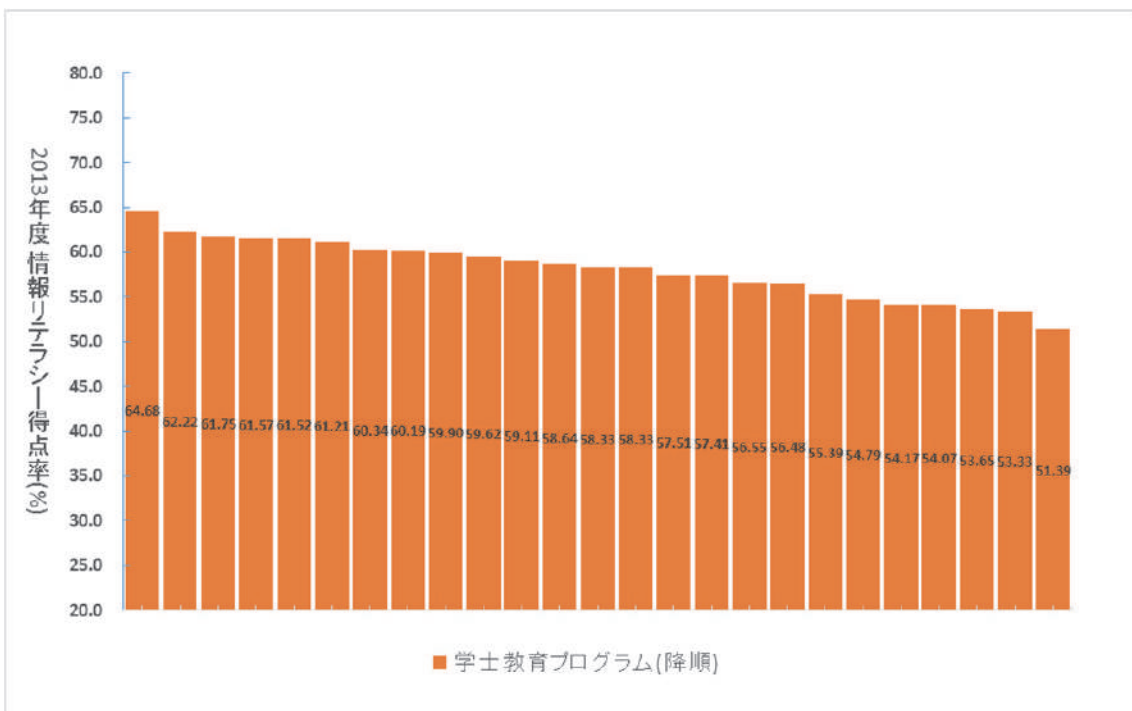
1%水準で有意。

Figure 15 「地域・国際性」得点率平均値の各学士教育プログラム間比較(2013年度)



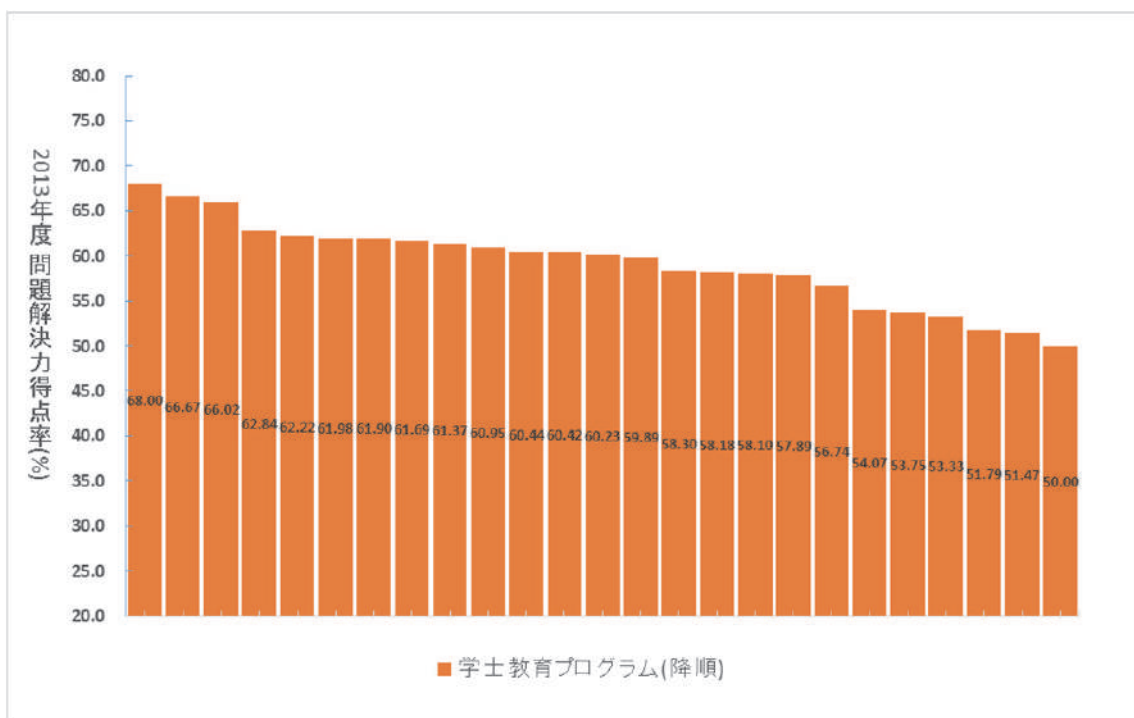
1%水準で有意。

Figure 16 「コミュニケーション・スキル」得点率平均値の各学士教育プログラム間比較(2013年度)



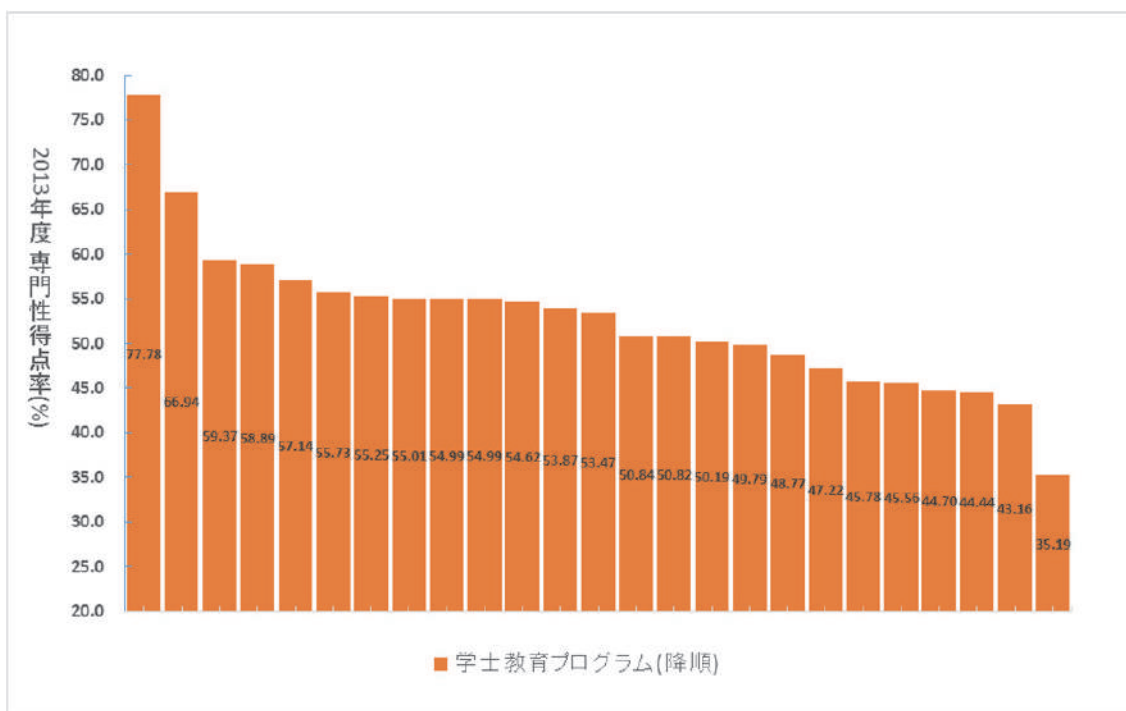
有意差なし

Figure 17 「情報リテラシー」得点率平均値の各学士教育プログラム間比較(2013年度)



1%水準で有意

Figure 18 「問題解決力」得点率平均値の各学術教育プログラム間比較(2013年度)



1%水準で有意

Figure 19 「専門性」得点率平均値の各学術教育プログラム間比較(2013年度)

## (2) 学習時間の比較

続いて、調査対象者の授業時間外の学習時間数について報告したい。学習時間については、以下の条件で質問項目が設定されている。調査時の最近の2週間について、1日のうち平均してどのくらいの時間を授業の事前学習(次回の授業の準備として行う予習・課題学習等。以下「事前学習時間」)、授業の事後学習(各回の授業の振り返りとして行う復習・課題学習等。以下「事後学習時間」)、及び単位に直接関係しない自主的な学習(以下、「その他自主学習時間」)に費やしたかをそれぞれ尋ねた。

以下、「事前学習時間」と「事後学習時間」を合わせた学習時間を「事前+事後学習時間」、「事前学習時間」と「その他自主学習時間」を合わせた学習時間を「事前+その他自主学習時間」、「事後学習時間」と「その他自主学習時間」を合わせた学習時間を「事後+その他自主学習時間」、そして3つの学習時間を合計した学習時間を「総自主学習時間」とそれぞれ呼称する。これらいずれの学習時間においても8時間(480分)を超えるもの、及び無回答を除外した2233名(2012年度=1315名、2013年度=918名)を分析対象とした。

### (2)-1 年度比較(全体)：授業時間外の平均学習時間

まず、調査対象者全体の各自主学習時間の年度別(2012年度及び2013年度)平均値の比較(t検定)を行った。本分析の記述統計量と結果の一覧はtable13, figure20の通りであった。結果を要約すると以下の通りであった。「事後学習時間」、「事前+事後学習時間」、「事後+その他自主学習時間」、及び「総自主学習時間」において、2012年度よりも2013年度の方が学習時間が1%水準で有意に長かった(「事後学習時間」：2012年度が52.76分、2013年度が54.60分、2013年度の方が32.07分長い。「事前+事後学習時間」：2012年度が101.75分、2013年度が135.66分、2013年度の方が33.92分長い。「事後+その他自主学習時間」：2012年度が85.63分、2013年度が113.76分、2013年度の方が28.13分長い。「総自主学習時間」：2012年度が138.39分、2013年度が168.37分、2013年度の方が29.98分長い)。残りの各学習時間(「事前学習時間」「その他自主学習時間」「事前+その他自主学習時間」)については、年度間に有意差は見られなかった。いずれも、「事後学習時間」が含まれた学習時間において、年度間に有意差が見られた。つまり、全体の傾向として、2年次になり、復習や授業の課題といった事後学習行動に重きをおくようになってきたといえる。

Table13 各種学習時間平均値の年度別比較(全体)

全体	調査年度	度数	平均値(分)	標準偏差	t値	自由度	p
事前学習時間	2012年度	1315	52.76	46.36	-0.81	1700.55	0.42
	2013年度	918	54.60	57.23			
事後学習時間	2012年度	1315	48.99	46.49	-11.68	1422.38	0.00 **
	2013年度	918	81.06	73.57			
その他自主学習時間	2012年度	1315	36.65	55.56	1.70	2231.00	0.09
	2013年度	918	32.71	51.59			
事前+事後学習時間	2012年度	1315	101.75	78.93	-8.42	1634.19	0.00 **
	2013年度	918	135.66	102.78			
事前+その他自主学習時間	2012年度	1315	89.41	77.52	0.62	2231.00	0.54
	2013年度	918	87.31	79.95			
事後+その他自主学習時間	2012年度	1315	85.63	76.67	-7.58	1731.61	0.00 **
	2013年度	918	113.76	92.37			
総自主学習時間	2012年度	1315	138.39	103.53	-6.18	1793.90	0.00 **
	2013年度	918	168.37	118.90			

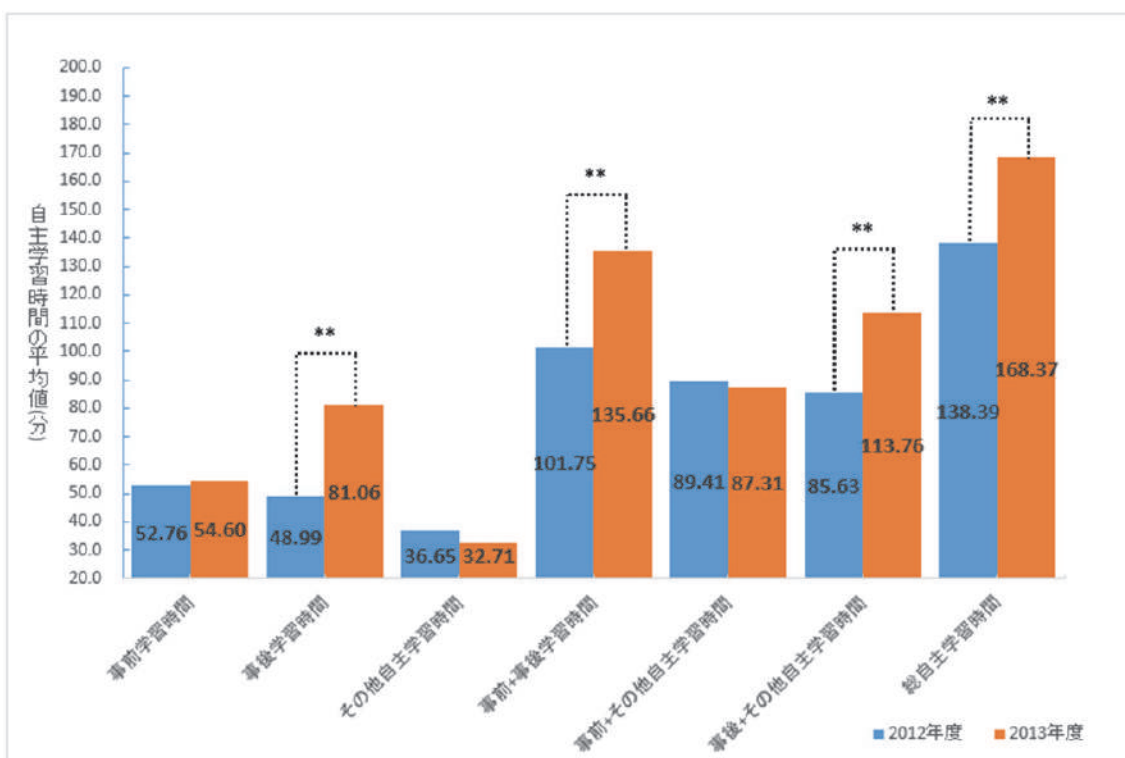


Figure20 各種学習時間平均値の年度別比較(全体)

(2)-2 年度比較(学部別) : 授業時間外 の平均学習時間

続いて、学部毎に各自主学習時間の年度別(2012年度及び2013年度)平均値の比較(t検定)を行った。

学部 A については、「事後学習時間」平均学習時間(2012 年度：50.08 分，2013 年度：76.73 分)が 2012 年度よりも 2013 年度の方が 1%水準で 26.65 分長く，「事前+事後学習時間」平均学習時間(2012 年度：109.42 分，2013 年度：138.32 分)が 2012 年度よりも 2013 年度の方が 1%水準で 28.90 分長く，「事後+その他学習時間」平均学習時間(2012 年度：92.81 分，2013 年度：124.91 分)が 2012 年度よりも 2013 年度の方が 1%水準で 35.10 分長く，「総自主学習時間」平均学習時間((2012 年度：152.15 分，2013 年度：186.50 分)が 2012 年度よりも 2013 年度の方が 5%水準で 34.35 分長かった。残りの各学習時間に有意差は見られなかった(Table14, Figure21)。

Table 14 各種学習時間平均値の年度別比較(学部 A)

学部A	調査年度	度数	平均値(分)	標準偏差	t値	自由度	p
事前学習時間	2012年度	121	59.34	41.91	-0.39	229.00	0.70
	2013年度	110	61.59	46.10			
事後学習時間	2012年度	121	50.08	43.74	-4.03	207.12	0.00 **
	2013年度	110	76.73	55.40			
その他自主学習時間	2012年度	121	42.73	61.75	-0.64	229.00	0.52
	2013年度	110	48.18	67.42			
事前+事後学習時間	2012年度	121	109.42	75.02	-2.67	229.00	0.01 **
	2013年度	110	138.32	89.52			
事前+その他自主学習時間	2012年度	121	102.07	83.45	-0.68	229.00	0.50
	2013年度	110	109.77	88.74			
事後+その他自主学習時間	2012年度	121	92.81	82.43	-2.71	229.00	0.01 **
	2013年度	110	124.91	97.42			
総自主学習時間	2012年度	121	152.15	109.11	-2.23	229.00	0.03 *
	2013年度	110	186.50	125.05			

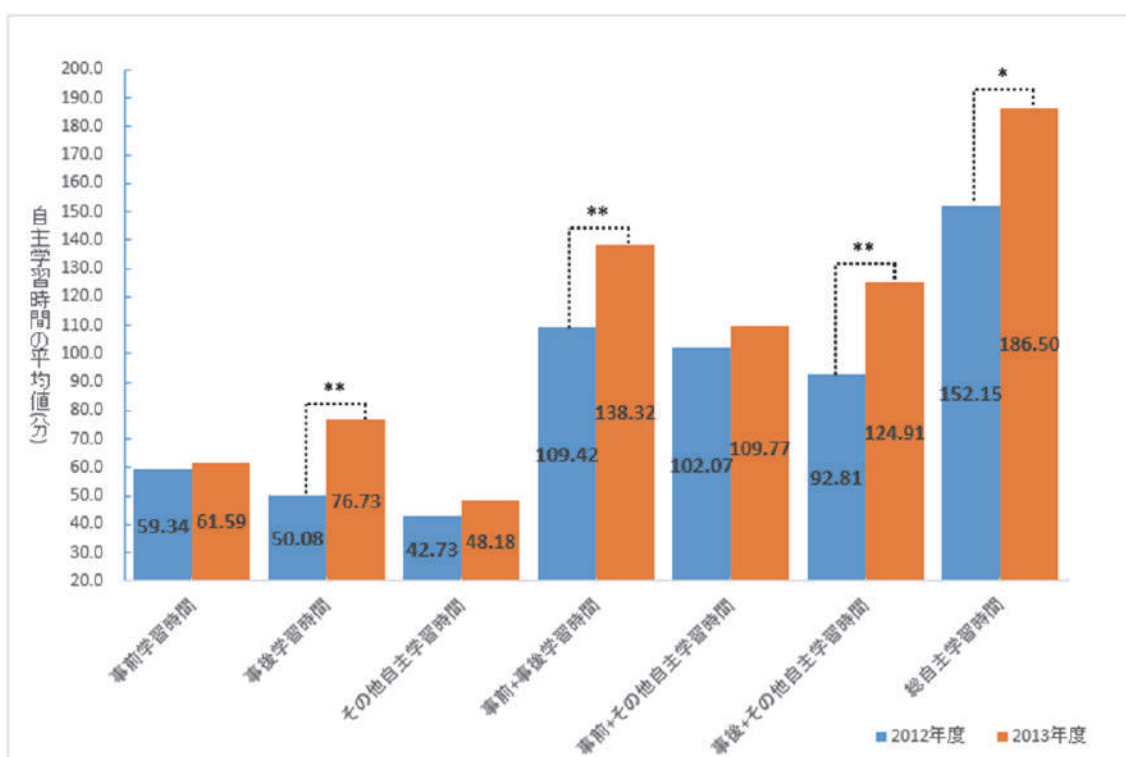


Figure 21 各種学習時間平均値の年度別比較(学部 A)

学部 B については、「事後学習時間」平均学習時間(2012 年度:49.25 分, 2013 年度:76.79 分)が 2012 年度よりも 2013 年度の方が 1%水準で 27.45 分長く, 「事前+事後学習時間」平均学習時間(2012 年度:93.21 分, 2013 年度:133.30 分)が 2012 年度よりも 2013 年度の方が 1%水準で 40.09 分長かった。残りの各学習時間に有意差は見られなかった(Table15, Figure22)。

Table 15 各種学習時間平均値の年度別比較(学部 B)

学部B	調査年度	度数	平均値(分)	標準偏差	t値	自由度	p
事前学習時間	2012年度	120	43.96	40.75	-1.49	171.00	0.14
	2013年度	53	56.51	68.97			
事後学習時間	2012年度	120	49.25	47.31	-2.86	79.29	0.01 **
	2013年度	53	76.79	62.66			
その他自主学習時間	2012年度	120	34.59	62.29	1.24	171.00	0.22
	2013年度	53	23.02	40.60			
事前+事後学習時間	2012年度	120	93.21	75.40	-2.87	171.00	0.01 **
	2013年度	53	133.30	102.61			
事前+その他自主学習時間	2012年度	120	78.55	76.17	-0.08	171.00	0.94
	2013年度	53	79.53	78.36			
事後+その他自主学習時間	2012年度	120	83.84	78.62	-1.24	171.00	0.22
	2013年度	53	99.81	76.87			
総自主学習時間	2012年度	120	127.80	99.44	-1.68	171.00	0.10
	2013年度	53	156.32	110.66			

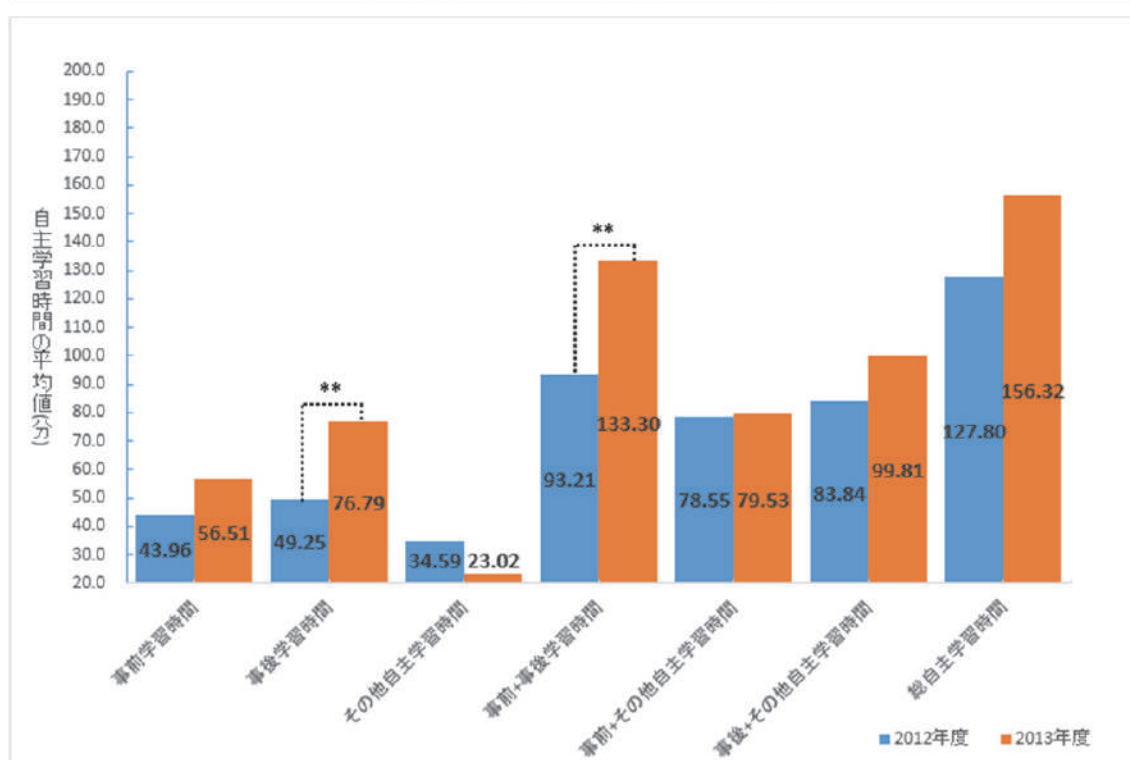


Figure 22 各種学習時間平均値の年度別比較(学部 B)



学部 C については、「事後学習時間」平均学習時間(2012 年度:55.19 分, 2013 年度:102.63 分)が 2012 年度よりも 2013 年度の方が 1%水準で 47.44 分長く,「事前+事後学習時間」平均学習時間(2012 年度:104.29 分, 2013 年度:145.68 分)が 2012 年度よりも 2013 年度の方が 1%水準で 41.39 分長く,「事後+その他自主学習時間」平均学習時間(2012 年度:99.54 分, 2013 年度:135.37 分)が 2012 年度よりも 2013 年度の方が 1%水準で 35.83 分長く,「総自主学習時間」平均学習時間(2012 年度:148.64 分, 2013 年度:178.42 分)が 2012 年度よりも 2013 年度の方が 5%水準で 29.78 分長かった。残りの各学習時間に有意差は見られなかった(Table16, Figure23)。

Table 16 各種学習時間平均値の年度別比較(学部 C)

学部C	調査年度	度数	平均値(分)	標準偏差	t値	自由度	p
事前学習時間	2012年度	175	49.10	46.45	0.94	268.00	0.35
	2013年度	95	43.05	56.88			
事後学習時間	2012年度	175	55.19	51.67	-4.94	132.08	0.00 **
	2013年度	95	102.63	85.60			
その他自主学習時間	2012年度	175	44.35	60.05	1.58	268.00	0.11
	2013年度	95	32.74	52.54			
事前+事後学習時間	2012年度	175	104.29	82.10	-3.22	152.34	0.00 **
	2013年度	95	145.68	109.61			
事前+その他自主学習時間	2012年度	175	93.45	78.52	1.76	268.00	0.08
	2013年度	95	75.79	79.66			
事後+その他自主学習時間	2012年度	175	99.54	76.18	-3.04	153.74	0.00 **
	2013年度	95	135.37	100.47			
総自主学習時間	2012年度	175	148.64	101.36	-2.02	164.03	0.05 *
	2013年度	95	178.42	123.01			

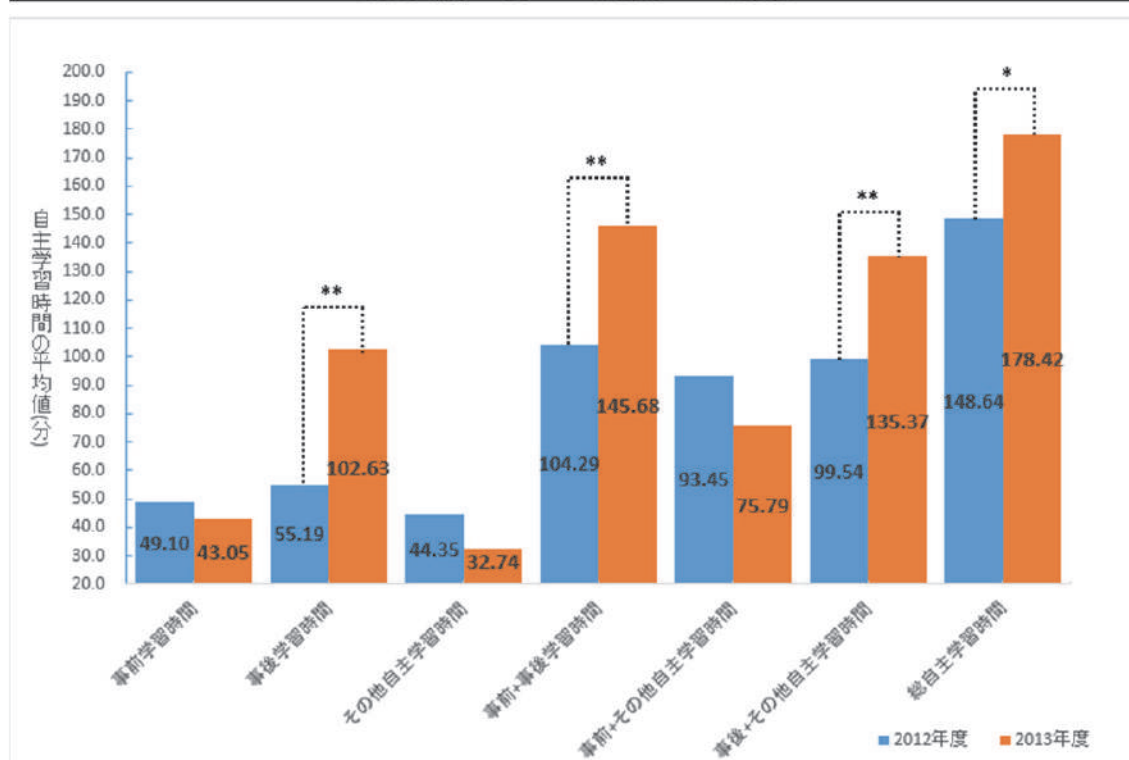


Figure 23 各種学習時間平均値の年度別比較(学部 C)

学部 D については、「事前学習時間」平均学習時間(2012 年度:60.14 分, 2013 年度:50.24 分)が2012年度よりも2013年度が5%水準で9.9分短く,「事後学習時間」平均学習時間(2012 年度:47.41 分, 2013 年度:61.22 分)が2012 年度よりも2013 年度が1%水準で13.81 分長かった。残りの各学習時間に有意差は見られなかった(Table17, Figure24)。

Table 17 各種学習時間平均値の年度別比較(学部 D)

学部D	調査年度	度数	平均値(分)	標準偏差	t値	自由度	p
事前学習時間	2012年度	332	60.14	51.63	1.97	483.00	0.05 *
	2013年度	153	50.24	50.74			
事後学習時間	2012年度	332	47.41	45.30	-2.94	483.00	0.00 **
	2013年度	153	61.22	53.60			
その他自主学習時間	2012年度	332	32.88	49.50	0.06	483.00	0.96
	2013年度	153	32.61	45.57			
事前+事後学習時間	2012年度	332	107.55	81.65	-0.48	483.00	0.63
	2013年度	153	111.45	88.33			
事前+その他自主学習時間	2012年度	332	93.02	77.04	1.37	483.00	0.17
	2013年度	153	82.85	74.43			
事後+その他自主学習時間	2012年度	332	80.30	73.26	-1.87	483.00	0.06
	2013年度	153	93.83	76.46			
総自主学習時間	2012年度	332	140.43	103.92	-0.35	483.00	0.72
	2013年度	153	144.07	107.99			

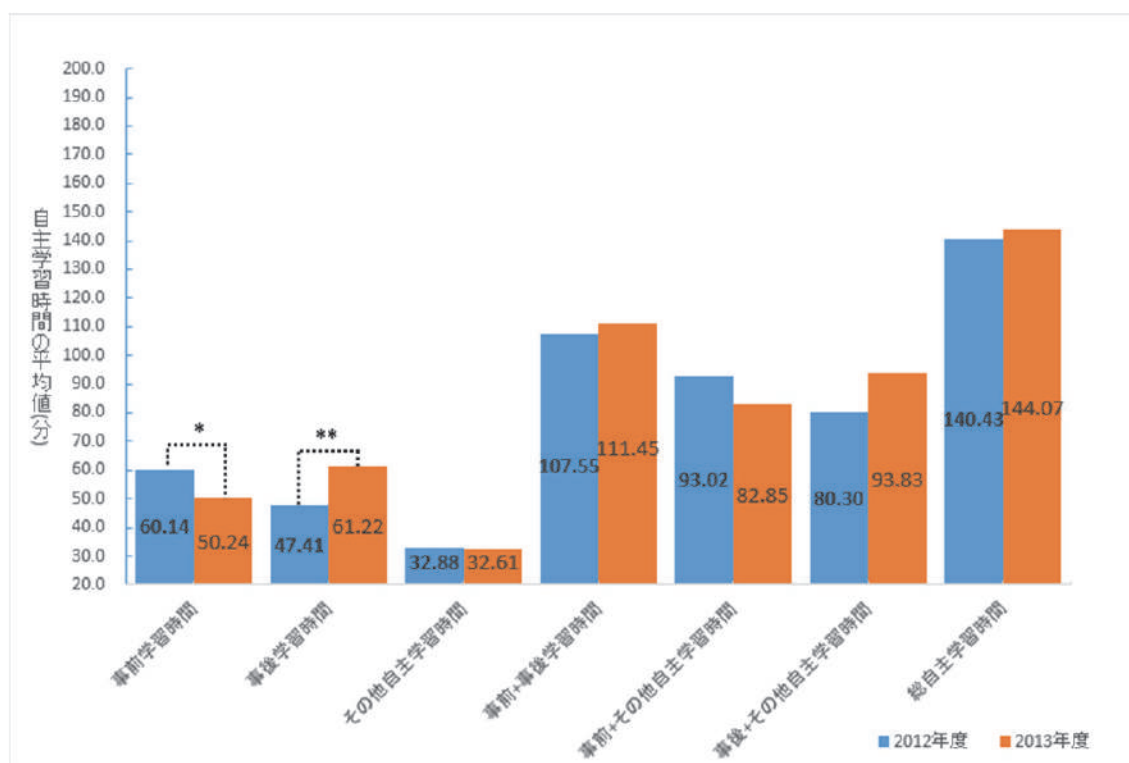


Figure 24 各種学習時間平均値の年度別比較(学部 D)

学部 E については、「事前学習時間」平均学習時間(2012 年度:50.84 分, 2013 年度:75.87

分)が2012年度よりも2013年度が1%水準で25.03分長く、「事後学習時間」平均学習時間(2012年度:46.08分,2013年度:81.51分)が2012年度よりも2013年度が1%水準で35.43分長く、「事前+事後学習時間」平均学習時間(2012年度:96.93分,2013年度:157.39分)が2012年度よりも2013年度が1%水準で60.46分長く、「事前+その他自主学習時間」平均学習時間(2012年度:83.61分,2013年度:110.32分)が2012年度よりも2013年度が5%水準で26.71分長く、「事後+その他自主学習時間」平均学習時間(2012年度:78.86分,2013年度:115.96分)が2012年度よりも2013年度が1%水準で37.1分長く、「総自主学習時間」平均学習時間(2012年度:129.70分,2013年度:191.83分)が2012年度よりも2013年度が1%水準で62.13分長かった。「その他自主学習時間」に有意差は見られなかった(Table18, Figure25)。

Table 18 各種学習時間平均値の年度別比較(学部 E)

学部E	調査年度	度数	平均値(分)	標準偏差	t値	自由度	p
事前学習時間	2012年度	166	50.84	44.23	-3.01	152.78	0.00 **
	2013年度	109	75.87	79.01			
事後学習時間	2012年度	166	46.08	43.07	-4.30	150.82	0.00 **
	2013年度	109	81.51	78.71			
その他自主学習時間	2012年度	166	32.77	44.53	-0.30	273.00	0.77
	2013年度	109	34.45	48.16			
事前+事後学習時間	2012年度	166	96.93	74.32	-4.67	161.75	0.00 **
	2013年度	109	157.39	120.87			
事前+その他自主学習時間	2012年度	166	83.61	70.84	-2.55	187.62	0.01 *
	2013年度	109	110.32	93.31			
事後+その他自主学習時間	2012年度	166	78.86	69.38	-3.61	187.30	0.00 **
	2013年度	109	115.96	91.59			
総自主学習時間	2012年度	166	129.70	97.78	-4.26	186.11	0.00 **
	2013年度	109	191.83	130.19			

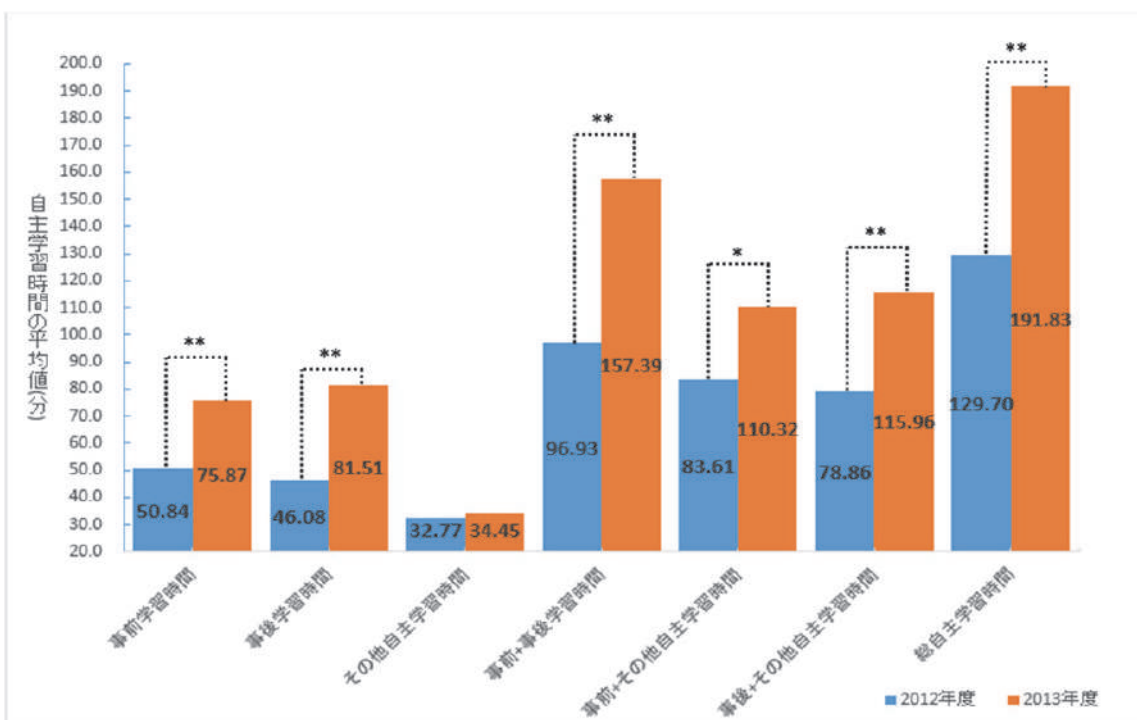


Figure 25 各種学習時間平均値の年度別比較(学部 E)

学部 F については、「事後学習時間」平均学習時間(2012 年度:55.41 分, 2013 年度:73.89 分)が 2012 年度よりも 2013 年度が 1%水準で 18.48 分長く、「事前+事後学習時間」平均学習時間(2012 年度:106.04 分, 2013 年度:124.15 分)が 2012 年度よりも 2013 年度が 5%水準で 18.11 分長かった。残りの各学習時間に有意差は見られなかった(Table19, Figure26)。

Table 19 各種学習時間平均値の年度別比較(学部 F)

学部F	調査年度	度数	平均値(分)	標準偏差	t値	自由度	p
事前学習時間	2012年度	250	50.63	44.29	0.09	522.00	0.93
	2013年度	274	50.26	50.62			
事後学習時間	2012年度	250	55.41	50.99	-3.47	497.95	0.00 **
	2013年度	274	73.89	70.08			
その他自主学習時間	2012年度	250	34.22	55.12	1.84	492.17	0.07
	2013年度	274	25.95	47.11			
事前+事後学習時間	2012年度	250	106.04	82.30	-2.35	522.00	0.02 *
	2013年度	274	124.15	93.39			
事前+その他自主学習時間	2012年度	250	84.85	78.02	1.33	522.00	0.19
	2013年度	274	76.21	71.08			
事後+その他自主学習時間	2012年度	250	89.63	79.80	-1.37	521.44	0.17
	2013年度	274	99.84	90.41			
総自主学習時間	2012年度	250	140.26	107.84	-1.03	522.00	0.30
	2013年度	274	150.09	110.70			

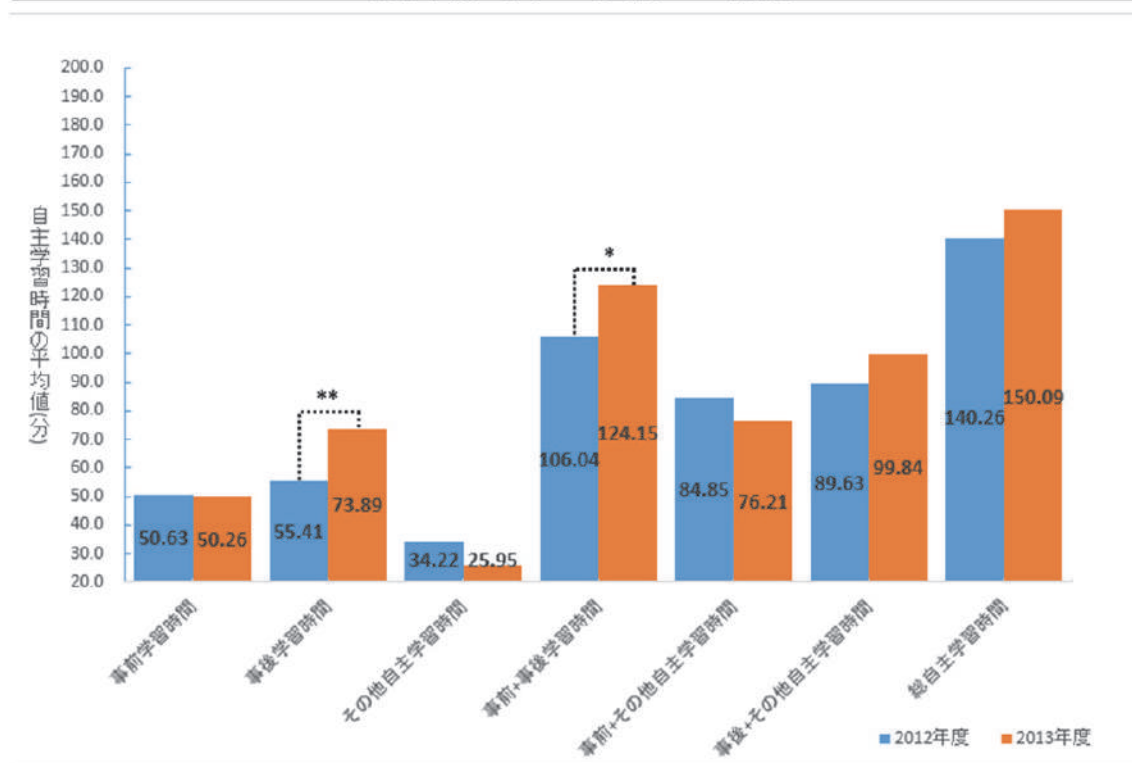


Figure 26 各種学習時間平均値の年度別比較(学部 F)

学部 G については、「事後学習時間」平均学習時間(2012 年度:35.91 分, 2013 年度:107.11

分)が2012年度よりも2013年度が1%水準で71.20分長く、「事前+事後学習時間」平均学習時間(2012年度:80.91分,2013年度:160.28分)が2012年度よりも2013年度が1%水準で9.37分長く、「事後+その他自主学習時間」平均学習時間(2012年度:77.46分,2013年度:144.02分)が2012年度よりも2013年度が1%水準で66.56分長く、「総自主学習時間」平均学習時間(2012年度:122.46分,2013年度:197.20分)が2012年度よりも2013年度が1%水準で74.74分長かった。残りの各学習時間に有意差は見られなかった(Table20, Figure27)。

Table 20 各種学習時間平均値の年度別比較(学部 G)

学部G	調査年度	度数	平均値(分)	標準偏差	t値	自由度	p
事前学習時間	2012年度	138	45.00	42.18	-1.35	259.00	0.18
	2013年度	123	53.17	55.56			
事後学習時間	2012年度	138	35.91	37.06	-8.41	160.82	0.00 **
	2013年度	123	107.11	87.12			
その他自主学習時間	2012年度	138	41.56	63.38	0.63	259.00	0.53
	2013年度	123	36.91	55.80			
事前+事後学習時間	2012年度	138	80.91	69.75	-6.65	196.47	0.00 **
	2013年度	123	160.28	114.87			
事前+その他自主学習時間	2012年度	138	86.56	78.70	-0.36	259.00	0.72
	2013年度	123	90.08	78.50			
事後+その他自主学習時間	2012年度	138	77.46	80.38	-6.11	241.49	0.00 **
	2013年度	123	144.02	94.00			
総自主学習時間	2012年度	138	122.46	101.74	-5.39	240.48	0.00 **
	2013年度	123	197.20	120.02			

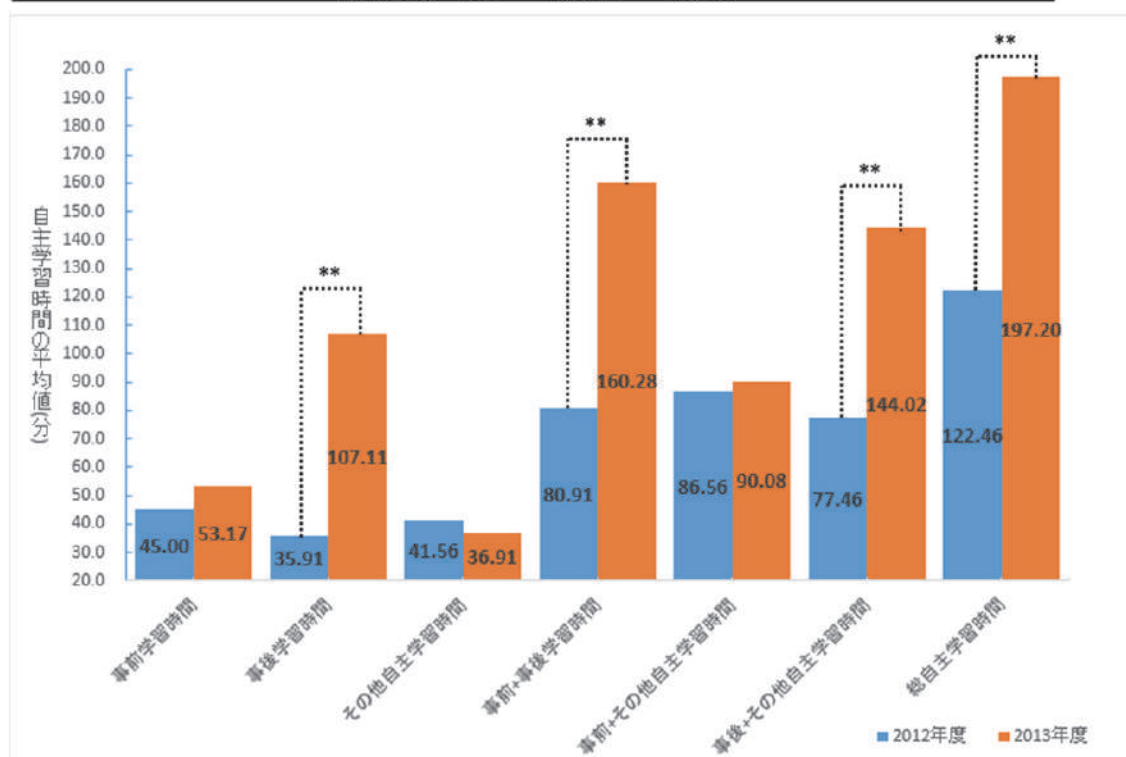


Figure 27 各種学習時間平均値の年度別比較(学部 G)

以上より、学部毎に年度間比較を行ってみても、1学部のみ事前学習時間の有意な減少が

見られたが、概ね学習時間は伸びており、特に「事後学習時間」は全ての学部において、2012年度よりも2013年度が有意に長くなっている事がわかった。これは、前述した2年次全体における年度間比較と同様の傾向を示していた。2年次の受講する科目が授業後に課題を課すようになってきた(または、課題遂行により時間の必要な課題内容となってきた)といった外的要因の存在も大きいだろうが、それらをこなしていく事を含め、学年進行による学生自身の学習への認識に望ましい変化が生じてきたことが予想された。

### (2)-3 2013年度調査の各学士教育プログラム間比較：授業時間外の平均学習時間

授業時間外の学習時間数(2013年度)それぞれについて、各学士教育プログラム間の平均値の比較(分散分析)を行った(table21, figure28~figure34)。なお、各学習時間について、度数が5未満となった学士教育プログラムは分析から除外した。

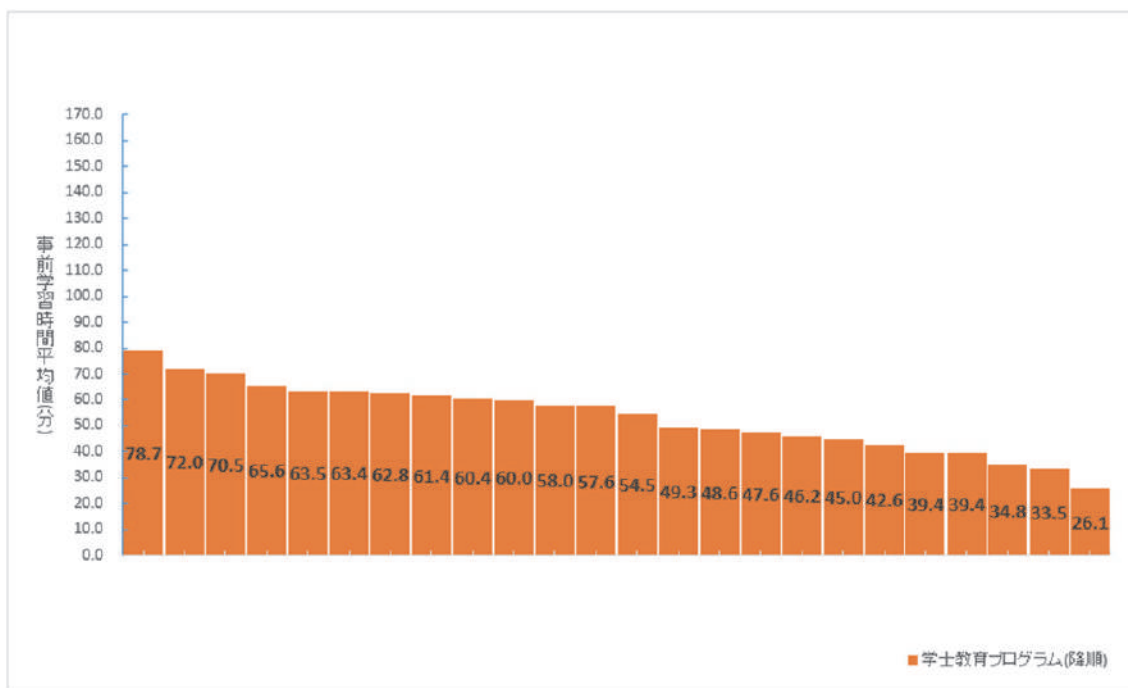
分散分析の結果はTable21の通りだが、要約すると以下の通りであった。各学習時間(平均値)全てにおいて、学士教育プログラム間に有意差が見られた(「その他自主学習時間」のみ5%水準で有意、残りの各学習時間はそれぞれ1%水準で有意)。具体的にどの学士教育プログラム間に有意差が見られたか(多重比較検定)については、今回報告では省略したが、学習時間においても、学士教育プログラム間に差が見られることが分かった。

ここで、ここまでの学習時間に関する分析結果を通して見てみたい。まず、学部毎や全体における学習時間数の年度比較を行うと、学年進行による学習時間数の増加(特に「事後学習時間」)が見られた。そして、学習時間数における学士教育プログラム間の比較を行うと、本分析で設定した全ての種類の学習時間において、学士教育プログラム間に有意な差が見られた。つまり、学年進行により学習時間は増加しているが、同学年(2年次)で見ると、学士教育プログラム間で学習時間に差が生じている結果となった。前者については学年進行を伴う学生の学習への望ましい認識の変化といえるが、後者についてはどうだろうか。URGCC 学習教育目標の分析では、学士教育プログラム間の差は問題ではなく、その学士教育プログラム毎の特徴であるといった旨を述べた。しかし、学習時間における差はそれと同質とは言えないだろう。例えば、学士教育プログラムによっては、「その他自主学習時間」を全く行っていないという結果も得られている(Figure30)。また、学年進行によって長くなっているという結果が出ていた「事後学習時間」について、最も時間数の長いプログラムは166.28分、最も短いプログラムは25.56分という結果も得られている(Figure29)。学習時間は長ければそれで良いとは一概に言い切れず、また最大値を示した学士教育プログラムの時間数に合わせなければならないというわけではないだろう(それこそ、学士教育プログラムの科目内容等による差も生じるだろう)。しかし、今回の「事後学習時間」を例にとれば、最小値25.56分というのは、仮に1日当たり3科目を受講していたとして、1科目当たり9分弱程度の時間数を割ける計算となる。学習の質は必ずしも学習時間数をかけた分、向上するわけではないと考えられるが、全く学習を行っていない、もしくはごくわずかな学習時間だけではその質は少なくとも高いとは言えないだろう。いかにしてこれ

ら時間数が少なすぎると考えられる者達の「底上げ」を行うかが重要ではないだろうか。

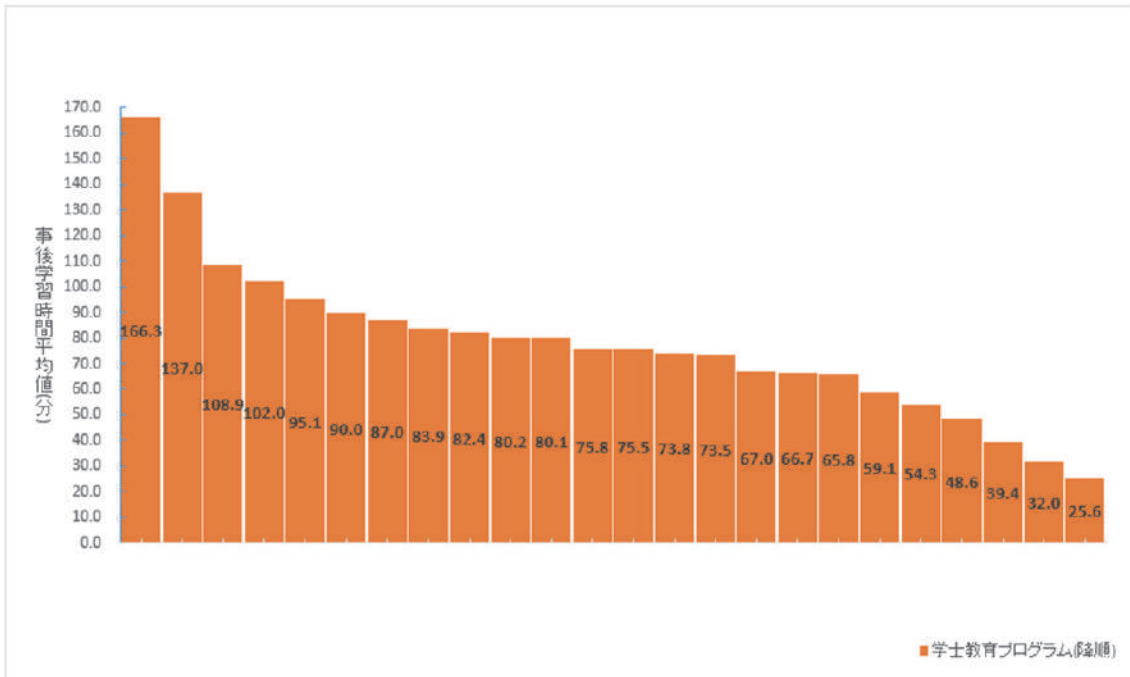
Table 21 各自主学習時間平均値の学士教育プログラム間比較(2013年度)

	度数	平均値(分)	標準偏差		自由度	F値	p	
事前学習時間	897	54.66	56.88	グループ間	23	1.97	0.00	**
				グループ内	873			
事後学習時間	897	81.31	73.65	グループ間	23	7.18	0.00	**
				グループ内	873			
その他自主学習時間	897	32.89	51.74	グループ間	23	1.76	0.02	*
				グループ内	873			
事前+事後学習時間	897	135.96	102.82	グループ間	23	5.56	0.00	**
				グループ内	873			
事前+事後学習時間	897	87.55	79.79	グループ間	23	2.31	0.00	**
				グループ内	873			
事後+その他学習時間	897	114.20	92.69	グループ間	23	5.06	0.00	**
				グループ内	873			
総自主学習時間	897	168.86	119.13	グループ間	23	4.78	0.00	**
				グループ内	873			



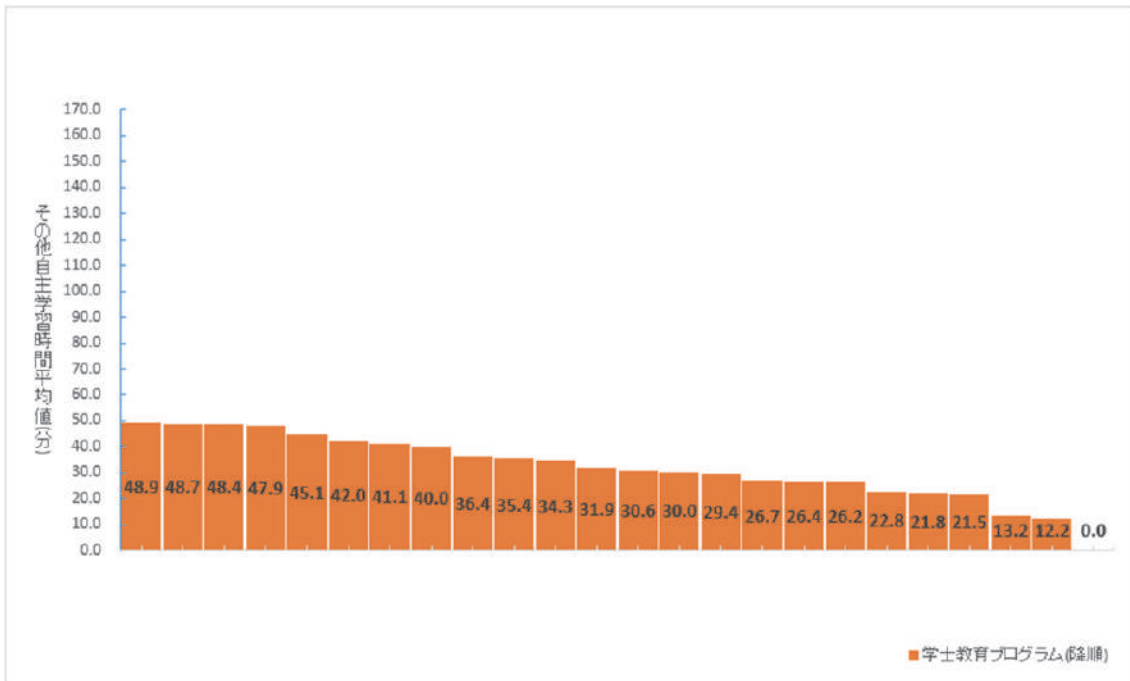
1%水準で有意

Figure 28 「事前学習時間」平均値の各学士教育プログラム間比較(2013年度)



1%水準で有意

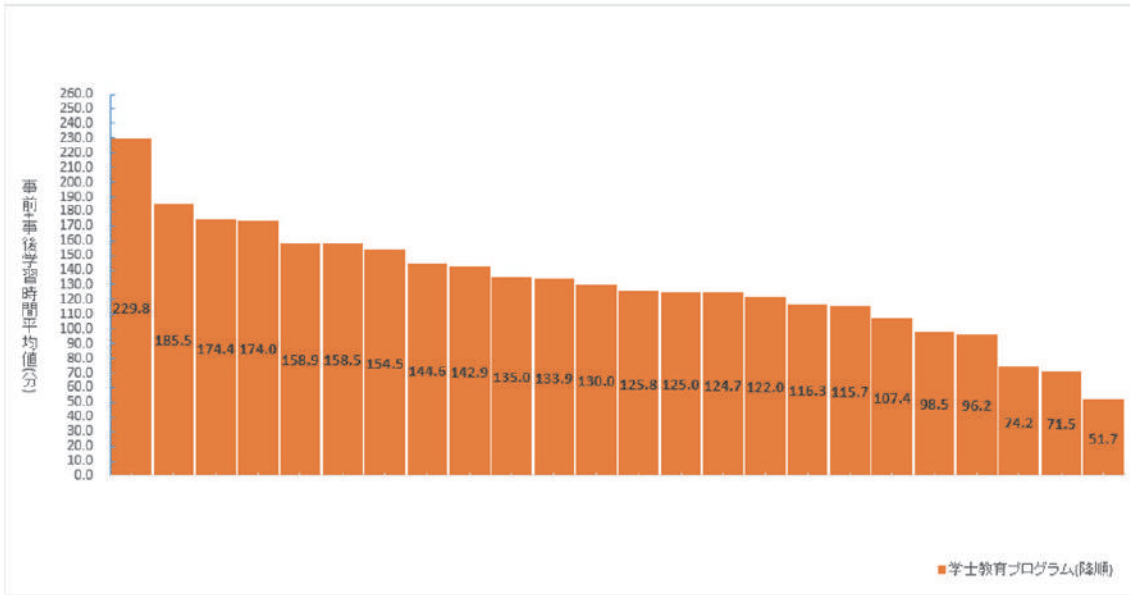
Figure 29 「事後学習時間」 平均値の各学士教育プログラム間比較(2013 年度)



5%水準で有意

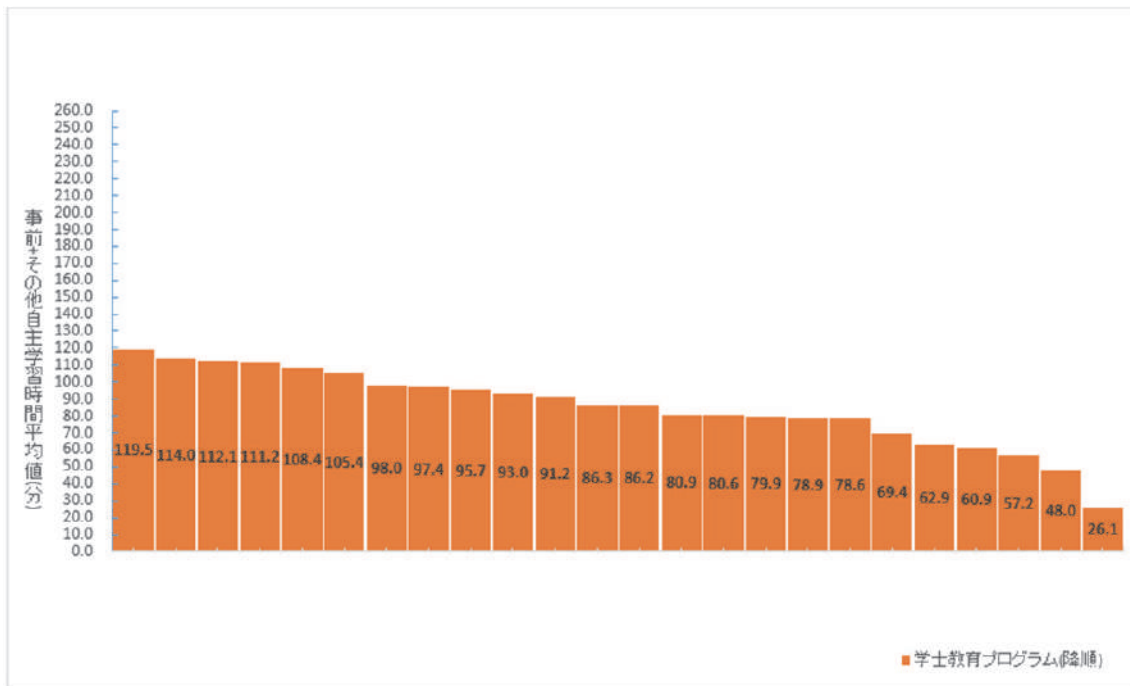
Figure 30 「その他自主学習時間」 平均値の各学士教育プログラム間比較(2013 年度)





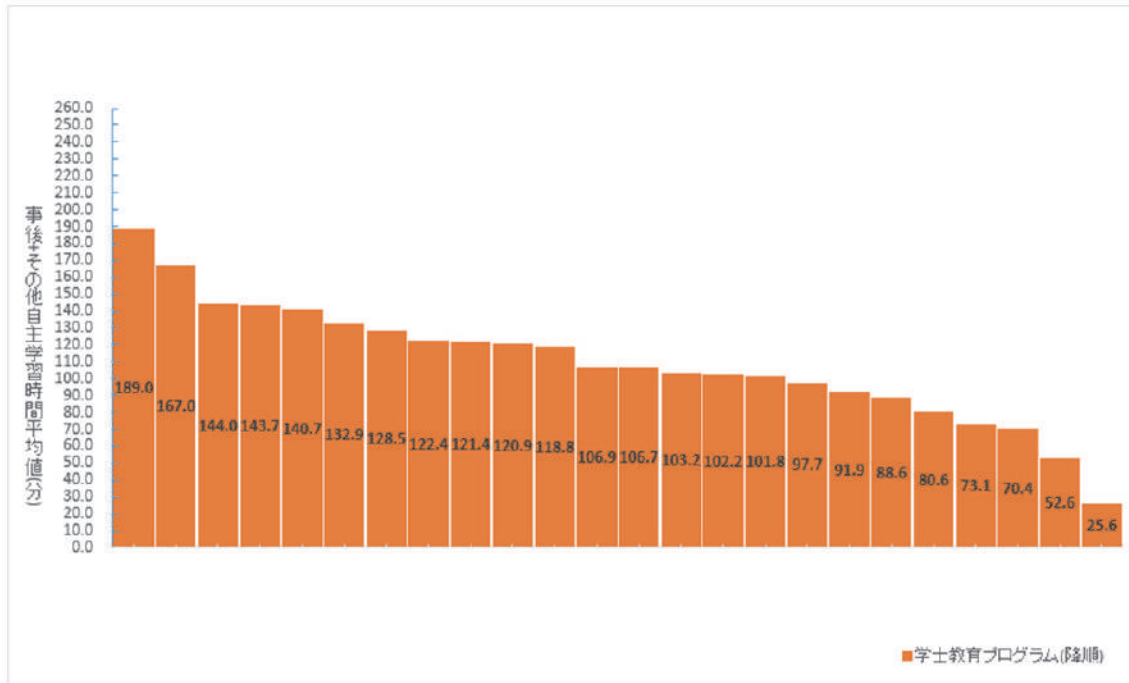
1%水準で有意

Figure 31 「事前+事後学習時間」平均値の各学士教育プログラム間比較(2013年度)



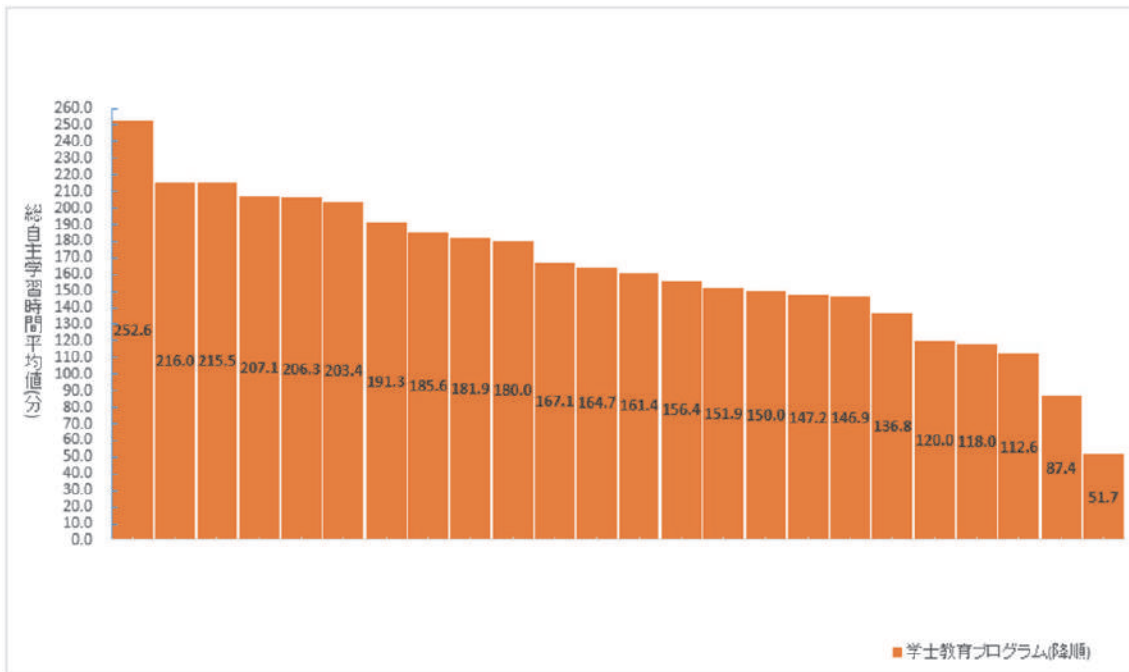
1%水準で有意

Figure 32 「事前+その他自主学習時間」平均値の各学士教育プログラム間比較(2013年度)



1%水準で有意

Figure 33 「事後+その他自主学習時間」平均値の各学士教育プログラム間比較(2013年度)



1%水準で有意

Figure 34 「総自主学習時間」平均値の各学士教育プログラム間比較(2013年度)

#### 4. 結果の要約と本稿のまとめ

##### (1)回答率

本調査において、回答率は学部間の差も大きく、また全体の回答率を見ても、2012年度調査よりも低くなっていた。更に今回、各分析において学士教育プログラム間の比較も行ったが、学士教育プログラムによっては、度数(有効回答者数)が5未満となり分析から除外されたプログラムも存在し、また度数5以上ではあっても一桁台である学士教育プログラムもあった等といった現状である。回答率が過度に低ければ、それだけ個の影響を受けやすく、より正確な全体の傾向の把握は困難になるだろう。また、学部毎に回答率にばらつきが生じれば、回答率の高い学部の影響を強く受け、これもまた正確な全体の理解が困難になるだろう。学部や学士教育プログラム毎に回答率が偏ることなく、かつ高くなるための調査方法の改善が、今後の調査実施の上での課題の一つであろう。

##### (2)URGCC 学習教育目標得点率

###### (2)-1 年度比較：URGCC 学習教育目標得点率

2013年度は2012年度と同様の得点率の傾向(「自律性」「社会性」が最も高く、それらに次いで「地域・国際性」,「情報リテラシー」,「問題解決力」がそれぞれほぼ同水準に位置し、それらに次いで「専門性」が位置し、最も低かったのが「コミュニケーション・スキル」)を示しつつも、「自律性」,「社会性」,「地域・国際性」,及び「専門性」において数ポイントとはいえ年度の進行により得点率は有意に減少しており、「コミュニケーション・スキル」,「情報リテラシー」,及び「問題解決力」については変化が見られなかった。年度間比較を概観すると、2012年度と2013年度は同様の得点率の傾向を示しつつ、2013年度において若干の減少や停滞をしている結果となった。

この結果はURGCC導入前調査においても多くの学習教育目標において、2年次時点で得点率が停滞(伸び悩み)するという報告がなされている。加えて、導入前調査報告では3年次以降から上昇傾向にあるとも報告されている。これらの事から、現時点での停滞状態はいわば「自然な傾向」と考えられ、また同様に3年次以降上昇方向に推移すると予想される。つまり、現時点での結果を問題視するよりも、今後上昇方向に推移すると予想されるこれらを、学習教育目標の教員・学生双方の理解・共有を深め、それらに基づいた教育・学習活動を行っていくこと等を通し、より高めていく事が重要だろう。

###### (2)-2 2013年度学士教育プログラム間比較：URGCC 学習教育目標得点率

「情報リテラシー」のみ、学士教育プログラム間に有意差は見られなかったが、残り6つの学習教育目標については、いずれも学士教育プログラム間に有意差が見られた。この様に学士教育プログラム間に差は見られたが、この結果はどう判断できるだろうか。各学士教育プログラムは各々の達成目標に基づいてカリキュラムを組んでいる。また、学士教育プログラム毎に、重きを置くURGCC学習教育目標に差異があるのも当然だろう。つま

り、URGCC 学習教育目標得点率における学士教育プログラム間の差とは、その差に良し悪しがあるのではなく、言い換えれば学士教育プログラム毎の特徴が表れているともいえるよう。

### **(3)学習時間**

#### **(3)-1 年度比較：学習時間**

学部毎や全体における学習時間数の年度比較を行うと、「事後学習時間」を中心に学習時間の増加が見られた。これは URGCC 導入前調査でも同様の報告がなされており、それ故増加の大きな要因は学年進行によるものであると考えられた。

#### **(3)-2 2013 年度学士教育プログラム間比較：学習時間**

学習時間数における学士教育プログラム間の比較を行うと、本分析で設定した全ての種類の学習時間において、学士教育プログラム間に有意な差が見られた。

#### **(3)-3 年度比較と学士教育プログラム間比較を総合して：学習時間**

学年進行により学習時間は増加しているが、同学年(2年次)で見ると、学士教育プログラム間で学習時間に差が生じている結果となった。学年進行により学習時間が増加している事は望ましい事ではあるが、学士教育プログラム間に差が見られた事、とりわけ学習時間がかなり少ない学士教育プログラムが見られた事に注目したい。例えば、学士教育プログラムによっては、「その他自主学習時間」を全く行っていないという結果も得られている(Figure30)。また、学年進行によって長くなっているという結果が出ていた「事後学習時間」について、最も時間数の長いプログラムは 166.28 分、最も短いプログラムは 25.56 分という結果も得られている(Figure29)。これを例にとれば、最小値 25.56 分というのは、仮に 1 日当たり 3 科目を受講していたとして、1 科目当たり 9 分弱程度のみの時間数をその事後学習に割いている計算となる。また、詳細は付録資料 2 をご参照頂きたいが、本調査において、1 日あたりの平均学習時間が 30 分以下に該当した回答は、有効回答全体の 45.9%、そこから 0 分、つまり自主学習を全く行っていない者を抽出すると有効回答全体の 22.5%が該当した。年度比較において学年進行による顕著な増加が見られた「事後学習時間」についても、1 日あたりの平均学習時間が 30 分以下に該当した回答は、有効回答全体の 30.3%、そこから 0 分の回答を抽出すると有効回答全体の 12.8%が該当した。全体的にみると、学習時間は確かに増加しているが、これら自主学習を行っていない(ほとんど行っていない)者が少なからず存在している。導入前調査でも、学習時間数を一定以上確保している者もいれば、全く行っていない者もいる可能性を示唆する報告がなされていた。これは本学における重要な課題の一つといえるだろう。

学習時間は長ければそれで良いとは一概に言い切れず、また最大値を示した学士教育プログラムの時間数に合わせなければならぬというわけではないだろう(それこそ、学士教

育プログラムの科目内容等による差も生じるだろう)。そして学習の質は必ずしも学習時間数をかけた分、向上すると単純には言えないが、全く学習を行っていない、もしくはごくわずかな学習時間だけではその質は少なくとも高いとは言えないだろう。全体的にみると、学習時間は確かに学年進行に伴って増加しているが、これら「やっていない」人たちの学習行動を起こさせ、いかにして底上げを図るかが重要ではないだろうか。

## おわりに

確かに、学習への動機づけは、個々の学生次第に依る所が大きいかもしれないが、例えば科目ごとの明確な学習目標の提示(どんな知識・技能を身につけられる科目なのかが分かる)、明確な学習内容の提示(何をどう学習すればそれら知識・技能を身につけられるかが分かる)、明確な評価基準の提示(自身の到達度を分かりやすい基準で評価されると分かる)、等、教育者側がある程度「学習の道筋」を示す事も、学生の学習意欲の向上の一助となるのではないだろうか。現在、URGCC 導入以降、学士教育プログラム毎の多大なるご協力を受けて、課題は少なくないが、少しずつこれらが整備されつつある。

また、学生側に「なぜこの学習時間数なのか」という事や「どの様な学習内容を行っているか」などを尋ね、それら学習行動の「質」の現状を探っていくことも重要ではないだろうか。その中から例えば「どの様に学習したら良いかわからないから学習時間が短い」といった回答が多く得られたとすれば、教育者側はそこを明確に示していけば学習時間・質共に向上していくだろう。

これらの事は既知の事かもしれないが、教育者側の「学習者へのニーズ」、学習者側の「学習へのニーズ」それぞれを鑑みた取り組みが重要であろうことを再認識させられた。本学のより良い教育の実現、そして何より教育を受ける学習者のために、継続した取組・調査を行っていききたい。

## 琉球大学の教育改善のための学生調査 2013

この調査は、学生の皆さんが琉球大学で普段どのように過ごしているのか、また、皆さんの周囲の環境はどのようなものであるのか等について調査し、その回答結果を今後の本学の教育改善に役立てていくために行う大切なものです。回答は選択肢に○をつけるものと、語句または数値を記入するものがあります。質問文にしたがって、ありのままのことをお答えください。回答できない箇所は空白にしてください。構いません。

なお、ご回答いただいた内容は、個人が特定される形で公表されることはありませんので、安心してお答えください。

本調査票は、全部で23ページありますが、後半は各学科・専攻等別の設問になっていますので、実際に回答していただくのは10ページ程度の分量となります。回答時間の目安は15～20分程度です。それではご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

対 象：2年次の学生

締 切：平成25年8月9日（金）

提 出 先：大学教育センター URGCC 推進支援室

2013年7月

大学教育センター長 浜崎盛康

<問い合わせ先>

URGCC 推進支援室（山田、古堅）

TEL：098-895-8742

E-mail：dgurgcc@to.jim.u-ryukyu.ac.jp

問1 あなた自身に関することについてお聞きします。Aの学籍番号については、今後、本学学生の現況について追跡的に把握を行っていく上で重要な情報となりますので、できる限りご記入願います（個人が特定できる形で公表することはありません）。また、B、D、Fについてはあてはまる番号に○をつけ、C、Eについては数字を記入してください。

- A. 学籍番号 → 

--	--	--	--	--	--	--
- B. 性別 1. 男性 2. 女性
- C. 生まれた年・月 西暦（ ）年（ ）月
- D. コース 1. 昼間主コース 2. 夜間主コース
- E. きょうだい数 兄（ ）人 弟（ ）人 姉（ ）人 妹（ ）人  
(いない場合は0と記入)
- F. 現在の住まい 1. 実家 2. 寮 3. アパート・マンションで一人暮らし  
4. きょうだいや知人とルームシェア 5. 親戚の家  
6. その他（ ）

問2 あなたはどのような形態で琉球大学に入学しましたか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 一般入試の前期試験（追加合格含む） 2. 一般入試の後期試験（追加合格含む） 3. AO入試  
4. 推薦入試Ⅰ（センター試験を課さない） 5. 推薦入試Ⅱ（センター試験を課す）  
6. 二年次・三年次特別編入 7. 21世紀GP 8. 二次募集 9. 社会人特別入試  
10. 帰国子女特別入試 11. 学士入学 12. 私費外国人留学生入試 13. 国費留学生として  
14. その他（ ）

問3 あなたが所属する学科・課程について、あてはまる番号1つに○をつけてください。

（法文学部の学科）

1. 総合社会システム学科 2. 人間科学科 3. 国際言語文化学科

（観光産業科学部の学科）

4. 観光科学科 5. 産業経営学科

（教育学部の課程）

6. 学校教員養成課程 7. 生涯教育課程

（理学部の学科）

8. 数理科学科 9. 物質地球科学科 10. 海洋自然科学科

（医学部の学科）

11. 医学科 12. 保健学科

（工学部の学科）

13. 機械システム工学科 14. 環境建設工学科 15. 電気電子工学科 16. 情報工学科

（農学部の学科）

17. 亜熱帯地域農学科 18. 亜熱帯農林環境科学科 19. 地域農業工学科  
20. 亜熱帯生物資源科学科

問4 あなたが所属する専攻課程・専修・コース・系について、あてはまる番号1つに○をつけてください。  
該当するものがない方は、「35」に○をつけてください。

(法文学部の専攻課程)

1. 法学専攻課程    2. 経済学専攻課程    3. 政治・国際関係専攻課程    4. 人間行動専攻課程  
5. 社会学専攻課程    6. 地理歴史人類学専攻課程    7. 琉球アジア文化専攻課程  
8. 英語文化専攻課程    9. ヨーロッパ文化専攻課程

(教育学部の専修)

10. 教育実践学専修    11. 国語教育専修    12. 社会科教育専修    13. 数学教育専修  
14. 理科教育専修    15. 音楽教育専修    16. 美術教育専修    17. 保健体育専修  
18. 技術教育専修    19. 生活科学教育専修    20. 英語教育専修    21. 特別支援教育専修  
22. 子ども地域教育コース    23. 沖縄島嶼教育コース    24. 自然環境科学教育コース  
25. 生涯健康教育コース    26. 心理臨床科学コース

(理学部 物質地球科学科・海洋自然科学科の系)

27. 物理系    28. 地学系    29. 化学系    30. 生物系

(医学部 保健学科のコース)

31. 看護学コース    32. 検査技術学コース

(工学部 環境建設工学科のコース)

33. 土木コース    34. 建築コース

(該当するものがない方)

35. 該当なし

問5 あなたは琉球大学に現役で入学しましたか。それとも浪人期間を経て入学しましたか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 現役（浪人期間を経ずに入学）    2. 一浪    3. 二浪以上

問6 あなたは琉球大学への入学をどの程度望んでいましたか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. ぜひこの大学に入学したかった    2. もっと入学したい大学が他にあった  
3. 特にどこの大学に入学したいということはなかった

問7 あなたが中学3年生、高校3年生のとき、成績は校内でどれくらいでしたか。A、Bそれぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけてください。

- |               | 下のほう | 中くらい | 上のほう |   |   |
|---------------|------|------|------|---|---|
| A. 中学3年生の時の成績 | 1    | 2    | 3    | 4 | 5 |
| B. 高校3年生の時の成績 | 1    | 2    | 3    | 4 | 5 |



問8 あなたは、大学入学時にセンター試験を受験しましたか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 受験した                      2. 受験していない

問8-1 問6で「1. 受験した」と回答した方にお尋ねします。あなたのセンター試験の得点は、何%の得点率でしたか。( ) 内に数値を記入してください。

(                      ) %                      ※ 例：800点満点中、500点であった場合 → ( 62.5 ) %

問9 あなたがこれまでに大学で履修した科目の単位のうち、A(秀)、B(優)、C(良)、D(可)、F(不可・未受験)は現在それぞれ何%くらいありますか。全体で100%になるように( ) 内に数値を記入してください。(回答は、おおよその数値でかまいません)

A:(                      ) %    B:(                      ) %    C:(                      ) %    D:(                      ) %    F:(                      ) %

問10 あなたは今年度の前期、共通教育等科目、専門教育科目をそれぞれ合計で何単位登録していますか。( ) 内に数値を記入してください。

**今年度前期** の履修登録単位数

共通教育等科目： (                      ) 単位                      ※ 例：( 12 ) 単位

(↑専門基礎科目を含む)

専門教育科目： (                      ) 単位                      ※ 例：( 6 ) 単位

問11 あなたは次の本学の教育について、どれほど満足していますか。A～Mについて、あてはまる番号1つに○をつけてください。受けたことがない方は、「5」に○をつけてください。

	とても満足 している	まあ満足 している	あまり満足 していない	まったく満足 していない	受けたこと がない
A. 共通教育の人文系科目	1	2	3	4	5
B. 共通教育の社会系科目	1	2	3	4	5
C. 共通教育の自然系科目	1	2	3	4	5
D. 共通教育の健康運動系科目	1	2	3	4	5
E. 共通教育の総合科目	1	2	3	4	5
F. 共通教育の琉大特色科目	1	2	3	4	5
G. 共通教育の情報関係科目	1	2	3	4	5
H. 共通教育の外国語科目	1	2	3	4	5
I. 共通教育の先修科目 及び転換科目(専門基礎)	1	2	3	4	5
J. 共通教育の高年次科目	1	2	3	4	5
K. 共通教育の日本語・日本事情	1	2	3	4	5
L. 共通教育全体	1	2	3	4	5
M. 学部専門教育全体	1	2	3	4	5

問12 あなたは現在、次のことをどれくらい重視していますか。A～Eそれぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけてください。

	とても重視している	まあ重視している	あまり重視していない	まったく重視していない
A. 大学での授業	1	2	3	4
B. 授業以外での自主的な学習	1	2	3	4
C. アルバイト	1	2	3	4
D. 部・サークル活動	1	2	3	4
E. 友人との交流	1	2	3	4

問13 あなたは、最近の2週間について、1日のうち平均してどのくらいの時間を、授業の事前学習（次の授業の準備として行う予習・課題学習等）に費やしましたか。（ ）内に数値を記入してください。

1日あたりの平均学習時間：（ ）時間（ ）分  
(授業の事前学習)

問14 あなたは、最近の2週間について、1日のうち平均してどのくらいの時間を、授業の事後学習（各回の授業の振り返りとして行う復習・課題学習等）に費やしましたか。（ ）内に数値を記入してください。

1日あたりの平均学習時間：（ ）時間（ ）分  
(授業の事後学習)

問15 あなたは、最近の2週間について、1日のうち平均してどのくらいの時間を、単に直接関係しない自主的な学習に費やしましたか。（ ）内に数値を記入してください。

1日あたりの平均学習時間：（ ）時間（ ）分  
(単に直接関係しない自主的な学習)

問16 あなたの最近の2週間の平均睡眠時間はどのくらいですか。（ ）内に数値を記入してください。

1日あたりの平均睡眠時間：（ ）時間（ ）分

問17 あなたには、親しい友だちがどれくらいいますか。A～Gそれぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけてください。

◆大学内で	いない	1～5人	6～10人	11人～20人	21～30人	31人～	入っていない
A. 同じ学部・学科に	1	2	3	4	5	6	7
B. 同じ部・サークルに	1	2	3	4	5	6	7
C. それ以外に大学内に	1	2	3	4	5	6	7
◆大学外で							
D. 大学入学以前から	1	2	3	4	5	6	7
E. アルバイト先に	1	2	3	4	5	6	7
F. インターネットや 携帯のサイト上に	1	2	3	4	5	6	7
G. それ以外で大学外に	1	2	3	4	5	6	7

問18 あなたには、次のことがどれくらいあてはまりますか。A～eそれぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけてください。

	とても あてはまる	まあ あてはまる	あまり あてはまらない	まったく あてはまらない
A. 大学で学ぶ意義を理解することができる ……………	1	2	3	4
B. 社会の規範やルールの意味を理解し、 自己の良心に従って行動できる ……………	1	2	3	4
C. 自分が生活している地域社会の問題を 理解することができる ……………	1	2	3	4
D. 高度な日本語力を持ち、活用することができる ……………	1	2	3	4
E. 情報通信技術を活用することができる ……………	1	2	3	4
F. 様々な視座から物事を批判的に 考察することができる ……………	1	2	3	4
G. 専攻する学問分野における思考法を体系的に 身につけており、それらを活用することができる ……………	1	2	3	4
H. 目標達成のために、自律的に 努力することができる ……………	1	2	3	4
I. 他者の意見を傾聴することができる ……………	1	2	3	4
J. 沖縄の自然・歴史・社会等と世界の状況を 結びつけて理解することができる ……………	1	2	3	4
K. 特定の外国語を用いて、読み、書き、 聞き、話すことができる ……………	1	2	3	4
L. それぞれの分野において、信頼できる 情報源を判断することができる ……………	1	2	3	4
M. 問題を見だし、創造的に解決策を 考えることができる ……………	1	2	3	4
N. 専攻する学問分野におけるスキルを体系的に 身につけており、それらを活用することができる ……………	1	2	3	4
O. 生涯を通して学び続けようという 姿勢を持つことができる ……………	1	2	3	4
P. 他者と協調・協働して行動することができる ……………	1	2	3	4
Q. 異文化を理解し、寛容な姿勢を持つことができる ……………	1	2	3	4
R. 語彙、論理ともに適切な文章で 論文を作成することができる ……………	1	2	3	4
S. 多様な情報を収集・分析して 適正に判断することができる ……………	1	2	3	4
T. 情報や知識を論理的に分析することができる ……………	1	2	3	4
U. 専攻する学問分野における知識を体系的に 身につけており、それらを活用することができる ……………	1	2	3	4
V. 心身の健康を自律的に維持するように 努めることができる ……………	1	2	3	4
W. リーダーシップを有し、目標の実現のために 行動することができる ……………	1	2	3	4
X. 自然環境を理解し、自然と共生するための 知識を身につけることができる ……………	1	2	3	4
Y. 自然や社会的事象について、シンボルを活用して 分析・理解し、表現することができる ……………	1	2	3	4
Z. 収集した情報をモラルに則って 活用することができる ……………	1	2	3	4
a. 獲得した知識や経験等を活用し、課題について 総合的に判断することができる ……………	1	2	3	4

	とても あてはまる	まあ あてはまる	あまり あてはまらない	まったく あてはまらない
b. 社会の一員としての自覚を持つことができる	1	2	3	4
c. 地域・国際社会の発展に積極的に 関与することができる	1	2	3	4
d. 様々な立場を理解し、論理的に意見を 交わすことができる	1	2	3	4
e. 幅広い学問分野について関心を持ち、その分野から 得られる知見を活用することができる	1	2	3	4

問19 あなたが琉球大学で実際に受けてきた授業の中で、次のような授業をどれくらい受けましたか。A～Uそれぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけてください。

	たくさん 受けた	まあ 受けた	あまり受けた ことがない	まったく受けた ことがない
A. 毎回出席をとる授業	1	2	3	4
B. 少人数での議論・討論を行う授業	1	2	3	4
C. 他人と協力して課題や作業を進める授業	1	2	3	4
D. 大学での基礎的な学習技法(レポートの書き方など)を 教えてくれる授業	1	2	3	4
E. 仕事に役立つ知識・技術を学ぶ授業	1	2	3	4
F. 進路や目標に対する自分の適性を診断する授業	1	2	3	4
G. 外国語で教員が話す授業	1	2	3	4
H. 外国語の文献を用いた授業	1	2	3	4
I. 社会に対して新しい視点を教えてくれる授業	1	2	3	4
J. 日本や沖縄の政治・文化・経済・自然に ついて学ぶ授業	1	2	3	4
K. 海外の国や地域の政治・文化・経済・自然に ついて学ぶ授業	1	2	3	4
L. 学生の発言を中心にして進める授業	1	2	3	4
M. 大学の外に出ることを求める授業	1	2	3	4
N. 学生が考える時間を多くとる授業	1	2	3	4
O. 教員が終始話し続ける授業	1	2	3	4
P. 人前でのプレゼンテーションを重視した授業	1	2	3	4
Q. コメントペーパーの提出を複数回求める授業	1	2	3	4
R. 実験・実習・演習の授業	1	2	3	4
S. インターネット上のコミュニケーション(web class 等) を利用した授業	1	2	3	4
T. 何らかの課題解決を目指し、グループ単位で 議論を行いながら取り組む授業	1	2	3	4
U. 自分が学んできた内容をワークシートなどの成果物を 用いて振り返りながら進める授業	1	2	3	4

問20 あなたは学習サポートルーム、オフィスアワー（各教員が相談や指導のために設けている時間）をどの程度利用していますか。A、Bそれぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけてください。

	よく 利用する	まあ 利用する	あまり利用 したことがない	まったく利用 したことがない
A. 学習サポートルーム	1	2	3	4
B. オフィスアワー	1	2	3	4

問2 1 あなたは、共通教育や専門教育についてどのように感じていますか。A～Oそれぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけてください。

	とても あてはまる	まあ あてはまる	あまり あてはまらない	まったく あてはまらない
A. 共通教育の授業内容を理解できている	1	2	3	4
B. 共通教育の授業内容を学ぶ必要はないと感じる	1	2	3	4
C. 共通教育の授業内容と将来就きたい職業との間に つながりを感じる	1	2	3	4
D. 共通教育の授業内容について、 なぜそれを学ぶのか分からない	1	2	3	4
E. 共通教育の授業内容と社会生活との間に つながりを感じる	1	2	3	4
F. 専門教育の授業内容を理解できている	1	2	3	4
G. 専門教育の授業内容を学ぶ必要はないと感じる	1	2	3	4
H. 専門教育の授業内容と将来就きたい職業との間に つながりを感じる	1	2	3	4
I. 専門教育の授業内容について、 なぜそれを学ぶのか分からない	1	2	3	4
J. 専門教育の授業内容と社会生活との間に つながりを感じる	1	2	3	4
K. 共通教育で学ぶ内容は、 専門教育を学ぶ上で必要である	1	2	3	4
L. 共通教育と専門教育で学ぶ内容の間に、 つながりを感じる	1	2	3	4
M. もっと早い時期から専門教育の科目を受けたい	1	2	3	4
N. もっと多くの専門教育の科目を受けたい	1	2	3	4
O. もっと多くの共通教育の科目を受けたい	1	2	3	4

問2 2 あなたには、次のことがどれくらいあてはまりますか。A～Oそれぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけてください。

	とても あてはまる	まあ あてはまる	あまり あてはまらない	まったく あてはまらない
A. 琉球大学での学生生活に満足している	1	2	3	4
B. 琉球大学に入学してよかったと感じている	1	2	3	4
C. 大学に入って自分は成長していると感じる	1	2	3	4
D. 授業で出された課題はしっかりとこなしている	1	2	3	4
E. 授業のスピードについていけないことがある	1	2	3	4
F. 授業の内容を理解できないことがある	1	2	3	4
G. 大学での学習の進め方がわからない	1	2	3	4
H. 考えたことを文章としてうまく表現できる	1	2	3	4
I. 学内の掲示物をよく確認する	1	2	3	4
J. 単位制度について理解できていない	1	2	3	4
K. どの科目を履修する必要があるか理解できていない	1	2	3	4
L. 科目の登録方法が理解できていない	1	2	3	4
M. 授業で指定された教科書は購入して準備する	1	2	3	4
N. シラバスで講義内容を事前に確認してから、 科目の登録をするようにしている	1	2	3	4
O. 教員からの個別指導をよく受けている	1	2	3	4

問23 あなたには、次のことがどれくらいあてはまりますか。A～Pそれぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけてください。

	とても あてはまる	まあ あてはまる	あまり あてはまらない	まったく あてはまらない
A. 特に理由もなく講義を欠席することがある……………	1	2	3	4
B. 大学に行きたくないときがある……………	1	2	3	4
C. 大学で孤独感を感じる……………	1	2	3	4
D. 自分の将来が不安である……………	1	2	3	4
E. 自分は内気である……………	1	2	3	4
F. 大学を辞めたいと考えたことがある……………	1	2	3	4
G. 大学には行かなくてもよいと思うことがある……………	1	2	3	4
H. 自分の容姿（顔つきや体つき）が気になる……………	1	2	3	4
I. 毎朝、朝食を食べている……………	1	2	3	4
J. いつも大体決まった時間に起床する……………	1	2	3	4
K. いつも大体決まった時間に就寝する……………	1	2	3	4
L. よく本（マンガ・雑誌を除く）を読む……………	1	2	3	4
M. よく新聞を読む……………	1	2	3	4
N. 大学生のうちに海外へ旅行したい……………	1	2	3	4
O. 高校生の時、勉強する意味が分からなかった……………	1	2	3	4
P. 高校生の時、勉強は大学受験のためにやっていた……………	1	2	3	4

問24 あなたは、ボランティア活動にどれくらい参加していますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- 1. よく参加している
- 2. まあ参加している
- 3. あまり参加していない
- 4. まったく参加していない

問25 あなたは現在、おおよそのくらいの頻度でアルバイトをしますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- 1. 毎日している
- 2. 週に5日～6日程度している
- 3. 週に3日～4日程度している
- 4. 週に1日～2日程度している
- 5. たまに必要に応じてする
- 6. 休暇中に限ってする
- 7. まったくしていない

問26 あなたは大学に入学してからこれまでの間に、アルバイトをどの程度の期間にわたって経験していますか。（ ）内に数値を記入してください。

（ ）年 と（ ）カ月 （注：経験がない場合は、（ 0 ）年（ 0 ）か月と記入）

問27 あなたがアルバイトをする目的は次のうちどれですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。アルバイトをしたことがない方は、「8」に○をつけてください。

- 1. 学費にあてるため
- 2. 欲しいものを買うため
- 3. 社会経験を得るため
- 4. 友人をつくるため
- 5. 時間をつぶすため
- 6. 仕事を楽しむため
- 7. 特に目的はない
- 8. アルバイトをしたことがない
- 9. その他の目的（ ）

問28 あなたが半年以上参加している（していた）部・サークル活動・学生団体は次のうちどれですか。**あてはまる番号すべてに○をつけてください。**

1. 運動系部活動      2. 文化系部活動      3. 運動系サークル      4. 文化系サークル  
5. 部・サークル以外の学生団体      6. 参加していない

問29 あなたは大学在学中に海外へ留学したいですか、それとも留学したくないですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. とても留学したい      2. どちらかといえば留学したい  
3. どちらかといえば留学したくない      4. まったく留学したくない

問30 あなたはこれまでに海外での生活または留学を経験したことがありますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 大学入学前に海外生活・留学を経験した      2. 大学入学後に海外生活・留学を経験した  
3. 大学入学前と入学後に海外生活・留学を経験した      4. 海外生活・留学を経験したことがない

問31 あなたは大学を卒業した後、沖縄県内にいる予定ですか、それとも県外あるいは国外に移動する予定ですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 沖縄県内にいる      2. 県外に移動する      3. 国外に移動する      4. まだ分からない

問32 あなたは大学を卒業した後、どのような進路を考えていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 公務員(事務系)の仕事に就く      2. 民間企業(事務系)の仕事に就く      3. 教員の仕事に就く  
4. 専門技術職の仕事に就く      5. 研究職の仕事に就く      6. 自営業の仕事に就く  
7. パート・アルバイトとして働く      8. 大学院に進学する      9. 専修学校や各種学校に進学する  
10. 海外へ留学する      11. まだ決まっていない      12. その他(      )

問33 あなたの**実家**には、本（マンガ・雑誌・学習参考書以外）はどれくらいありますか。**あなたの家族の本も含みます。**あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. ほとんどない      2. 20冊くらい（本棚1段分くらい）  
3. 50冊くらい（本棚半分くらい）      4. 100冊くらい（本棚1つ分くらい）  
5. 200冊くらい（本棚2つ分くらい）      6. 300冊くらい（本棚3つ分くらい）  
7. 400冊以上（本棚4つ分以上）

問34 あなたが卒業した高校に関して、A、Bそれぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけてください。

- A. 課程      1. 普通科      2. 総合学科      3. 専門学科（商業学科・工業学科など）      4. その他  
B. 4年制大学進学率      1. 95%以上      2. 80%以上95%未満  
3. 60%以上80%未満      4. 40%以上60%未満      5. 40%未満

◆農学部の学生の方は、これで終了となります。調査へのご協力、ありがとうございました。

◆上記の所属以外の学生の方は、下記に示した所属先のページに進み、該当する設問のみご回答ください。これが最後の設問となります。

- 【法文学部 総合社会システム学科 法学専攻課程】 → 11 ページの間 3 5 へ
- 【法文学部 総合社会システム学科 経済学専攻課程】 → 11 ページの間 3 6 へ
- 【法文学部 総合社会システム学科 政治・国際関係専攻課程】 → 11 ページの間 3 7 へ
- 【法文学部 人間科学科 人間行動専攻課程】 → 12 ページの間 3 8 へ
- 【法文学部 人間科学科 社会学専攻課程】 → 12 ページの間 3 9 へ
- 【法文学部 人間科学科 地理歴史人類学専攻課程】 → 12 ページの間 4 0 へ
- 【法文学部 国際言語文化学科 琉球アジア文化専攻課程】 → 13 ページの間 4 1 へ
- 【法文学部 国際言語文化学科 英語文化専攻課程】 → 13 ページの間 4 2 へ
- 【法文学部 国際言語文化学科 ヨーロッパ文化専攻課程】 → 14 ページの間 4 3 へ
  
- 【観光産業科学部 観光科学科】 → 14 ページの間 4 4 へ
- 【観光産業科学部 産業経営学科】 → 14 ページの間 4 5 へ
  
- 【教育学部 学校教員養成課程】 → 15 ページの間 4 6 へ
- 【教育学部 生涯教育課程】 → 15 ページの間 4 7 へ
  
- 【理学部 数理科学科】 → 16 ページの間 4 8 へ
- 【理学部 物質地球科学科 物理系】 → 16 ページの間 4 9 へ
- 【理学部 物質地球科学科 地学系】 → 16 ページの間 5 0 へ
- 【理学部 海洋自然科学科 化学系】 → 17 ページの間 5 1 へ
- 【理学部 海洋自然科学科 生物系】 → 17 ページの間 5 2 へ
  
- 【医学部 医学科】 → 18 ページの間 5 3 へ
- 【医学部 保健学科】 → 19 ページの間 5 4 へ
  
- 【工学部 機械システム工学科】 → 20 ページの間 5 5 へ
- 【工学部 環境建設工学科 土木コース】 → 20 ページの間 5 6 へ
- 【工学部 環境建設工学科 建築コース】 → 21 ページの間 5 7 へ
- 【工学部 電気電子工学科】 → 22 ページの間 5 8 へ
- 【工学部 情報工学科】 → 23 ページの間 5 9 へ



**【法文学部 総合社会システム学科 法学専攻課程】**

問35 現在のあなたには、次のことがどれくらい身についていると思いますか。A～Gそれぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけてください。

	とても 身につ ている	ある程度 身につ ている	あまり 身につ ていな い	まったく 身につ ていな い
A. 自主性	1	2	3	4
B. 社会性	1	2	3	4
C. 平和性	1	2	3	4
D. コミュニケーション・スキル	1	2	3	4
E. 情報リテラシー	1	2	3	4
F. 問題発見・解決能力	1	2	3	4
G. 専門性	1	2	3	4

**【法文学部 総合社会システム学科 経済学専攻課程】**

問36 現在のあなたには、次のことがどれくらい身についていると思いますか。A～Eそれぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけてください。

	とても 身につ ている	ある程度 身につ ている	あまり 身につ ていな い	まったく 身につ ていな い
A. 経済学を中心とした社会科学についての幅広い知識	1	2	3	4
B. 現代社会の諸問題を総合的・多角的に捉える能力	1	2	3	4
C. 情報化社会におけるツールとして情報を自在に駆使できる能力	1	2	3	4
D. 社会の様々な場面に対応できるコミュニケーション能力	1	2	3	4
E. 社会科学の基礎力を応用して地域社会が抱える問題を見出し、その解決策を提案できる能力	1	2	3	4

**【法文学部 総合社会システム学科 政治・国際関係専攻課程】**

問37 現在のあなたには、次のことがどれくらい身についていると思いますか。A～Dそれぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけてください。

	とても 身につ ている	ある程度 身につ ている	あまり 身につ ていな い	まったく 身につ ていな い
A. 政治学・国際関係論を中心とする基礎的・応用的専門知識	1	2	3	4
B. 政治学・国際関係論を含む社会科学の分野に関する資料収集・文献調査能力	1	2	3	4
C. 社会の諸現象に対して問いを立て、知識・調査と論理的思考に基づいて解決を見出す能力	1	2	3	4
D. 現代社会の諸問題に対処するため必要とされるプレゼンテーション・討論・文章・作成の能力	1	2	3	4

**【法文学部 人間科学科 人間行動専攻課程】**

問38 現在のあなたには、次のことがどれくらい身についていると思いますか。A～Cそれぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけてください。

	とても 身につ ている	ある程度 身につ ている	あまり 身につ ていな い	まったく 身につ ていな い
A. 各学問分野と関連した高度な専門的能力……………	1	2	3	4
B. 人間や地域、国際社会に対する知識・理解 に基づく深い洞察力……………	1	2	3	4
C. 自律的な学習による多様な情報の収集と それを駆使した問題解決能力……………	1	2	3	4

**【法文学部 人間科学科 社会学専攻課程】**

問39 現在のあなたには、次のことがどれくらい身についていると思いますか。A～Cそれぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけてください。

	十分 身につ ている	どちらか といえ ば	どちらか といえ ば	あまり、 もしく はほと んど
A. 社会生活の諸側面を理論的・実証的に とらえられる能力……………	1	2	3	4
B. 現実の社会で生じている様々な現象を多種多様な 角度から分析できる能力……………	1	2	3	4
C. 市民社会の発展や生活問題・福祉問題の解決に 貢献できる能力……………	1	2	3	4

**【法文学部 人間科学科 地理歴史人類学専攻課程】**

問40 現在のあなたには、次のことがどれくらい身についていると思いますか。A～Cそれぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけてください。

	とても 身につ ている	ある程度 身につ ている	あまり 身につ ていな い	まったく 身につ ていな い
A. 地理学・歴史学・人類学に関わる専門的な諸資料 (フィールドデータ、地理情報や統計資料、文献史料等) を正確に理解し、そこから課題を発見する能力……………	1	2	3	4
B. 諸資料や諸情報を自ら収集・分析し、 課題を解決する能力……………	1	2	3	4
C. 調査研究の成果を論文や報告にまとめ、 地域社会・国際社会に向けて発信する能力……………	1	2	3	4

**【法文学部 国際言語文化学科 琉球アジア文化専攻課程】**

問4 1 現在のあなたには、次のことがどれくらい身についていると思いますか。A～Dそれぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけてください。

	とても 身につ ている	ある程度 身につ ている	あまり 身につ ていな い	まったく 身につ ていな い
A. 琉球・沖縄および日本・アジアという地域を 主な対象とする広範な文化のありようを 深く認識する能力……………	1	2	3	4
B. 琉球・沖縄および日本・アジアに関する 歴史・民族・文学・言語を理解し、 地域及び国際的な場で活躍する高度な能力……………	1	2	3	4
C. 異なる文化背景を持つ人々と平和的に 共生していく能力……………	1	2	3	4
D. 議論や意見交換を通して、自らの考えを 論理的に伝達する能力……………	1	2	3	4

**【法文学部 国際言語文化学科 英語文化専攻課程】**

問4 2 現在のあなたには、次のことがどれくらい身についていると思いますか。A～Fそれぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけてください。

	とても 身につ ている	ある程度 身につ ている	あまり 身につ ていな い	まったく 身につ ていな い
A. 国際的な場面で活躍するための 高度な英語運用能力……………	1	2	3	4
B. 自主的に情報を収集し、それを正確に整理・分析 することによって、主体的な見解を導く能力……………	1	2	3	4
C. 自らの見解と意見を、説得力ある表現で 伝達することのできる能力……………	1	2	3	4
D. 他者との議論、意見交換を通して多様な見解や 価値観を学び、自らの意見に反映させる能力……………	1	2	3	4
E. 自らの地域社会のみならず、地球的視野で 物事を判断し、行動する能力……………	1	2	3	4
F. 異なる文化背景・国籍をもつ人々と協力し、 共生できる能力……………	1	2	3	4

**【法文学部 国際言語文化学科 ヨーロッパ文化専攻課程】**

問43 現在のあなたには、次のことがどれくらい身についていると思いますか。A～Eそれぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけてください。

	とても 身につ いて いる	ある程度 身につ いて いる	あまり 身につ いて いない	まったく 身につ いて いない
A. 言語（ドイツ語・フランス語・スペイン語のうち1つ）による高度な運用能力……………	1	2	3	4
B. 各言語活動に関わる文化事象等のなかから自分なりに研究課題を見つけ、それを論理的に解決し表現する能力……………	1	2	3	4
C. 各言語圏の文学・文化・歴史・民俗等に関する専門知識……………	1	2	3	4
D. ヨーロッパ言語文化圏・EU社会全体の横断的な理解……………	1	2	3	4
E. 高度な異文化理解を実現し、地域社会および国際社会で発揮する能力……………	1	2	3	4

**【観光産業科学部 観光科学科】**

問44 現在のあなたには、次のことがどれくらい身についていると思いますか。A、Bそれぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけてください。

	とても 身につ いて いる	ある程度 身につ いて いる	あまり 身につ いて いない	まったく 身につ いて いない
A. 地域及び広く社会に貢献できる能力……………	1	2	3	4
B. 外国語運用能力と国際感覚を有し、国際社会で活躍できる能力……………	1	2	3	4

**【観光産業科学部 産業経営学科】**

問45 現在のあなたには、次のことがどれくらい身についていると思いますか。A～Eそれぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけてください。

	とても 身につ いて いる	ある程度 身につ いて いる	あまり 身につ いて いない	まったく 身につ いて いない
A. 理論と実践の融合を実現するための能力……………	1	2	3	4
B. 高い倫理観と価値判断能力……………	1	2	3	4
C. 高度な専門性と幅広い教養を併せ持つ総合的な判断能力……………	1	2	3	4
D. 国際社会で活躍できる国際感覚と外国語運用能力……………	1	2	3	4
E. 地域社会の発展に寄与できるような実践的なマネジメント能力……………	1	2	3	4

**【教育学部 学校教員養成課程】**

問46 現在のあなたには、以下に挙げる能力がどれくらい身についていると思いますか。A～Fそれぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけてください。

	とても 身につ ている	ある程度 身につ ている	あまり 身につ ていな い	まったく 身につ ていな い
A. 子ども理解	1	2	3	4
B. 学校教育に関する理解	1	2	3	4
C. 教科内容についての理解	1	2	3	4
D. 特別支援教育についての理解	1	2	3	4
E. 幅広い教養	1	2	3	4
F. 上記A～Eを基盤とする教育実践力	1	2	3	4

**【教育学部 生涯教育課程】**

問47 現在のあなたには、次のことがどれくらい身についていると思いますか。A、Bについて、あてはまる番号1つに○をつけてください。また、C～Gについては、あなたが所属するコースの設問のみご回答ください。

	とても 身につ ている	ある程度 身につ ている	あまり 身につ ていな い	まったく 身につ ていな い
A. 学校内外にまたがる教育課題（幼児・児童教育や社会教育）を支援する能力	1	2	3	4
B. 地域の社会連携様態・自然環境特性・生活習慣・対人関係のいずれかに重点をおいて、課題発見と問題解決・支援を図っていく実践力	1	2	3	4

**【「子ども地域コース」の学生のみ回答】**

C. 学校内外において、子どもと子どもを取り巻く人々が、育ち合い・交流し合える場（コミュニティ）の形成や活動を支援できる	1	2	3	4
--------------------------------------------------------------	---	---	---	---

**【「沖縄島嶼教育コース」の学生のみ回答】**

D. 地域の実情を把握し、課題の発見・解決を図っていく実践力を有し、地域づくりの中心を担える	1	2	3	4
------------------------------------------------	---	---	---	---

**【「自然環境科学教育コース」の学生のみ回答】**

E. 正しい自然観を持ち、学校教育の枠を超えて豊かな自然環境と共生する地域社会を支えることができる	1	2	3	4
---------------------------------------------------	---	---	---	---

**【「生涯健康教育コース」の学生のみ回答】**

F. 健康・栄養・スポーツを総合的に探究する科目を通じて地域社会に貢献できる	1	2	3	4
----------------------------------------	---	---	---	---

**【「心理臨床科学コース」の学生のみ回答】**

G. 懐深い人間理解の視点を持ち、こころを保全するための臨床知	1	2	3	4
---------------------------------	---	---	---	---

**【理学部 数理科学科】**

問48 現在のあなたには、次のことがどれくらい身についていると思いますか。A～Eそれぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけてください。

	とても 身につ ている	ある程度 身につ ている	あまり 身につ てい ない	まったく 身につ てい ない
A. 社会の多様化および時代の変化に柔軟に対応できる幅広い素養……………	1	2	3	4
B. 数学的専門知識を理解し、それを柔軟に応用することができる力……………	1	2	3	4
C. 幅広い世界的な視野に立って、多様に変化していく社会に貢献できる力……………	1	2	3	4
D. 数学の専門基礎に関する文献を読みこなせる力……………	1	2	3	4
E. 情報化社会に資するために数学の理論の応用ができる力……………	1	2	3	4

**【理学部 物質地球科学科 物理系】**

問49 現在のあなたには、次のことがどれくらい身についていると思いますか。A～Dそれぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけてください。

	とても 身につ ている	ある程度 身につ ている	あまり 身につ てい ない	まったく 身につ てい ない
A. 力学的な現象や電磁気学的な現象、原子などのミクロな振舞いを基礎法則に基づいて理解できる能力……………	1	2	3	4
B. 基本的な計測技術、計算機利用技術……………	1	2	3	4
C. 基本的なプレゼンテーション能力……………	1	2	3	4
D. 現代物理学の知識に基づいて自然現象や物質の性質を探究する能力……………	1	2	3	4

**【理学部 物質地球科学科 地学系】**

問50 現在のあなたには、次のことがどれくらい身についていると思いますか。A～Dそれぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけてください。

	とても 身につ ている	ある程度 身につ ている	あまり 身につ てい ない	まったく 身につ てい ない
A. 自然科学全般及び地球科学に関する基礎学力……………	1	2	3	4
B. 自然科学に対する広い視野と柔軟な思考力および論理的表現能力……………	1	2	3	4
C. プレゼンテーション及び国際化に対応できるコミュニケーション能力および自己表現能力……………	1	2	3	4
D. 地球科学の知識等を総合的に活用し、問題を解決することができる問題発見解決能力……………	1	2	3	4

**【理学部 海洋自然科学科 化学系】**

問5 1 現在のあなたには、次のことがどれくらい身についていると思いますか。A～Fそれぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけてください。

	とても 身につ いて いる	ある程度 身につ いて いる	あまり 身につ いて いない	まったく 身につ いて いない
A. 化学の基本的な理論、実験操作等の修得……………	1	2	3	4
B. 問題解決力……………	1	2	3	4
C. 自律的に行動する習慣……………	1	2	3	4
D. 基本的なプレゼンテーション能力……………	1	2	3	4
E. 語学力……………	1	2	3	4
F. 情報処理能力……………	1	2	3	4

**【理学部 海洋自然科学科 生物系】**

問5 2 現在のあなたには、次のことがどれくらい身についていると思いますか。A～Iそれぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけてください。

	とても 身につ いて いる	ある程度 身につ いて いる	あまり 身につ いて いない	まったく 身につ いて いない
A. 生物学に関する専門的知識……………	1	2	3	4
B. 生物学の知識をもとに人間・社会・自然に対する 理解を深め、問題を探求し解決する能力……………	1	2	3	4
C. 知識の活用能力……………	1	2	3	4
D. 論理的思考力……………	1	2	3	4
E. 課題探求力……………	1	2	3	4
F. 問題解決力……………	1	2	3	4
G. 表現能力……………	1	2	3	4
H. コミュニケーション能力……………	1	2	3	4
I. 総合的判断力……………	1	2	3	4

**【医学部 医学科】**

問53 現在のあなたには、次のことがどれくらい身についていると思いますか。A～Jそれぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけてください。

	とても 身につ いて	ある程度 身につ いて	あまり 身につ いて いない	まったく 身につ いて いない
A. 総合的教養人としての能力……………	1	2	3	4
B. 基本的な医学の知識……………	1	2	3	4
C. 公正な医療の実践についての理解……………	1	2	3	4
D. 科学としての医学を強く意識したリサーチマインド……………	1	2	3	4
E. 医学の進歩を念頭に置き、先端的医学に柔軟に 対応する能力……………	1	2	3	4
F. 医学の知識や技術を学び続ける能力……………	1	2	3	4
G. 自然的、地理的、歴史的条件を踏まえた 地域医療の現状についての理解……………	1	2	3	4
H. 国民の医療の向上の方策についての理解……………	1	2	3	4
I. 患者の置かれた状況や立場に立脚した医療 についての理解……………	1	2	3	4
J. 外国の医療事情についての理解……………	1	2	3	4



## 【医学部 保健学科】

問5 4 現在のあなたには、次のことがどれくらい身についていると思いますか。「看護学コース」の学生はA～Gそれぞれについて、「検査技術学コース」の学生はH～Lそれぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけてください。

### 【「看護学コース」の学生のみ回答】

	とても 身につ いて いる	ある程度 身につ いて いる	あまり 身につ いて いない	まったく 身につ いて いない
A. 生命を尊重し、人々が自立できるように支援し、 看護専門職者として主体的に責任を持って 行動できる能力	1	2	3	4
B. 保健学を基盤とした看護に関する 基礎的知識と技術	1	2	3	4
C. 看護実践における適切な判断・実践、評価 のできる能力	1	2	3	4
D. 看護専門職としての役割を認識し、他の保健・医療・ 福祉の専門職者と連携、協働して社会資源を活用し、 看護を有効に機能させ、地域に貢献できる能力	1	2	3	4
E. 社会の変化や医療の高度化、多様化に対応できる 柔軟な思考力と自主的行動力	1	2	3	4
F. 看護学の発展に積極的かつ創造的に取り組める能力	1	2	3	4
G. 東南アジアを主とする、諸外国との学術交流及び 看護活動の推進に寄与することのできる能力	1	2	3	4

### 【「検査技術学コース」の学生のみ回答】

	とても 身につ いて いる	ある程度 身につ いて いる	あまり 身につ いて いない	まったく 身につ いて いない
H. 技術革新による臨床検査分野の進展に対応できる 自立的学習能力	1	2	3	4
I. 病因を解明するための分析技術力および先端医療を 支える新しい技術	1	2	3	4
J. 臨床検査技師として、地域における保健医療問題の 解決のための即応力	1	2	3	4
K. 他の保健医療専門職者と協働しながら人の健康増進、 疾病の予防や治療に取り組むための、 豊かな人間性や社会性	1	2	3	4
L. 語学力、IT活用能力を培って国際感覚を磨き、医療 専門職としてグローバル時代に対応しうる総合力	1	2	3	4

### 【工学部 機械システム工学科】

問55 現在のあなたには、次のことがどれくらい身についていると思いますか。A～Cそれぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけてください。

	とても 身につ いて いる	ある程度 身につ いて いる	あまり 身につ いて いない	まったく 身につ いて いない
A. 技術的・倫理的視点で社会に貢献できる能力……………	1	2	3	4
B. 自然科学の基礎から機械の専門分野を 習得し、これを応用できる能力……………	1	2	3	4
C. 習得した能力および知見を基に問題を捉え、 その成果を自主的、継続的に社会に向けて、 発信・行動できる能力……………	1	2	3	4

### 【工学部 環境建設工学科 土木コース】

問56 現在のあなたには、次のことがどれくらい身についていると思いますか。A～Hそれぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけてください。

	とても 身につ いて いる	ある程度 身につ いて いる	あまり 身につ いて いない	まったく 身につ いて いない
A. 物事を多面的に考えるための 人文・社会科学の素養……………	1	2	3	4
B. 亜熱帯島嶼地域の自然・社会環境を理解するとともに、 土木技術の実社会に対する影響や効果を理解し、 技術者としての社会的責任（技術者倫理） を考える素養……………	1	2	3	4
C. 実社会で直面する様々な問題に対応するため、 土木工学の基礎となる数学・物理および情報処理に 関する知識の習得と、それを応用する能力……………	1	2	3	4
D. 土木工学の主要専門分野である構造工学、土木材料学、 地盤工学、水工水理学、土木計画学の基礎および 応用能力の習得と自己継続学習能力……………	1	2	3	4
E. 実験・実習・製図を通して、土木工学の専門技術や 情報処理技術を利用し、計画的に問題を解決し、 それをまとめ、表現する能力……………	1	2	3	4
F. 日本語によって物事を論理的に記述し、 プレゼンテーションを行う能力……………	1	2	3	4
G. 英語およびその他の外国語の基礎ならびに コミュニケーション能力……………	1	2	3	4
H. 自ら問題を発見し、その課題を解決するための研究を 計画的に遂行し、その結果をまとめ、 発表できる能力……………	1	2	3	4

## 【工学部 環境建設工学科 建築コース】

問57 現在のあなたには、次のことがどれくらい身についていると思いますか。A～Gそれぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけてください。

	とても 身につ いて いる	ある程度 身につ いて いる	あまり 身につ いて いない	まったく 身につ いて いない
A. 物事の価値を多面的にとらえ、豊かな生活環境のあり方を構想できる素養……………	1	2	3	4
B. 建築関連技術が社会や自然環境に及ぼす効果・影響と、社会的責任をもつ建築技術者としての倫理を理解する能力……………	1	2	3	4
C. 数学・自然科学・情報技術に関する知識とそれらを建築技術に応用できる能力……………	1	2	3	4
D. 建築に関わる基礎的・包括的な素養……………	1	2	3	4
E. 社会の要請を的確にとらえ、種々の領域と連携しつつ課題を解決できる能力……………	1	2	3	4
F. 言語を的確に用いて記述、発表、コミュニケーションを行うことができる能力……………	1	2	3	4
G. 建築に関わる1分野以上（下記①～⑤参照）の高度な専門知識とその応用能力……………	1	2	3	4

- ① 建築の歴史・芸術性・居住理論・都市計画・関連法規等を学ぶ文化的社会的分野
- ② 建築の企画・計画・設計及びそれらを表現する図学・製図等を学ぶ計画設計分野
- ③ 安全な建築物のための構造力学・工法・台風等に対する防災を学ぶ構造防災分野
- ④ 建物を構成する材料の理解と施工・生産・ライフサイクル等を学ぶ材料施工分野
- ⑤ 都市・建築の音・光・熱等の環境及びそれらを制御する設備を学ぶ環境設備分野

## 【工学部 電気電子工学科】

問58 現在のあなたには、次のことがどれくらい身についていると思いますか。A～Uそれぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけてください。

	とても 身につ ている	ある程度 身につ ている	あまり 身につ てい ない	まったく 身につ てい ない
A. 自然科学、数学といった技術者の基礎知識・能力……	1	2	3	4
B. 電磁気学、回路理論、電気電子計測といった 電気電子工学の基礎 ……………	1	2	3	4
C. コンピュータの操作とプログラミングの基礎……………	1	2	3	4
D. データを正確に解析できる能力……………	1	2	3	4
E. 電磁エネルギー工学分野に関する知識……………	1	2	3	4
F. 電子物性工学分野に関する知識……………	1	2	3	4
G. 電子システム工学分野に関する知識……………	1	2	3	4
H. 地域に根ざした歴史や文化、多様な価値観……………	1	2	3	4
I. 幅広い教養を修得し、国際的・多角的に物事を 考える能力 ……………	1	2	3	4
J. 論理的な記述、口頭発表、討論などの コミュニケーション能力……………	1	2	3	4
K. 国際的なコミュニケーションを可能とする 英語を中心とした語学力 ……………	1	2	3	4
L. 科学技術が社会に及ぼす影響の理解……………	1	2	3	4
M. 技術者に必須となる法規や倫理規範に関する 基礎的な知識 ……………	1	2	3	4
N. 技術者としての責任感 ……………	1	2	3	4
O. 与えられた課題について問題点を理解する能力……………	1	2	3	4
P. 現有環境や現有知識を有効に活用する能力……………	1	2	3	4
Q. 制約条件の下で問題点を解決するための 計画立案能力 ……………	1	2	3	4
R. 計画を具体的に実行する能力……………	1	2	3	4
S. チーム作業における協調性と自主性について理解し、 実践できる能力 ……………	1	2	3	4
T. 期限内に課題を仕上げる習慣……………	1	2	3	4
U. 演習などをとおして、自主的に調査・学習する能力……………	1	2	3	4

**【工学部 情報工学科】**

問59 現在のあなたには、次のことがどれくらい身についていると思いますか。A～Hそれぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけてください。

	とても 身につ いて	ある程度 身につ いて	あまり 身につ いて いない	まったく 身につ いて いない
A. 自ら掲げた目標を達成するために 計画的にかつ継続的に行動する能力……………	1	2	3	4
B. 学習・研究成果を社会に還元する意義と技術者 としての社会に対する責任を理解するとともに、 多様な人々と協調して行動する能力……………	1	2	3	4
C. 地域・国際社会で通用するコミュニケーション能力…	1	2	3	4
D. 幅広い教養と柔軟な思考力を修得し、複雑な問題に 適切に対応する能力……………	1	2	3	4
E. 情報工学分野の専門的な知識……………	1	2	3	4
F. 情報工学分野を継続して学習するための基礎学力…………	1	2	3	4
G. 情報工学分野の実践的な技術……………	1	2	3	4
H. 情報工学の理論及び技術を総合的に活用し、 与えられた制約下で創意工夫により課題を 解決する能力……………	1	2	3	4

**お疲れ様でした。ご協力ありがとうございました！**

## 付録資料

## 「琉球大学の教育改善のための学生調査2013」単純集計表

※回答者は1036名(男性618名, 女性411名, 性別未回答7名)であった。

問		全体(%)	男性(%)	女性(%)
問1-C 生まれた年(西暦) ※1995年以降の回答は無回答扱い	1989年以前	4.7	5.9	3.0
	1990年	2.3	3.1	1.2
	1991年	5.6	7.1	3.4
	1992年	18.5	19.7	16.5
	1993年	52.2	46.8	61.3
	1994年	13.8	14.2	13.4
	無回答	2.9	3.4	0.9
問1-C 生まれた月	1月	6.3	6.8	5.6
	2月	6.8	7.3	6.1
	3月	7.7	8.3	7.1
	4月	7.4	7.6	7.3
	5月	8.6	8.9	8.3
	6月	7.9	7.8	8.3
	7月	9.2	8.6	10.0
	8月	9.9	9.2	11.2
	9月	8.0	7.1	9.5
	10月	8.7	9.2	8.0
	11月	8.7	7.9	10.0
	12月	8.5	9.1	7.5
	無回答	2.3	2.3	1.2
問1-D コース	昼間主コース	88.9	88.8	89.8
	夜間主コース	5.7	6.1	5.1
	無回答	5.4	5.0	5.1
問1-E 兄の人数	いない	67.9	67.6	68.4
	1人	22.8	23.8	21.7
	2人	6.4	5.5	7.8
	3人	1.0	1.0	1.0
	4人以上	0.1	0.2	0.0
	無回答	1.9	1.9	1.2
問1-E 弟の人数	いない	63.6	64.6	63.0
	1人	26.4	23.9	29.7
	2人	7.3	8.6	5.6
	3人	0.7	0.8	0.5
	4人以上	0.1	0.2	0.0
	無回答	1.9	1.9	1.2
問1-E 姉の人数	いない	67.4	67.8	66.9
	1人	24.5	23.1	27.0
	2人	5.1	6.0	3.9
	3人	1.0	1.0	1.0
	4人以上	0.1	0.2	0.0
	無回答	1.9	1.9	1.2
問1-E 妹の人数	いない	64.4	63.9	65.9
	1人	26.3	26.7	25.3
	2人	6.3	6.8	5.6
	3人	1.1	0.6	1.7
	4人以上	0.1	0.0	0.2
	無回答	1.9	1.9	1.2

問		全体(%)	男性(%)	女性(%)
問1-F 現在の住まい	実家	54.0	46.9	64.7
	寮	9.6	10.5	8.3
	アパート・マンションで一人暮らし	32.5	38.8	23.1
	きょうだいや知人とルームシェア	1.7	1.3	2.4
	親戚の家	0.5	0.5	0.5
	その他	0.5	0.5	0.5
	無回答	1.3	1.5	0.5
問2 入学形態	一般入試の前期試験(追加合格含む)	70.4	73.9	65.2
	一般入試の後期試験(追加合格含む)	14.3	15.0	13.1
	AO入試	1.1	1.3	0.7
	推薦入試 I (センター試験を課さない)	4.9	1.3	10.5
	推薦入試 II (センター試験を課す)	7.4	6.1	9.0
	二年次・三年次特別編入	0.0	0.0	0.0
	21世紀GP	0.0	0.0	0.0
	二次募集	0.1	0.2	0.0
	社会人特別入試	0.4	0.2	0.7
	帰国子女特別入試	0.0	0.0	0.0
	学士入学	0.4	0.6	0.0
	私費外国人留学生入試	0.8	0.8	0.7
	国費留学生として	0.1	0.2	0.0
	その他	0.0	0.0	0.0
無回答	0.2	0.3	0.0	
問3 所属の学科・課程	総合社会システム学科	7.5	8.1	6.6
	人間科学科	6.4	5.0	8.5
	国際言語文化学科	2.1	1.1	3.6
	観光科学科	6.2	2.6	11.7
	産業経営学科	6.1	3.6	10.0
	学校教員養成課程	4.1	2.3	6.6
	生涯教育課程	7.7	3.6	14.1
	数理科学科	0.4	0.6	0.0
	物質地球科学科	4.0	5.8	1.2
	海洋自然科学科	6.0	6.5	5.4
	医学科	9.2	10.4	7.1
	保健学科	5.6	2.3	10.5
	機械システム工学科	9.3	13.8	2.7
	環境建設工学科	6.4	9.4	0.0
	電気電子工学科	7.7	11.7	1.7
	情報工学科	5.8	7.8	2.9
	亜熱帯地域農学科	3.3	2.9	3.9
	亜熱帯農林環境科学科	0.6	1.0	0.0
	地域農業工学科	0.7	0.6	0.7
	亜熱帯生物資源科学科	1.0	1.0	1.0
無回答	0.2	0.2	0.0	

問		全体(%)	男性(%)	女性(%)
問4 所属の専攻課程・専修・コース・系	法学専攻課程	0.2	0.3	0.0
	経済学専攻課程	5.4	6.0	4.6
	政治・国際関係専攻課程	1.5	1.5	1.7
	人間行動専攻課程	1.0	0.8	1.2
	社会学専攻課程	2.7	2.3	3.4
	地理歴史人類学専攻課程	2.6	1.9	3.6
	琉球アジア文化専攻課程	1.5	1.0	2.4
	英語文化専攻課程	0.0	0.0	0.0
	ヨーロッパ文化専攻課程	0.5	0.0	1.2
	教育実践学専修	0.0	0.0	0.0
	国語教育専修	0.6	0.2	1.2
	社会科教育専修	0.0	0.0	0.0
	数学教育専修	0.0	0.0	0.0
	理科教育専修	0.0	0.0	0.0
	音楽教育専修	0.0	0.0	0.0
	美術教育専修	0.0	0.0	0.0
	保健体育専修	0.6	0.6	0.5
	技術教育専修	0.6	0.6	0.5
	生活科学教育専修	0.5	0.0	1.2
	英語教育専修	0.6	0.5	0.5
	特別支援教育専修	1.2	0.2	2.7
	子ども地域教育コース	2.2	0.5	4.9
	沖縄島嶼教育コース	1.0	0.5	1.7
	自然環境科学教育コース	1.4	1.3	1.7
	生涯健康教育コース	1.0	0.3	1.9
	心理臨床科学コース	1.9	0.8	3.6
	物理系	3.6	5.3	1.0
	地学系	0.3	0.3	0.2
	化学系	4.2	4.5	3.9
	生物系	1.7	1.9	1.5
	看護学コース	2.5	0.2	5.8
	検査技術学コース	2.7	1.9	3.6
土木コース	2.6	4.4	0.0	
建築コース	3.5	4.5	1.9	
該当なし	30.0	32.5	26.3	
無回答	21.9	25.1	17.0	
問5 現役入学か浪人を経て入学か	現役	65.6	61.0	73.2
	一浪	21.8	23.3	19.2
	二浪以上	11.8	14.9	7.1
	無回答	0.8	0.8	0.5
問6 琉球大学への入学希望度	ぜひこの大学に入学したかった	50.2	42.2	62.0
	もっと入学したい大学が他にあった	34.5	39.8	26.5
	特にどこの大学に入学したいということとはなかった	14.9	17.6	10.9
	無回答	0.5	0.3	0.5
問7-A 中学3年時の成績	下の方	3.2	4.9	0.7
	中の下	4.6	4.7	4.6
	中くらい	21.0	23.6	17.5
	中の上	32.6	34.5	29.4
	上の方	38.0	31.9	47.4
無回答	0.5	0.5	0.2	
問7-B 高校3年時の成績	下の方	7.7	9.9	4.6
	中の下	10.6	12.0	8.5
	中くらい	33.5	34.5	32.1
	中の上	30.5	28.6	33.3
	上の方	16.8	13.8	21.4
無回答	0.9	1.3	0.0	



問		全体(%)	男性(%)	女性(%)
問8 センター試験受験の有無	受験した	95.2	96.0	94.2
	受験していない	4.4	3.6	5.8
	無回答	0.4	0.5	0.0
問8-1 センター試験の得点率(%)	50%未満	2.4	3.1	1.5
	50%以上60%未満	13.7	15.9	10.5
	60%以上70%未満	40.9	40.9	41.6
	70%以上80%未満	21.1	20.1	22.9
	80%以上90%未満	9.6	9.1	10.0
	90%以上	2.4	3.2	1.2
	非該当	4.6	3.7	5.8
	無回答	5.2	4.0	6.6
問9-A 全履修科目単位の内, 評価Aの割合	50%未満	68.1	78.3	53.0
	50%以上60%未満	5.5	4.4	7.3
	60%以上70%未満	6.0	2.9	10.7
	70%以上80%未満	6.0	3.9	9.2
	80%以上90%未満	4.2	1.6	8.0
	90%以上	2.4	1.6	3.6
	非該当	0.1	0.2	0.0
	無回答	7.7	7.1	8.0
問9-B 全履修科目単位の内, 評価Bの割合	50%未満	78.4	79.8	76.9
	50%以上60%未満	8.2	7.9	8.8
	60%以上70%未満	4.0	3.4	4.6
	70%以上80%未満	1.9	1.9	1.9
	80%以上90%未満	0.3	0.3	0.2
	90%以上	0.0	0.0	0.0
	非該当	0.0	0.0	0.0
	無回答	7.2	6.6	7.5
問9-C 全履修科目単位の内, 評価Cの割合	50%未満	86.2	87.9	84.2
	50%以上60%未満	3.3	3.2	3.4
	60%以上70%未満	0.8	1.1	0.2
	70%以上80%未満	0.3	0.3	0.2
	80%以上90%未満	0.2	0.2	0.2
	90%以上	0.1	0.2	0.0
	非該当	0.0	0.0	0.0
	無回答	9.2	7.1	11.7
問9-D 全履修科目単位の内, 評価Dの割合	50%未満	82.9	85.3	79.8
	50%以上60%未満	1.7	2.4	0.7
	60%以上70%未満	1.0	1.3	0.5
	70%以上80%未満	0.5	0.8	0.0
	80%以上90%未満	0.0	0.0	0.0
	90%以上	0.0	0.0	0.0
	非該当	0.0	0.0	0.0
	無回答	13.9	10.2	19.0
問9-E 全履修科目単位の内, 評価Fの割合	50%未満	79.7	82.2	76.4
	50%以上60%未満	0.8	1.3	0.0
	60%以上70%未満	0.1	0.2	0.0
	70%以上80%未満	0.2	0.3	0.0
	80%以上90%未満	0.1	0.2	0.0
	90%以上	0.2	0.2	0.2
	非該当	0.0	0.0	0.0
	無回答	18.9	15.7	23.4
問10-共通_今学期の登録単位数	15単位以下	74.2	78.3	68.9
	16単位以上20単位以下	8.0	5.7	11.7
	21単位以上25単位以下	1.2	1.1	1.2
	26単位以上30単位以下	1.0	1.0	1.0
	無回答	15.6	13.9	17.3

問		全体(%)	男性(%)	女性(%)
問10-専門_今学期の登録単位数	15単位以下	58.7	60.8	56.4
	16単位以上20単位以下	16.0	16.5	14.8
	21単位以上25単位以下	4.0	2.3	6.6
	26単位以上30単位以下	1.7	1.0	2.9
	無回答	19.6	19.4	19.2
問11-A 教育満足度_共通教育の人文科目系	とても満足している	10.9	10.7	11.2
	まあ満足している	57.5	51.3	66.9
	あまり満足していない	17.9	20.2	14.4
	まったく満足していない	4.2	5.2	2.9
	受けたことがない	5.8	8.1	2.4
無回答	3.7	4.5	2.2	
問11-B 教育満足度_共通教育の社会科目系	とても満足している	8.4	9.1	7.5
	まあ満足している	51.4	46.0	59.1
	あまり満足していない	24.2	26.1	21.9
	まったく満足していない	5.2	5.2	5.4
	受けたことがない	7.0	9.4	3.4
無回答	3.8	4.4	2.7	
問11-C 教育満足度_共通教育の自然系科目	とても満足している	11.0	11.3	10.7
	まあ満足している	40.5	37.1	45.5
	あまり満足していない	18.8	17.8	20.7
	まったく満足していない	4.6	4.0	5.4
	受けたことがない	20.4	24.3	14.6
無回答	4.6	5.5	3.2	
問11-D 教育満足度_共通教育の健康運動系科目	とても満足している	30.4	30.9	29.9
	まあ満足している	35.0	32.5	38.4
	あまり満足していない	8.6	8.4	9.0
	まったく満足していない	2.4	2.8	1.9
	受けたことがない	19.3	20.6	17.5
無回答	4.2	4.9	3.2	
問11-E 教育満足度_共通教育の総合科目	とても満足している	10.7	9.1	13.4
	まあ満足している	45.2	41.6	50.1
	あまり満足していない	14.8	18.0	10.2
	まったく満足していない	2.3	2.9	1.5
	受けたことがない	21.3	23.0	19.0
無回答	5.7	5.5	5.8	
問11-F 教育満足度_共通教育の琉大特色科目	とても満足している	11.5	9.2	15.1
	まあ満足している	32.3	29.3	37.0
	あまり満足していない	12.6	14.2	10.5
	まったく満足していない	2.8	3.6	1.5
	受けたことがない	36.1	38.7	32.1
無回答	4.6	5.0	3.9	
問11-G 教育満足度_共通教育の情報関係科目	とても満足している	10.9	9.7	12.7
	まあ満足している	42.8	39.2	47.7
	あまり満足していない	17.7	19.1	15.8
	まったく満足していない	4.3	4.9	3.6
	受けたことがない	19.1	21.2	16.3
無回答	5.2	6.0	3.9	
問11-H 教育満足度_共通教育の外国語科目	とても満足している	14.1	11.0	19.0
	まあ満足している	51.8	48.5	56.4
	あまり満足していない	20.9	24.8	15.6
	まったく満足していない	7.0	8.9	4.4
	受けたことがない	1.6	1.5	1.7
無回答	4.4	5.3	2.9	

問		全体(%)	男性(%)	女性(%)
問11-I 教育満足度_共通教育の先修・転換科目(専門基礎)	とても満足している	8.1	7.0	10.0
	まあ満足している	39.4	38.3	40.4
	あまり満足していない	16.3	20.9	9.7
	まったく満足していない	2.4	2.9	1.7
	受けたことがない	28.4	25.2	33.3
	無回答	5.4	5.7	4.9
問11-J 教育満足度_高年次科目	とても満足している	3.2	3.4	2.9
	まあ満足している	15.2	15.0	14.6
	あまり満足していない	8.1	10.4	4.9
	まったく満足していない	1.4	1.8	1.0
	受けたことがない	65.3	63.1	69.3
	無回答	6.8	6.3	7.3
問11-K 教育満足度_共通教育の日本語・日本事情科目	とても満足している	4.2	5.2	2.9
	まあ満足している	21.1	23.6	16.8
	あまり満足していない	11.5	14.9	6.6
	まったく満足していない	3.5	4.5	1.9
	受けたことがない	53.2	45.8	64.7
	無回答	6.5	6.0	7.1
問11-L 教育満足度_共通教育全体	とても満足している	7.6	7.8	7.5
	まあ満足している	53.8	49.4	60.1
	あまり満足していない	22.4	25.6	17.8
	まったく満足していない	4.2	5.3	2.4
	受けたことがない	7.3	6.8	8.3
	無回答	4.7	5.2	3.9
問11-M 教育満足度_学部専門教育全体	とても満足している	12.4	9.9	16.3
	まあ満足している	56.2	52.9	61.1
	あまり満足していない	17.0	21.7	10.0
	まったく満足していない	2.6	3.2	1.7
	受けたことがない	7.6	7.6	7.5
	無回答	4.2	4.7	3.4
問12-A 重視度_大学での授業	とても重視している	31.4	29.3	34.3
	まあ重視している	55.3	53.9	58.2
	あまり重視していない	10.7	13.6	6.3
	全く重視していない	1.1	1.8	0.0
	無回答	1.5	1.5	1.2
	問12-B 重視度_授業以外での自主的な学習	とても重視している	18.1	17.8
まあ重視している		42.0	40.0	45.3
あまり重視していない		32.9	34.5	30.9
全く重視していない		5.1	6.1	3.6
無回答		1.9	1.6	1.9
問12-C 重視度_アルバイト		とても重視している	9.3	7.4
	まあ重視している	40.1	36.6	45.5
	あまり重視していない	29.1	30.1	27.7
	全く重視していない	18.8	23.0	12.4
	無回答	2.8	2.9	2.2
	問12-D 重視度_部・サークル活動	とても重視している	13.6	13.3
まあ重視している		26.7	28.6	23.8
あまり重視していない		18.9	19.4	18.0
全く重視していない		38.8	37.1	41.8
無回答		1.9	1.6	1.9
問12-E 重視度_友人との交流		とても重視している	35.0	30.6
	まあ重視している	50.9	51.3	50.4
	あまり重視していない	10.2	13.8	5.1
	全く重視していない	2.2	2.8	1.5
	無回答	1.6	1.6	1.2

問		全体(%)	男性(%)	女性(%)
問13 事前学習時間 ※8時間超は無回答扱い	0分	22.5	23.5	21.2
	1分超30分以下	23.4	21.4	26.5
	30分超1時間以下	28.2	30.9	24.6
	1時間超2時間以下	12.6	12.5	13.1
	2時間超3時間以下	5.4	4.4	6.6
	3時間超	3.7	4.0	3.2
	無回答	4.2	3.4	4.9
問14 事後学習時間 ※8時間超は無回答扱い	0分	12.8	14.2	10.9
	1分超30分以下	17.5	17.3	17.8
	30分超1時間以下	27.8	30.1	24.8
	1時間超2時間以下	18.9	17.2	21.9
	2時間超3時間以下	10.2	9.7	10.7
	3時間超	7.1	7.0	7.3
	無回答	5.6	4.5	6.6
問15 授業に関係しない自主学習時間 ※10時間超は無回答扱い	0分	49.8	50.6	49.1
	1分超30分以下	14.7	13.3	17.0
	30分超1時間以下	17.1	18.6	14.8
	1時間超2時間以下	7.1	7.3	6.8
	2時間超3時間以下	2.8	2.8	2.9
	3時間超	2.9	2.8	2.9
	無回答	5.6	4.7	6.3
問16 睡眠時間 ※3時間未満, 10時間超は無回答扱い	4時間以下	11.1	10.5	11.9
	4時間超5時間以下	21.6	18.9	26.0
	5時間超6時間以下	33.0	35.1	30.2
	6時間超7時間以下	19.4	19.6	19.0
	7時間超8時間以下	7.5	7.8	7.3
	8時間超9時間以下	0.8	1.0	0.5
	9時間超10時間以下	1.1	1.5	0.5
	無回答	5.5	5.7	4.6
問17-A 親しい友人数_同じ学部・学科に	いない	2.7	3.6	1.5
	1~5人	32.4	31.4	34.3
	6~10人	29.8	30.3	29.4
	11~20人	18.2	18.8	17.3
	21~30人	6.4	6.1	6.8
	31人~	8.1	7.3	9.5
	入っていない	0.1	0.2	0.0
	無回答	2.2	2.4	1.2
問17-B 親しい友人数_同じ部・サークルに	いない	13.7	16.8	9.2
	1~5人	19.1	19.7	18.2
	6~10人	15.4	16.3	14.4
	11~20人	10.8	12.8	7.8
	21~30人	4.6	5.8	2.9
	31人~	3.7	3.9	3.4
	入っていない	30.1	22.2	42.1
	無回答	2.5	2.4	1.9
問17-C 親しい友人数_それ以外に大学内に	いない	10.3	12.6	7.1
	1~5人	35.0	33.3	38.2
	6~10人	20.2	20.1	20.7
	11~20人	13.5	12.1	15.3
	21~30人	6.3	6.3	6.3
	31人~	9.5	8.9	10.2
	入っていない	0.9	1.3	0.0
	無回答	4.3	5.3	2.2

問		全体(%)	男性(%)	女性(%)
問17-D 親しい友人数_大学入学以前から	いない	8.1	11.0	3.9
	1~5人	20.1	19.1	21.9
	6~10人	22.1	20.9	24.3
	11~20人	17.6	17.5	17.8
	21~30人	8.2	8.7	7.3
	31人~	19.6	18.3	21.4
	入っていない	1.4	1.8	1.0
	無回答	2.9	2.8	2.4
問17-E 親しい友人数_アルバイト先に	いない	25.6	28.6	21.4
	1~5人	32.9	29.4	38.4
	6~10人	13.9	14.2	13.4
	11~20人	6.6	5.8	7.5
	21~30人	1.6	1.5	1.9
	31人~	0.6	0.5	0.7
	入っていない	16.1	17.2	14.6
	無回答	2.7	2.8	1.9
問17-F 親しい友人数_インターネットや携帯のサイト上に	いない	54.0	58.3	48.2
	1~5人	10.7	10.0	11.7
	6~10人	6.1	5.8	6.6
	11~20人	3.1	2.8	3.6
	21~30人	1.1	1.1	0.7
	31人~	4.8	4.4	5.6
	入っていない	17.2	14.7	20.9
	無回答	3.1	2.9	2.7
問17-G 親しい友人数_それ以外で大学外に	いない	32.9	35.9	28.7
	1~5人	20.6	18.9	23.4
	6~10人	12.5	12.8	12.2
	11~20人	8.6	7.6	9.7
	21~30人	4.2	4.7	3.6
	31人~	10.1	9.5	10.9
	入っていない	7.6	7.4	8.0
	無回答	3.5	3.1	3.4
問18-A 大学で学ぶ意義を理解することができる	とてもあてはまる	20.8	18.0	25.5
	まああてはまる	62.8	63.3	62.0
	あまりあてはまらない	13.0	15.2	9.7
	まったくあてはまらない	0.9	1.3	0.2
	無回答	2.4	2.3	2.4
問18-B 社会の規範やルールの意味を理解し、自己の良心に従って行動できる	とてもあてはまる	29.8	26.5	34.8
	まああてはまる	60.5	61.7	58.9
	あまりあてはまらない	6.9	8.9	4.1
	まったくあてはまらない	0.4	0.6	0.0
	無回答	2.3	2.3	2.2
問18-C 自分が生活している地域社会の問題を理解することができる	とてもあてはまる	14.4	12.6	17.0
	まああてはまる	56.4	55.5	57.4
	あまりあてはまらない	24.8	27.5	21.2
	まったくあてはまらない	1.8	1.8	1.9
	無回答	2.6	2.6	2.4
問18-D 高度な日本語力を持ち、活用することができる	とてもあてはまる	6.7	7.4	5.6
	まああてはまる	45.6	43.9	47.7
	あまりあてはまらない	40.8	41.7	39.9
	まったくあてはまらない	4.4	4.5	4.4
	無回答	2.5	2.4	2.4
問18-E 情報通信技術を活用することができる	とてもあてはまる	10.0	11.3	8.0
	まああてはまる	46.2	45.8	46.5
	あまりあてはまらない	36.9	35.8	39.2
	まったくあてはまらない	4.0	4.0	3.9
	無回答	2.9	3.1	2.4

問		全体(%)	男性(%)	女性(%)
問18-F 様々な視座から物事を批判的に考察することができる	とてもあてはまる	12.5	14.7	9.2
	まああてはまる	52.7	52.8	52.6
	あまりあてはまらない	31.3	28.5	35.8
	まったくあてはまらない	1.2	1.8	0.2
	無回答	2.3	2.3	2.2
問18-G 専攻する学問分野における思考法を体系的に身につけており、それらを活用することができる	とてもあてはまる	7.8	7.8	8.0
	まああてはまる	44.9	43.9	46.2
	あまりあてはまらない	41.4	42.6	39.9
	まったくあてはまらない	3.4	3.4	3.4
	無回答	2.5	2.4	2.4
問18-H 目標達成のために、自律的に努力することができる	とてもあてはまる	15.2	15.7	14.4
	まああてはまる	53.3	49.2	59.4
	あまりあてはまらない	25.9	28.0	22.9
	まったくあてはまらない	3.5	4.9	1.5
	無回答	2.2	2.3	1.9
問18-I 他者の意見を傾聴することができる	とてもあてはまる	26.2	21.8	32.4
	まああてはまる	61.1	62.3	59.6
	あまりあてはまらない	8.8	11.2	5.4
	まったくあてはまらない	0.6	0.8	0.2
	無回答	3.4	3.9	2.4
問18-J 沖縄の自然・歴史・社会等と世界の状況を結びつけて理解することができる	とてもあてはまる	9.4	9.7	8.8
	まああてはまる	41.0	36.6	47.4
	あまりあてはまらない	40.5	43.7	36.3
	まったくあてはまらない	6.5	7.3	5.4
	無回答	2.6	2.8	2.2
問18-K 特定の外国語を用いて、読み、書き、聞き、話すことができる	とてもあてはまる	5.6	5.5	5.6
	まああてはまる	28.9	27.2	30.9
	あまりあてはまらない	47.9	46.4	50.6
	まったくあてはまらない	15.3	18.6	10.7
	無回答	2.3	2.3	2.2
問18-L それぞれの分野において、信頼できる情報源を判断することができる	とてもあてはまる	9.6	10.7	7.8
	まああてはまる	57.9	57.0	59.1
	あまりあてはまらない	27.7	27.2	29.0
	まったくあてはまらない	2.4	2.8	1.9
	無回答	2.4	2.4	2.2
問18-M 問題を見だし、創造的に解決策を考えることができる	とてもあてはまる	9.4	10.2	8.0
	まああてはまる	53.6	52.1	56.0
	あまりあてはまらない	32.2	32.4	32.4
	まったくあてはまらない	2.1	2.8	1.2
	無回答	2.7	2.6	2.4
問18-N 専攻する学問分野におけるスキルを体系的に身につけており、それらを活用することができる	とてもあてはまる	7.4	7.0	8.0
	まああてはまる	43.4	43.9	42.8
	あまりあてはまらない	43.2	42.6	44.8
	まったくあてはまらない	3.5	4.4	2.2
	無回答	2.4	2.3	2.2
問18-O 生涯を通して学び続けようという姿勢を持つことができる	とてもあてはまる	20.2	18.9	22.1
	まああてはまる	49.7	46.0	55.2
	あまりあてはまらない	24.5	28.2	19.5
	まったくあてはまらない	3.0	4.4	1.0
	無回答	2.6	2.6	2.2
問18-P 他者と協調・協働して行動することができる	とてもあてはまる	26.5	22.3	33.1
	まああてはまる	58.3	57.9	59.1
	あまりあてはまらない	11.1	14.9	5.4
	まったくあてはまらない	1.5	2.4	0.2
	無回答	2.5	2.4	2.2

問		全体(%)	男性(%)	女性(%)
問18-Q 異文化を理解し、寛容な姿勢を持つことができる	とてもあてはまる	24.0	20.7	29.2
	まああてはまる	56.8	55.5	58.9
	あまりあてはまらない	15.3	19.6	9.0
	まったくあてはまらない	1.1	1.5	0.5
	無回答	2.8	2.8	2.4
問18-R 語彙、論理ともに適切な文章で論文を作成することができる	とてもあてはまる	6.8	7.0	6.6
	まああてはまる	38.8	38.8	38.4
	あまりあてはまらない	45.8	44.7	47.9
	まったくあてはまらない	6.2	7.3	4.6
	無回答	2.5	2.3	2.4
問18-S 多様な情報を収集・分析して適正に判断することができる	とてもあてはまる	9.7	11.5	6.8
	まああてはまる	55.9	56.1	55.5
	あまりあてはまらない	30.2	27.5	34.8
	まったくあてはまらない	1.9	2.6	1.0
	無回答	2.3	2.3	1.9
問18-T 情報や知識を論理的に分析することができる	とてもあてはまる	9.2	10.0	7.8
	まああてはまる	53.4	54.5	51.8
	あまりあてはまらない	33.2	31.6	36.0
	まったくあてはまらない	1.4	1.6	1.2
	無回答	2.8	2.3	3.2
問18-U 専攻する学問分野における知識を体系的に身につけており、それらを活用することができる	とてもあてはまる	7.5	8.6	5.8
	まああてはまる	46.0	45.1	47.4
	あまりあてはまらない	40.7	39.8	42.6
	まったくあてはまらない	3.3	4.2	1.9
	無回答	2.4	2.3	2.2
問18-V 心身の健康を自律的に維持するように努めることができる	とてもあてはまる	20.1	18.9	21.7
	まああてはまる	52.7	49.7	57.4
	あまりあてはまらない	21.9	25.2	17.3
	まったくあてはまらない	3.0	3.9	1.7
	無回答	2.3	2.3	1.9
問18-W リーダーシップを有し、目標の実現のために行動することができる	とてもあてはまる	8.2	8.4	7.8
	まああてはまる	38.3	36.9	40.1
	あまりあてはまらない	42.6	41.7	44.5
	まったくあてはまらない	8.6	10.7	5.6
	無回答	2.3	2.3	1.9
問18-X 自然環境を理解し、自然と共生するための知識を身につけることができる	とてもあてはまる	9.4	8.9	9.7
	まああてはまる	55.0	54.5	56.0
	あまりあてはまらない	30.7	31.1	30.7
	まったくあてはまらない	2.6	3.2	1.7
	無回答	2.3	2.3	1.9
問18-Y 自然や社会的事象について、シンボルを活用して分析・理解し、表現することができる	とてもあてはまる	7.5	7.9	6.6
	まああてはまる	46.3	46.9	45.5
	あまりあてはまらない	39.6	38.2	42.3
	まったくあてはまらない	4.1	4.5	3.4
	無回答	2.5	2.4	2.2
問18-Z 収集した情報をモラルに則って活用することができる	とてもあてはまる	13.3	13.6	12.9
	まああてはまる	62.8	62.0	64.5
	あまりあてはまらない	20.8	21.0	20.7
	まったくあてはまらない	0.7	1.1	0.0
	無回答	2.3	2.3	1.9
問18-a 獲得した知識や経験等を活用し、課題について総合的に判断することができる	とてもあてはまる	11.0	11.5	10.2
	まああてはまる	63.3	61.3	66.4
	あまりあてはまらない	22.0	23.0	20.9
	まったくあてはまらない	1.2	1.9	0.0
	無回答	2.5	2.3	2.4

問		全体(%)	男性(%)	女性(%)
問18-b 社会の一員としての自覚を持つことができる	とてもあてはまる	19.2	17.6	21.7
	まああてはまる	60.7	58.6	64.0
	あまりあてはまらない	14.6	17.5	10.5
	まったくあてはまらない	1.4	2.1	0.5
	無回答	4.1	4.2	3.4
問18-c 地域・国際社会の発展に積極的に関与することができる	とてもあてはまる	9.6	8.7	10.5
	まああてはまる	40.1	39.5	40.9
	あまりあてはまらない	40.7	40.9	41.1
	まったくあてはまらない	5.9	7.3	3.9
	無回答	3.8	3.6	3.6
問18-d 様々な立場を理解し、論理的に意見を交わすことができる	とてもあてはまる	11.4	12.8	9.0
	まああてはまる	53.9	51.8	57.2
	あまりあてはまらない	29.3	29.8	29.2
	まったくあてはまらない	1.8	1.9	1.7
	無回答	3.6	3.7	2.9
問18-e 幅広い学問分野について関心を持ち、その分野から得られる知見を活用することができる	とてもあてはまる	11.4	11.8	10.7
	まああてはまる	55.8	52.6	60.6
	あまりあてはまらない	27.6	29.6	25.1
	まったくあてはまらない	1.6	2.6	0.2
	無回答	3.6	3.4	3.4
問19-A 毎回出席をとる授業	たくさん受けた	48.1	46.3	51.1
	まあ受けた	46.7	48.4	44.3
	あまり受けたことがない	2.0	2.1	1.9
	まったく受けたことがない	0.1	0.2	0.0
	無回答	3.1	3.1	2.7
問19-B 少人数での議論・討論を行う授業	たくさん受けた	7.0	6.6	7.8
	まあ受けた	42.1	39.8	45.5
	あまり受けたことがない	34.2	34.8	33.6
	まったく受けたことがない	13.7	15.9	10.5
	無回答	3.0	2.9	2.7
問19-C 他人と協力して課題や作業を進める授業	たくさん受けた	10.9	8.3	14.8
	まあ受けた	53.1	51.9	54.7
	あまり受けたことがない	25.5	28.8	20.9
	まったく受けたことがない	5.7	6.6	4.4
	無回答	4.8	4.4	5.1
問19-D 大学での基礎的な学習技法(レポートの書き方など)を教えてくれる授業	たくさん受けた	6.6	6.6	6.6
	まあ受けた	40.8	42.7	37.7
	あまり受けたことがない	33.3	31.4	36.5
	まったく受けたことがない	16.0	16.2	16.1
	無回答	3.3	3.1	3.2
問19-E 仕事に役立つ知識・技術を学ぶ授業	たくさん受けた	15.6	13.9	18.2
	まあ受けた	42.1	43.5	39.9
	あまり受けたことがない	29.0	28.8	29.7
	まったく受けたことがない	9.7	10.4	8.8
	無回答	3.6	3.4	3.4
問19-F 進路や目標に対する自分の適性を診断する授業	たくさん受けた	7.4	6.6	8.5
	まあ受けた	36.9	37.1	36.7
	あまり受けたことがない	31.0	31.1	31.4
	まったく受けたことがない	21.1	21.8	20.0
	無回答	3.6	3.4	3.4
問19-G 外国語で教員が話す授業	たくさん受けた	10.6	11.0	10.0
	まあ受けた	49.3	44.2	57.2
	あまり受けたことがない	23.6	27.2	18.5
	まったく受けたことがない	13.4	14.9	11.2
	無回答	3.1	2.8	3.2



問		全体(%)	男性(%)	女性(%)
問19-H 外国語の文献を用いた授業	たくさん受けた	9.1	8.6	10.0
	まあ受けた	45.5	46.8	43.1
	あまり受けたことがない	26.5	26.9	26.5
	まったく受けたことがない	15.8	15.0	17.3
	無回答	3.1	2.8	3.2
問19-I 社会に対して新しい視点を教えてくれる授業	たくさん受けた	11.1	10.7	11.9
	まあ受けた	49.8	46.0	55.7
	あまり受けたことがない	27.1	30.7	21.9
	まったく受けたことがない	8.3	9.2	6.8
	無回答	3.7	3.4	3.6
問19-J 日本や沖縄の政治・文化・経済・自然について学ぶ授業	たくさん受けた	10.1	9.5	11.2
	まあ受けた	46.9	43.9	51.6
	あまり受けたことがない	26.1	28.6	22.4
	まったく受けたことがない	13.8	15.0	11.9
	無回答	3.1	2.9	2.9
問19-K 海外の国や地域の政治・文化・経済・自然について学ぶ授業	たくさん受けた	4.8	4.2	5.8
	まあ受けた	32.9	31.4	34.8
	あまり受けたことがない	39.5	39.6	39.7
	まったく受けたことがない	19.5	21.7	16.5
	無回答	3.3	3.1	3.2
問19-L 学生の発言を中心にして進める授業	たくさん受けた	6.5	5.3	8.3
	まあ受けた	35.5	31.1	41.8
	あまり受けたことがない	37.1	39.0	34.8
	まったく受けたことがない	17.6	21.4	11.9
	無回答	3.4	3.2	3.2
問19-M 大学の外に出ることを求められる授業	たくさん受けた	3.9	3.6	4.1
	まあ受けた	20.4	20.4	20.2
	あまり受けたことがない	30.9	29.1	34.1
	まったく受けたことがない	41.5	43.7	38.4
	無回答	3.4	3.2	3.2
問19-N 学生が考える時間を多くとる授業	たくさん受けた	9.4	7.6	11.9
	まあ受けた	43.6	39.5	49.9
	あまり受けたことがない	34.3	37.7	29.4
	まったく受けたことがない	9.6	12.1	5.8
	無回答	3.2	3.1	2.9
問19-O 教員が終始話し続ける授業	たくさん受けた	35.5	35.0	37.0
	まあ受けた	51.4	50.8	52.1
	あまり受けたことがない	7.8	9.1	6.1
	まったく受けたことがない	1.3	1.5	1.0
	無回答	4.1	3.7	3.9
問19-P 人前でのプレゼンテーションを重視した授業	たくさん受けた	5.9	6.0	5.8
	まあ受けた	37.7	34.6	42.3
	あまり受けたことがない	38.3	41.3	34.1
	まったく受けたことがない	14.9	15.0	14.8
	無回答	3.2	3.1	2.9
問19-Q コメントペーパーの提出を複数回求める授業	たくさん受けた	28.6	21.2	39.9
	まあ受けた	48.9	49.8	47.9
	あまり受けたことがない	14.6	19.9	6.6
	まったく受けたことがない	4.2	5.5	1.9
	無回答	3.8	3.6	3.6
問19-R 実験・実習・演習の授業	たくさん受けた	20.9	20.1	22.4
	まあ受けた	47.0	51.9	39.7
	あまり受けたことがない	19.0	16.7	22.6
	まったく受けたことがない	9.7	8.3	11.9
	無回答	3.4	3.1	3.4

問		全体(%)	男性(%)	女性(%)
問19-S インターネット上のコミュニケーション(web class等)を利用した授業	たくさん受けた	8.3	9.7	6.3
	まあ受けた	32.4	30.1	36.0
	あまり受けたことがない	28.9	28.8	29.0
	まったく受けたことがない	27.1	28.3	25.5
	無回答	3.3	3.1	3.2
問19-T 何らかの課題解決をめざし、グループ単位で議論を行いながら取り組む授業	たくさん受けた	8.1	7.0	9.7
	まあ受けた	44.6	41.3	49.6
	あまり受けたことがない	29.0	30.7	26.8
	まったく受けたことがない	15.1	18.0	10.7
	無回答	3.3	3.1	3.2
問19-U 自分が学んできた内容をワークシートなどの成果物を用いて振り返りながら進める授業	たくさん受けた	8.3	7.0	10.2
	まあ受けた	40.8	38.5	44.3
	あまり受けたことがない	33.6	36.6	29.7
	まったく受けたことがない	13.9	14.9	12.4
	無回答	3.4	3.1	3.4
問20-A 学習サポートルームの利用頻度	よく利用する	2.0	3.1	0.5
	まあ利用する	9.7	11.2	7.8
	あまり利用したことがない	22.7	21.4	24.8
	まったく利用したことがない	61.3	60.2	63.0
	無回答	4.2	4.2	3.9
問20-B オフィスアワーの利用頻度	よく利用する	1.3	1.5	0.7
	まあ利用する	6.4	7.0	5.6
	あまり利用したことがない	26.3	25.1	28.2
	まったく利用したことがない	61.9	62.3	61.6
	無回答	4.2	4.2	3.9
問21-A 共通教育の授業内容を理解できている	とてもあてはまる	10.5	9.9	11.4
	まああてはまる	70.2	68.8	72.5
	あまりあてはまらない	14.9	16.8	12.2
	まったくあてはまらない	1.3	1.8	0.5
	無回答	3.2	2.8	3.4
問21-B 共通教育の授業内容を学ぶ必要性を感じる	とてもあてはまる	6.3	8.4	2.9
	まああてはまる	27.5	30.6	22.6
	あまりあてはまらない	47.3	43.9	53.0
	まったくあてはまらない	15.5	14.2	17.8
	無回答	3.4	2.9	3.6
問21-C 共通教育で学ぶ内容は将来仕事をする上で役立つ	とてもあてはまる	7.1	6.6	7.8
	まああてはまる	39.2	38.3	40.1
	あまりあてはまらない	42.1	42.4	42.3
	まったくあてはまらない	8.4	9.9	6.3
	無回答	3.2	2.8	3.4
問21-D 共通教育の授業内容について、なぜ学ぶのか分からない	とてもあてはまる	6.2	7.6	3.9
	まああてはまる	32.6	36.7	26.0
	あまりあてはまらない	44.4	40.9	50.4
	まったくあてはまらない	13.5	11.8	16.3
	無回答	3.3	2.9	3.4
問21-E 共通教育の授業内容と社会生活との間につながりを感じる	とてもあてはまる	8.3	7.6	9.2
	まああてはまる	57.0	53.2	63.0
	あまりあてはまらない	28.4	32.0	23.1
	まったくあてはまらない	2.9	4.2	1.0
	無回答	3.4	2.9	3.6
問21-F 専門教育の授業内容を理解できている	とてもあてはまる	9.7	9.7	9.7
	まああてはまる	63.1	60.4	67.2
	あまりあてはまらない	21.6	24.1	18.2
	まったくあてはまらない	2.1	2.9	1.0
	無回答	3.5	2.9	3.9

問		全体(%)	男性(%)	女性(%)
問21-G 専門教育の授業内容を学ぶ必要性を感じる	とてもあてはまる	3.5	3.7	3.2
	まああてはまる	15.7	18.8	10.2
	あまりあてはまらない	34.2	35.1	33.3
	まったくあてはまらない	43.1	39.2	49.6
	無回答	3.6	3.2	3.6
問21-H 専門教育で学ぶ内容は将来仕事をする上で役立つ	とてもあてはまる	30.4	26.2	37.2
	まああてはまる	46.1	48.7	42.1
	あまりあてはまらない	17.6	19.1	15.3
	まったくあてはまらない	2.5	3.2	1.5
	無回答	3.4	2.8	3.9
問21-I 専門教育の授業内容について、なぜ学ぶのか分からない	とてもあてはまる	3.1	3.7	2.2
	まああてはまる	17.9	22.0	10.9
	あまりあてはまらない	39.7	41.3	37.7
	まったくあてはまらない	36.2	30.4	45.5
	無回答	3.2	2.6	3.6
問21-J 専門教育の授業内容と社会生活との間につながりを感じる	とてもあてはまる	19.9	16.0	25.8
	まああてはまる	52.0	51.3	53.3
	あまりあてはまらない	22.2	26.9	15.3
	まったくあてはまらない	2.3	2.8	1.7
	無回答	3.6	3.1	3.9
問21-K 共通教育で学ぶ内容は、専門教育を学ぶ上で必要である	とてもあてはまる	11.5	10.7	12.9
	まああてはまる	44.7	44.7	44.5
	あまりあてはまらない	34.3	34.5	34.3
	まったくあてはまらない	6.3	7.4	4.6
	無回答	3.3	2.8	3.6
問21-L 共通教育と専門教育で学ぶ内容の間に、つながりを感じる	とてもあてはまる	9.8	8.6	11.9
	まああてはまる	44.2	45.1	42.8
	あまりあてはまらない	34.5	34.1	35.0
	まったくあてはまらない	7.9	9.4	5.8
	無回答	3.6	2.8	4.4
問21-M もっと早い時期から専門教育の科目を受けたい	とてもあてはまる	26.4	24.4	29.9
	まああてはまる	39.1	38.7	39.7
	あまりあてはまらない	27.7	30.1	24.1
	まったくあてはまらない	3.1	3.7	2.2
	無回答	3.7	3.1	4.1
問21-N もっと多くの専門教育の科目を受けたい	とてもあてはまる	23.6	20.1	29.4
	まああてはまる	43.5	42.7	45.0
	あまりあてはまらない	26.8	31.1	20.2
	まったくあてはまらない	2.8	3.4	1.9
	無回答	3.2	2.8	3.4
問21-O もっと多くの共通教育の科目を受けたい	とてもあてはまる	10.2	9.9	10.7
	まああてはまる	35.5	35.9	35.0
	あまりあてはまらない	39.6	39.6	39.7
	まったくあてはまらない	11.7	11.8	11.7
	無回答	3.0	2.8	2.9
問22-A 琉球大学での学生生活に満足している	とてもあてはまる	20.4	18.6	23.1
	まああてはまる	59.7	58.9	60.8
	あまりあてはまらない	15.1	17.2	12.2
	まったくあてはまらない	1.9	2.8	0.7
	無回答	3.0	2.6	3.2
問22-B 琉球大学に入学してよかったと感じている	とてもあてはまる	28.0	25.1	32.8
	まああてはまる	55.3	54.9	55.7
	あまりあてはまらない	11.6	14.2	7.8
	まったくあてはまらない	2.1	3.2	0.5
	無回答	3.0	2.6	3.2

問		全体(%)	男性(%)	女性(%)
問22-C 大学に入って自分は成長していると感じる	とてもあてはまる	22.3	20.2	25.5
	まああてはまる	45.0	45.0	44.8
	あまりあてはまらない	26.4	27.7	24.8
	まったくあてはまらない	3.3	4.4	1.7
	無回答	3.1	2.8	3.2
問22-D 授業で出された課題はしっかりとこなしている	とてもあてはまる	24.6	18.6	33.8
	まああてはまる	53.2	53.9	52.1
	あまりあてはまらない	17.6	22.3	10.7
	まったくあてはまらない	1.6	2.6	0.2
	無回答	3.0	2.6	3.2
問22-E 授業のスピードについていけないことがある	とてもあてはまる	13.8	16.0	10.7
	まああてはまる	49.3	48.2	50.6
	あまりあてはまらない	29.7	29.0	31.4
	まったくあてはまらない	4.2	4.2	4.1
	無回答	3.0	2.6	3.2
問22-F 授業の内容を理解できないことがある	とてもあてはまる	14.9	17.2	11.4
	まああてはまる	58.1	57.1	59.6
	あまりあてはまらない	21.5	19.9	24.3
	まったくあてはまらない	2.4	3.1	1.5
	無回答	3.1	2.8	3.2
問22-G 大学での学習の進め方がわからない	とてもあてはまる	9.7	10.4	8.5
	まああてはまる	42.1	41.6	42.8
	あまりあてはまらない	40.2	39.3	41.8
	まったくあてはまらない	4.9	5.8	3.6
	無回答	3.2	2.9	3.2
問22-H 考えたことを文章としてうまく表現できる	とてもあてはまる	7.1	8.4	5.1
	まああてはまる	37.2	36.9	37.5
	あまりあてはまらない	46.4	45.5	48.4
	まったくあてはまらない	6.2	6.5	5.8
	無回答	3.1	2.8	3.2
問22-I 学内の掲示物をよく確認する	とてもあてはまる	7.6	8.7	6.1
	まああてはまる	31.8	32.2	30.9
	あまりあてはまらない	45.2	45.6	45.0
	まったくあてはまらない	12.4	10.7	14.8
	無回答	3.1	2.8	3.2
問22-J 単位制度について理解できていない	とてもあてはまる	2.8	3.1	2.4
	まああてはまる	19.2	22.0	14.6
	あまりあてはまらない	50.6	49.5	52.6
	まったくあてはまらない	24.3	22.8	27.0
	無回答	3.1	2.6	3.4
問22-K どの科目を履修する必要があるか理解できていない	とてもあてはまる	3.6	3.9	3.2
	まああてはまる	23.3	24.9	20.4
	あまりあてはまらない	47.4	47.1	48.2
	まったくあてはまらない	22.3	20.9	24.8
	無回答	3.5	3.2	3.4
問22-L 科目の登録方法が理解できていない	とてもあてはまる	1.9	2.4	1.2
	まああてはまる	11.0	13.3	7.3
	あまりあてはまらない	42.9	41.6	44.8
	まったくあてはまらない	40.6	39.8	42.6
	無回答	3.6	2.9	4.1
問22-M 授業で指定された教科書は購入して準備する	とてもあてはまる	28.5	28.6	28.5
	まああてはまる	49.9	48.7	51.6
	あまりあてはまらない	15.5	16.7	14.1
	まったくあてはまらない	2.6	3.1	1.9
	無回答	3.5	2.9	3.9

問		全体(%)	男性(%)	女性(%)
問22-N シラバスで講義内容を事前に確認してから、科目の登録をするようにしている	とてもあてはまる	23.2	21.7	25.8
	まああてはまる	49.1	48.7	49.6
	あまりあてはまらない	19.4	20.7	17.5
	まったくあてはまらない	5.1	6.1	3.6
	無回答	3.2	2.8	3.4
問22-O 教員からの個別指導をよく受けている	とてもあてはまる	3.2	3.7	2.4
	まああてはまる	12.9	14.9	9.7
	あまりあてはまらない	37.7	33.5	44.3
	まったくあてはまらない	43.0	45.1	40.1
	無回答	3.2	2.8	3.4
問23-A 特に理由もなく講義を欠席することがある	とてもあてはまる	5.0	6.8	2.4
	まああてはまる	22.8	25.9	18.2
	あまりあてはまらない	38.3	36.6	41.1
	まったくあてはまらない	31.1	28.0	35.8
	無回答	2.8	2.8	2.4
問23-B 大学に行きたくないときがある	とてもあてはまる	12.2	13.3	10.7
	まああてはまる	44.0	42.2	47.0
	あまりあてはまらない	28.7	29.1	28.0
	まったくあてはまらない	12.2	12.5	11.7
	無回答	3.0	2.9	2.7
問23-C 大学で孤独感を感じることもある	とてもあてはまる	6.5	7.4	5.1
	まああてはまる	22.6	24.3	20.2
	あまりあてはまらない	44.8	43.9	46.5
	まったくあてはまらない	22.9	21.0	25.5
	無回答	3.3	3.4	2.7
問23-D 自分の将来が不安である	とてもあてはまる	27.4	27.3	28.0
	まああてはまる	44.3	42.4	47.4
	あまりあてはまらない	19.0	20.6	16.8
	まったくあてはまらない	6.6	7.1	5.4
	無回答	2.7	2.6	2.4
問23-E 自分は内気である	とてもあてはまる	14.8	16.8	11.9
	まああてはまる	41.5	43.0	39.4
	あまりあてはまらない	29.4	27.0	33.3
	まったくあてはまらない	11.1	9.9	12.7
	無回答	3.2	3.2	2.7
問23-F 大学を辞めたいと考えたことがある	とてもあてはまる	6.7	7.4	5.6
	まああてはまる	20.4	21.5	18.7
	あまりあてはまらない	28.6	31.2	24.3
	まったくあてはまらない	41.6	37.2	48.7
	無回答	2.8	2.6	2.7
問23-G 大学には行かなくてもよいと思うことがある	とてもあてはまる	6.9	8.6	4.6
	まああてはまる	23.6	26.2	19.2
	あまりあてはまらない	35.3	35.0	36.3
	まったくあてはまらない	31.3	27.5	37.2
	無回答	2.9	2.8	2.7
問23-H 自分の容姿(顔つきや体つき)が気になる	とてもあてはまる	11.5	11.2	12.2
	まああてはまる	35.9	32.4	41.6
	あまりあてはまらない	36.7	39.2	33.1
	まったくあてはまらない	12.9	14.6	10.2
	無回答	3.0	2.8	2.9
問23-I 毎朝、朝食を食べている	とてもあてはまる	24.7	21.2	30.4
	まああてはまる	26.5	25.4	28.0
	あまりあてはまらない	28.7	30.3	26.3
	まったくあてはまらない	17.3	20.6	12.7
	無回答	2.8	2.6	2.7

問		全体(%)	男性(%)	女性(%)
問23-J いつも大体決まった時間に起床する	とてもあてはまる	17.5	17.8	17.3
	まああてはまる	35.2	34.3	36.3
	あまりあてはまらない	31.9	31.9	32.1
	まったくあてはまらない	12.5	13.4	11.4
	無回答	2.9	2.6	2.9
問23-K いつも大体決まった時間に就寝する	とてもあてはまる	11.8	12.0	11.7
	まああてはまる	32.9	31.6	34.5
	あまりあてはまらない	37.0	37.7	36.3
	まったくあてはまらない	15.3	16.0	14.4
	無回答	3.1	2.8	3.2
問23-L よく本(マンガ・雑誌を除く)を読む	とてもあてはまる	12.2	12.9	11.2
	まああてはまる	28.8	31.4	24.6
	あまりあてはまらない	36.8	35.8	38.4
	まったくあてはまらない	19.4	17.3	22.9
	無回答	2.9	2.6	2.9
問23-M よく新聞を読む	とてもあてはまる	3.6	4.2	2.7
	まああてはまる	14.6	15.4	13.1
	あまりあてはまらない	35.4	35.8	34.8
	まったくあてはまらない	43.0	41.4	46.0
	無回答	3.5	3.2	3.4
問23-N 大学生のうちに海外へ旅行したい	とてもあてはまる	39.7	32.7	50.9
	まああてはまる	27.5	28.6	25.5
	あまりあてはまらない	16.2	20.1	10.5
	まったくあてはまらない	13.6	15.9	10.2
	無回答	3.0	2.8	2.9
問23-O 高校生の時、勉強する意味が分からなかった	とてもあてはまる	8.0	10.8	3.9
	まああてはまる	22.3	24.1	19.2
	あまりあてはまらない	43.1	41.9	45.3
	まったくあてはまらない	23.6	20.2	29.0
	無回答	3.0	2.9	2.7
問23-P 高校生の時、勉強は大学受験のためにやっていた	とてもあてはまる	24.7	26.4	22.4
	まああてはまる	43.4	43.5	43.6
	あまりあてはまらない	19.6	19.4	20.0
	まったくあてはまらない	9.2	7.6	11.4
	無回答	3.1	3.1	2.7
問24 ボランティア活動への参加	よく参加している	2.7	1.8	3.6
	まあ参加している	10.9	8.4	14.8
	あまり参加したことがない	22.8	22.5	23.6
	ほとんど参加したことがない	60.3	64.6	54.5
	無回答	3.3	2.8	3.4
問25 アルバイトの頻度	毎日している	1.0	0.6	1.5
	週に5日～6日程度	14.2	13.8	15.1
	週に3日～4日程度	32.5	29.4	37.2
	週に1日～2日程度	14.3	13.4	15.8
	たまに必要に応じてする	7.9	9.4	5.6
	休暇中に限ってする	2.7	2.8	2.7
	まったくしていない	24.5	28.2	19.2
	無回答	2.9	2.4	2.9
問26 アルバイト経験期間 ※7年超は無回答扱い	未経験	16.2	20.1	10.7
	3カ月以下	9.5	10.5	7.8
	3カ月超半年以下	12.1	13.8	9.7
	半年超1年以下	26.9	24.4	30.7
	1年超	29.4	24.9	36.5
	無回答	5.9	6.3	4.6
問27.1 アルバイトの目的_学費にあてるため	あてはまらない	69.8	72.2	66.7
	あてはまる	25.6	23.3	29.2
	無回答	4.6	4.5	4.1

問		全体(%)	男性(%)	女性(%)
問27_2 アルバイトの目的_欲しいものを買うため	あてはまらない	36.5	41.3	29.7
	あてはまる	58.9	54.2	66.2
	無回答	4.6	4.5	4.1
問27_3 アルバイトの目的_社会経験を得るため	あてはまらない	42.3	48.5	33.3
	あてはまる	53.1	46.9	62.5
	無回答	4.6	4.5	4.1
問27_4 アルバイトの目的_友人をつくるため	あてはまらない	89.7	90.1	89.8
	あてはまる	5.7	5.3	6.1
	無回答	4.6	4.5	4.1
問27_5 アルバイトの目的_時間をつぶすため	あてはまらない	87.3	87.5	87.3
	あてはまる	8.1	7.9	8.5
	無回答	4.6	4.5	4.1
問27_6 アルバイトの目的_仕事を楽しむため	あてはまらない	82.2	84.8	79.1
	あてはまる	13.1	10.7	16.8
	無回答	4.6	4.5	4.1
問27_7 アルバイトの目的_特に目的はない	あてはまらない	93.0	92.6	94.2
	あてはまる	2.4	2.9	1.7
	無回答	4.6	4.5	4.1
問27_8 アルバイトの目的_アルバイトをしたことがない	あてはまらない	81.5	78.6	86.1
	あてはまる	13.9	16.8	9.7
	無回答	4.6	4.5	4.1
問27_9 アルバイトの目的_その他の目的	あてはまらない	85.6	87.4	83.7
	あてはまる	9.7	8.1	12.2
	無回答	4.6	4.5	4.1
問28_1 半年以上の参加経験_運動系部活動	あてはまらない	74.6	72.5	78.3
	あてはまる	21.8	24.3	18.2
	無回答	3.6	3.2	3.4
問28_2 半年以上の参加経験_文化系部活動	あてはまらない	91.4	91.6	92.0
	あてはまる	5.0	5.2	4.6
	無回答	3.6	3.2	3.4
問28_3 半年以上の参加経験_運動系サークル	あてはまらない	79.3	76.2	84.7
	あてはまる	17.1	20.6	11.9
	無回答	3.6	3.2	3.4
問28_4 半年以上の参加経験_文化系サークル	あてはまらない	83.9	83.8	84.7
	あてはまる	12.5	12.9	11.9
	無回答	3.6	3.2	3.4
問28_5 半年以上の参加経験_部・サークル以外の学生団体	あてはまらない	94.0	94.5	93.9
	あてはまる	2.4	2.3	2.7
	無回答	3.6	3.2	3.4
問28_6 半年以上の参加経験_参加していない	あてはまらない	53.9	59.5	45.5
	あてはまる	42.6	37.2	51.1
	無回答	3.6	3.2	3.4
問29 大学在学中の海外留学の希望	とても留学したい	21.7	18.3	27.3
	どちらかといえば留学したい	33.4	32.4	35.3
	どちらかといえば留学したくない	18.0	19.6	15.6
	まったく留学したくない	23.8	27.2	18.7
	無回答	3.1	2.6	3.2
問30 これまでの海外生活または留学経験	大学入学前に海外生活・留学を経験した	9.2	7.6	11.7
	大学入学後に海外生活・留学を経験した	2.5	2.4	2.7
	大学入学前と入学後に海外生活・留学を経験した	1.3	1.3	1.2
	海外生活・留学を経験したことがない	83.9	86.1	81.0
	無回答	3.2	2.6	3.4

問		全体(%)	男性(%)	女性(%)
問31 大学卒業後の移動	沖縄県内にいる	34.2	29.4	41.4
	県外に移動する	27.9	31.7	22.4
	国外に移動する	2.8	3.6	1.7
	まだ分からない	32.1	32.7	31.4
	無回答	3.0	2.6	3.2
問32 大学卒業後の進路	公務員(事務系)の仕事に就く	18.0	17.3	19.2
	民間企業(事務系)の仕事に就く	10.3	9.4	11.9
	教員の仕事に就く	8.1	6.0	11.4
	専門技術職の仕事に就く	19.1	20.1	17.3
	研究職の仕事に就く	1.8	2.4	1.0
	自営業の仕事に就く	1.4	2.1	0.5
	パート・アルバイトとして働く	0.2	0.2	0.2
	大学院に進学する	7.2	8.3	5.8
	専修学校や各種学校に進学する	0.7	0.6	0.7
	海外へ留学する	0.8	0.8	0.7
	まだ決まっていない	26.2	27.2	24.8
	その他	2.0	1.9	1.9
無回答	4.2	3.7	4.4	
問33 実家の本(マンガ・雑誌・学習参考書以外)の蔵書数	ほとんどない	14.2	16.2	11.4
	20冊くらい	19.4	20.1	18.5
	50冊くらい	19.0	17.5	21.4
	100冊くらい	16.4	16.0	16.8
	200冊くらい	10.1	10.5	9.5
	300冊くらい	7.5	6.8	8.8
	400冊以上	10.1	10.2	10.2
	無回答	3.2	2.8	3.4
問34-A 卒業高校の課程	普通科	83.9	86.2	80.8
	総合学科	1.4	1.0	1.7
	専門学科(商業学科・工業学科など)	4.2	3.9	4.9
	その他	6.6	5.0	9.0
	無回答	4.0	3.9	3.6
問34-B 卒業高校の4年制大学進学率	95%以上	18.7	17.6	20.4
	80%以上95%未満	21.0	18.6	25.1
	60%以上80%未満	25.8	24.3	28.0
	40%以上60%未満	13.3	14.6	11.4
	40%未満	8.7	11.2	5.1
	無回答	12.5	13.8	10.0